

SHARP®

AQUOS
SH-M01

取扱説明書 '14.12

はじめに

お買い上げいただき、誠にありがとうございました。
本書をよくお読みの上、正しくお使いください。

操作方法を確認する

クイックスタートガイド(本体付属品)

基本的な機能の操作について説明しています。

取扱説明書(PDFファイル)

機能の詳しい案内や操作について説明しています。

次のサイトでダウンロード

[http://k-tai.sharp.co.jp/support/other/shm01/
manual.html](http://k-tai.sharp.co.jp/support/other/shm01/manual.html)

※ URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更
することがあります。

- 本書に記載している画面やイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書はホームアプリがFeel UXホームの場合で説明しています。ホームアプリを変更すると、操作手順などが本書の説明と異なる場合があります。
- 本書の本文中においては、「SH-M01」を「本端末」または「端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- 本書ではmicroSDカード、microSDHCカードを、「microSDカード」または「microSD」と記載しています。
- 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。

本体付属品



SH-M01本体
(保証書付き)



リアカバー



クイックスタートガイド



ご利用にあたっての注意事項

目次

本端末のご利用について	2
安全上のご注意(必ずお守りください)	3
取り扱い上のご注意	7
内蔵電池の交換について	9
リサイクルについて	9
防水性能	10

ご使用前の確認と設定

各部の名称と機能	12
リアカバー	12
microSIMカード	13
充電	14
電源を入れる/切る	15
基本操作	15
文字入力	17
初期設定	20
着信/充電イルミ	22
画面表示/アイコン	22
ホーム画面	24
クイックランチャー	26
アプリ使用履歴	27
ホーム切替	27

電話

電話をかける	28
電話を受ける	28
通話中の操作	29
通話履歴	29
通話設定	29
電話帳	30

メール/ブラウザ

SMS	32
Eメール	33
Gmail™	34
ブラウザ	35

アプリ

Playストア	37
テレビ(ワンセグ)	37
カメラ	40
アルバム	41
ミュージック	42
GPS/ナビ	43
YouTube	44
アラーム・時計	44
カレンダー	45
メモ帳	46
電卓	46
SHツール	46

端末設定

設定メニュー	49
プロフィール	49
サウンド・イルミ	49
ディスプレイ	50
ストレージ	50
省エネ&バッテリー	51
便利機能	51
アプリ	52
データ使用量	52
その他	52
位置情報	53
ロックとセキュリティ	53
言語と文字入力	55
バックアップとリセット	55
日付と時刻	56
ユーザー補助	57
印刷	57
端末情報	57

ファイル管理

ストレージ構成	58
コンテンツマネージャー	59

データ通信

Bluetooth®機能	60
--------------	----

外部機器接続

パソコンとの接続	63
プリントアプリによる印刷	63
USBホスト機能	64
VPN(仮想プライベートネットワーク)	64

海外利用

海外でご利用になる前の確認事項	65
海外で利用するための設定	65
滞在先で電話をかける/受ける	65

付録/索引

トラブルシューティング(FAQ)	66
保証とアフターサービス	68
ソフトウェア更新	69
主な仕様	70
携帯電話機の比吸収率(SAR)について	71
CAUTION	73
輸出管理規制	73
知的財産権について	73
索引	75

本端末のご利用について

- 本端末はLTE・W-CDMA・無線LAN方式に対応しています。
- 本端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かないところ、屋外でも電波の弱いところ、携帯電話サービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしの良い場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが4本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 本端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、LTE・W-CDMA方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としが聞き取れません。
- 本端末は音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪いところへ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身で本端末に登録された情報内容(電話帳、カレンダー、メモ帳など)は、定期的にメモを取ったり、microSDカードやパソコンなどの外部記録媒体に保管してくださるようお願いいたします。本端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリなどによっては、お客様の端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報や本端末に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用される可能性があります。このため、ご利用されるアプリなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上ご利用ください。
- microSDカードや端末の空き容量が少ない場合、起動中のアプリが正常に動作しなくなることがあります。その場合は保存されているデータを削除してください。
- お客様の電話番号(自局番号)は、ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [プロフィール] で確認できます。
- 本端末では、マナーモードに設定中でも、着信音、操作音、各種通知音以外の動作音声(カメラのシャッター音など)は消音されません。
- 本端末は、データの同期や最新のソフトウェアバージョンをチェックするための通信、サーバーとの接続を維持するための通信など一部自動的に通信を行う仕様となっています。また、アプリのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- お客様がご利用のアプリやサービスによっては、Wi-Fi接続中であってもパケット通信料が発生する場合があります。
- 本端末のソフトウェアを最新の状態に更新することができます(☎P.69「ソフトウェア更新」)。
- ご利用の端末のソフトウェアバージョンについては☎P.57「端末情報」
- 紛失に備え、画面のロックを設定し端末のセキュリティを確保してください(☎P.53「ロックとセキュリティ」)。
- 万が一紛失した場合は、Gmail、Google Play™などのGoogle™サービスや、SNSなどのサービスを他の人に利用されないように、パソコンなどより各種アカウントのパスワードを変更してください。
- Googleアプリおよびサービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。

- Googleが提供するサービスについては、Google Inc.の利用規約をお読みください。またその他のウェブサービスについては、それぞれの利用規約をお読みください。
- テザリングのご利用には、パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- ディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られておりますが、一部に点灯しないドット(点)や常時点灯するドット(点)が存在する場合があります。これは液晶ディスプレイの特性であり、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。
- 本端末の電池は内蔵されており、お客様ご自身では交換できません。
- 市販のオプション品については、当社では動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。



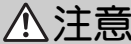
安全上のご注意(必ずお守りください)

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

また、お読みになったあとは大切に保管してください。

- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 本製品の故障、誤動作または不具合などにより、通話などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。内容をよく理解した上で本文をお読みください。

 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合および物の損害の発生が想定される」内容です。

次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。内容をよく理解した上で本文をお読みください。

 キャビ防水シート 高温注意	高温による傷害の可能性があることを示します。	 濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
 禁止	禁止(してはいけないこと)を示します。	 指示	指示に基づく行為の強制(必ず実行していただくこと)を示します。
 分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。	 電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。
 水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。		

「安全上のご注意」は、下記の6項目に分けて説明しています。

- 本端末・アダプター・microSIMカードの取り扱いについて(共通) P.3
- 本端末の取り扱いについて P.4
- アダプターの取り扱いについて P.6
- microSIMカードの取り扱いについて P.6
- 医用電気機器近くでの取り扱いについて P.6
- 材質一覧 P.7

本端末・アダプター・microSIMカードの取り扱いについて(共通)

⚠危険



高温になる場所(火のそば、暖房器具のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など)で充電・使用・放置しないでください。

また、暖かい場所や熱のこもりやすい場所(こたつや電気毛布の中、携帯カイロのそばのポケット内など)においても同様の危険がありますので、充電・放置・使用・携帯しないでください。

機器の変形・故障や内蔵電池の漏液・発熱・発火・破裂の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどなどの原因となることがあります。



本端末にアダプターをうまく取り付けできないときは、無理に行わないでください。microUSBプラグの向きを確かめてから、取り付けや接続を行ってください。内蔵電池を漏液・発熱・発火・破裂・発火させるなどの原因となります。また外部接続端子を破損・焼損させる原因となります。



本端末とアダプターを接続した状態で、踏みつけるなど外部から過大な力を加えないようにしてください。端子が破損した状態で充電すると故障や火災の原因となります。充電するときは、使用場所、取り扱いにご注意ください。



分解・改造・ハンダ付けなどお客様による修理をしないでください。

火災・けが・感電などの事故または故障の原因となります。また、内蔵電池の漏液・発熱・破裂・発火などの原因となります。本端末の改造は電波法違反となり、罰則の対象となります。



水や飲料水、ペットの尿、汗などで濡らさないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。防水性能については以下をご参照ください。
IP-X10「防水性能」



本端末内部・アダプターを濡らさないでください。水やペットの尿などの液体が本体内部に入ったときに、濡れたまま放置したり、濡れたまま充電すると、発熱・感電・火災・けが・故障などの原因となります。使用場所、取り扱いにご注意ください。

⚠警告



本端末・アダプターを、加熱調理機器(電子レンジなど)・高圧容器(圧力釜など)の中に入れてたり、電磁調理器(H調理器)の上に置いたりしないでください。内蔵電池の漏液・発熱・破裂・発火や、本端末・アダプターの発熱・発煙・発火・故障などの原因となります。



落としたり、投げたりして、強い衝撃を与えないでください。

内蔵電池の漏液・発熱・破裂・発火や火災・感電・故障などの原因となります。



外部接続端子に、液体(水道水、清涼飲料水、海水、ペットの尿など)や導電性異物(鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど)が触れないようにしてください。また内部にれないようにしてください。ショートによる火災・やけど・故障などの原因となります。



禁止

乾燥などの目的で、ドライヤーなどの温風を当てないでください。また、サウナに持ち込んだり、熱湯をかけたりしないでください。

内蔵電池の漏液・発熱・破裂・発火や、本端末・アダプターの発熱・発煙・発火・故障などの原因となります。



指示

プロパンガス、ガスolinなどの引火性ガスや粉塵の発生する場所(ガスolinスタンドなど)では、必ず事前に本端末の電源をお切りください。また、充電もしないでください。

ガスに引火する恐れがあります。プロパンガス、ガスolinなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると、爆発や火災などの原因となります。



指示

使用中、充電中、保管時に、異音・発煙・異臭など、今までと異なることに気づいたときは、次の作業を行ってください。

1. 電源プラグをコンセントから抜く。
 2. 本端末の電源を切る。
- 異常な状態のまま使用すると、火災や感電などの原因となります。

⚠️ 注意



禁止

ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。またバイブレータ設定中や充電中は、特にご注意ください。

落下して、けがや故障などの原因となります。また、充電中の落下は端子の破損の原因となります。



禁止

本端末をアダプターから取り外す際は、コードを引っ張らず、アダプターのmicroUSBプラグを持って取り外してください。

コードを引っ張るとコードが傷ついたり、端子の破損による火災や感電などの原因となります。



禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。



指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱い方法を教えてください。使用中においても、指示どおりに使用しているかご注意ください。

けがなどの原因となります。



指示

乳幼児の手の届かない場所やペットが触れない場所に保管してください。

誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。



指示

本端末を長時間ご使用になる場合、熱くなることがありますので、ご注意ください。

長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどになる恐れがあります。

本端末の取り扱いについて

本端末の内蔵電池の種類は次のとおりです。

表示	電池の種類
Li-ion00	リチウムイオン電池

⚠️ 危険



禁止

火の中に投下しないでください。

内蔵電池を漏液・破裂・発火させるなどの原因となります。



禁止

釘を刺したり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたり、強い衝撃を与えないでください。

内蔵電池を漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。



指示

内蔵電池内部の液が目の中に入ったときは、擦らず、すぐにきれいな水で洗い流し、ただちに医師の診療を受けてください。

失明などの原因となります。

⚠️ 警告



指示

屋外で使用中に雷が鳴り出したら、ただちに電源を切って屋内などの安全な場所に移動してください。

落雷や感電の原因となります。



禁止

モバイルライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光しないでください。

視力障害の原因となります。また、目がくらんだり、驚いたりして、けがなどの事故の原因となります。



禁止

充電中は、本端末を布や布団で覆ったり、包んだりしないでください。また布や布団で覆った状態で、就寝しないようにしてください。

熱がこもって火災・やけど・故障などの原因となります。



禁止

本端末内のmicroSIMカードスロットやmicroSDカードスロットに水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。



禁止

自動車などの運転者に向けてライトを点灯しないでください。

運転の妨げとなり、事故の原因となります。



禁止

自動車、バイク、自転車などの乗り物の運転中には使用しないでください。

交通事故の原因となります。乗り物を運転しながら携帯電話を使用することは、法律で禁止されており、罰則の対象となります。

運転者が使用する場合は、駐停車が禁止されていない安全な場所に止めてからご使用ください。



禁止

本端末のディスプレイ部には強化ガラスを使用しています。

落下などによる衝撃や無理な力は加えないでください。

ディスプレイ部が破損し、ガラスが鋭利な破片となって、激しく飛散する恐れがあります。万一、破損した場合は、破片や破損部分に直接手を触れないようご注意ください。けがの原因となります。

! 指示
航空機へのご搭乗にあたり、本端末の電源を切るか、機内モードに設定してください。
航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。
なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。

! 指示
病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。
使用を禁止されている場所では、本端末の電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。

! 指示
心臓の弱い方は、着信時のバイブレータ(振動)や着信音量の設定に注意してください。
心臓に影響を与える恐れがあります。

! 指示
医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

! 指示
高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末の電源を切ってください。
電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。
※ ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器・植込み型心臓ペースメーカー・植込み型除細動器・その他の医用電気機器・火災報知器・自動ドア・その他の自動制御機器など

! 指示
内蔵電池内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は、ただちに本端末の使用をやめ、きれいな水で洗い流してください。
皮膚に傷害を起こすなどの原因となります。

! 指示
所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。
内蔵電池を漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

! 指示
本端末の使用・充電中・保管時に、異臭・発熱・変色・変形など、今までと異なることに気づいたときは、やけどやけがに注意して火気から遠ざけてください。
異常な状態のまま使用すると、内蔵電池を漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

! 指示
ペットが本端末に噛みつかないようにご注意ください。
また、ペットが噛みついた本端末は使用しないでください。
内蔵電池の漏液・発熱・破裂・発火や機器の故障・火災の原因となります。

⚠ 注意

! 指示
電源が入っているときや電源を切った直後は、キャビ防水シートが高温になっていることがあります。リアカバーを取り外すときは、電源を切り、本端末の温度が下がったあとで行ってください。
やけどの原因となります。

! 禁止
キャビ防水シートをはがしたり、傷をつけたり、衝撃を与えたりしないでください。
キャビ防水シートの内部には、電池や精密部品があります。はがしたり、傷をつけたり、衝撃を与えたりすると、故障・発熱・発火・感電・傷害・やけどなどの原因となります。

! 禁止
本端末に磁気カードなどを近づけないでください。
キャッシュカード・クレジットカード・テレホンカード・フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

! 禁止
ストラップなどを持って本端末を振り回さないでください。
本人や周囲の人に当たり、ストラップが切れたりして、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

! 禁止
本端末が破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

! 禁止
モーションセンサーや地磁気センサーのご使用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本端末をしっかり握り、必要以上に振り回さないでください。
けがなどの事故の原因となります。

! 禁止
誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、ただちに医師の診療を受けてください。
また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸などで洗い流してください。

! 禁止
不要になった本端末を、一般のゴミと一緒に捨てないでください。
電池を内蔵していますので、「保証書に記載のお問い合わせ先」までお問い合わせください。適切に処理いたします。

! 禁止
車両電子機器に影響を与える場合は使用しないでください。
本端末を自動車内で使用すると、車種により、まれに車両電子機器に影響を与え、安全走行を損なう恐れがあります。

! 指示
充電しながら携帯電話やアプリ(ゲームなど)を長時間使用すると、本端末やアダプターの温度が高くなる場合がありますので、温度の高い部分に長時間触れないでください。
低温やけどなどの原因となります。

! 禁止
着信音が鳴っているときや、本端末でメロディを再生しているときなどは、スピーカーに耳を近づけないでください。
難聴になる可能性があります。

! 指示
本端末の使用により、皮膚に異常が生じた場合は、ただちに使用をやめて医師の診療を受けてください。
本端末では材料として金属などを使用しています。お客様の体質や体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じることがあります。各箇所の材質については「P.7「材質一覧」


! 指示
ワンセグを視聴するときは、十分明るい場所で、画面からある程度の距離を空けてご使用ください。
視力低下につながる可能性があります。

! 指示
イヤホンを使用するときは音量に気をつけてください。
長時間使用して難聴になったり、突然大きな音が出て耳を痛めたりする原因となります。


キャビ防水シート
高温注意

アダプターの取り扱いについて

警告


 充電中は、布や布団で覆ったり、包んだりしないでください。また布や布団で覆った状態で、就寝しないようにしてください。

熱がこもって火災・やけど・故障などの原因となります。


 指定以外の電源・電圧で使用しないでください。指定以外の電源・電圧を使用すると、火災や故障などの原因となります。

● ACアダプター: AC100V～240V(家庭用ACコンセント専用)


また、海外旅行用として、市販されている「変圧器」は使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

 アダプターのコードが傷んだら使用しないでください。


火災、やけど、感電の原因となります。

 アダプターは、風呂場や洗面所など湿気の強い場所や水のかかる可能性のある場所では使用しないでください。


火災・感電・故障の原因となります。

 雷が鳴り出したら、アダプターには触れないでください。


感電などの原因となります。

 アダプターのコードの上に重いものをのせしないでください。


火災、やけど、感電の原因となります。

 本端末またはACアダプターが濡れている状態では、microUSBプラグを絶対に接続しないでください。


本端末は防水性能を有しておりますが、濡れた状態でmicroUSBプラグを挿入すると、本端末やmicroUSBプラグに付着した水分や異物などにより、充電ショートによる異常発熱、故障、火災、やけどの原因となります。

 濡れた手でアダプターのプラグや端子を抜き差ししないでください。


濡れ手禁止 感電や故障などの原因となります。

 プラグにほりこりがついたときは、アダプターを持ってプラグをコンセントから抜き、乾いた布などで拭き取ってください。


火災の原因となります。

 アダプターをコンセントに差し込むときは、アダプターのプラグや端子に導電性異物(鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど)が触れないように注意して、確実に差し込んでください。


感電やショートによる火災・やけど・故障などの原因となります。

 本端末にアダプターを抜き差しする場合は、無理な力を加えず、水平に真っ直ぐ抜き差ししてください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。


 使用しない場合は、アダプターを持って電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグを抜く 電源プラグを挿したまま放置し、アダプターのプラグに異物や液体が付着したり、アダプターのプラグを踏みつけたらすると、感電・火災・故障の原因となります。


 万一、水やペットの尿などの液体が入った場合は、ただちにアダプターを持って、コンセントからプラグを抜いてください。

電源プラグを抜く 感電・発煙・火災の原因となります。


注意

 アダプターをコンセントに接続しているときは、引っ掛けるなど強い衝撃を与えないでください。


けがや故障の原因となります。

 プラグに手や指など身体の一部が触れないようにしてください。


やけど・感電・傷害・故障の原因となります。

 アダプターをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らず、アダプターを持ってプラグを抜いてください。

コードを引っ張るとコードが傷つき、感電や火災などの原因となります。

 アダプターをテーブルタップに接続しているときは、踏みつけるなど外部から過大な力を加えないようにしてください。


火災や故障の原因となります。

 お手入れの際は、コンセントから、必ずアダプターを持ってプラグを抜いてください。

電源プラグを抜く 感電などの原因となります。

microSIMカードの取り扱いについて

注意


 microSIMカードを取り扱う際は切断面にご注意ください。

けがの原因となります。


医用電気機器近くでの取り扱いについて

ここで記載している内容は、「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」(電波環境協議会[平成9年4月])および「各種電波利用機器の電波が植込み型医療機器へ及ぼす影響を防止するための指針」(総務省[平成25年1月])の内容を参考にしたものです。

警告

 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、ペースメーカーなどの装着部位から15cm以上離して携行および使用してください。

電波により植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

 自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどに確認してください。

電波により医用電気機器の作動に影響を与える場合があります。



付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、身動きが自由に取れないほど混雑した状況など、15cm以上離隔距離を確保できない恐れがある場合には、事前に通信機能が使用できない状態(例:機内モード)に切り替えるか、または携帯電話の電源をお切りください。電源が自動的に入るアプリをインストールしている場合は、設定を解除してから電源を切ってください。電波により、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。



医療機関などでは、以下を守ってください。本端末の電波により医用電気機器に影響を及ぼす恐れがあります。

- 手術室・集中治療室(ICU)・冠状動脈疾患監視病室(CCU)には、本端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、本端末の電源を切ってください。
- ロビーなど、携帯電話の使用を許可された場所であっても、近くに医用電気機器があるときは本端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

材質一覧

端末

使用箇所	材質/表面処理
ディスプレイ面	強化ガラス/表面飛散防止シート付き
ディスプレイ面の下部	PC樹脂/表面UV塗装
ディスプレイ面の周囲	PA樹脂/表面UV塗装
イヤホンマイク端子の周囲	PA樹脂/表面UV塗装
電源キー	PC樹脂/表面UV塗装、不連続蒸着
サイドキー	アルミニウム/アルマイト処理
カメラパネル	アクリル樹脂/裏面印刷
モバイルライト	PC樹脂
microSIMカードスロット	SUS/Niメッキ
microSDカードスロット	SUS/Niメッキ
microSIMカード/microSDカードスロットカバー	PC樹脂
microSIMカード/microSDカードスロットカバーのパッキン	シリコンゴム
ディスプレイ面の裏側	PA樹脂/表面UV塗装
スピーカーメッシュ	PET/裏面シルク印刷
スピーカーメッシュの周囲	ポラウラ
キャビ防水シート	PET/裏面シルク印刷
ネジ	鋼/黒Niメッキ、Niメッキ
外部接続端子	SUS/Snメッキ、銅合金/金メッキ
外部接続端子の周囲	PA樹脂/表面UV塗装
送話口/マイククッション	PORON®

リアカバー

使用箇所	材質/表面処理
リアカバー本体	PC樹脂/表面UV塗装

取り扱い上のご注意

共通のお願い

- SH-M01は防水性能を有しておりますが、本端末内部に浸水させたり、オプション品に水をかけたりしないでください。
- アダプター、microSIMカードは防水性能を有していません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。
- お手入れは、乾いた柔らかい布などで拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジンなどを用いると色があせたり、文字が薄くなったりすることがありますので、ご使用にならないでください。乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
- 端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。
- エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- 無理な力が加からないようにお取り扱いください。故障やけがの原因となります。
 - ・ スポンやスカートのポケットに入れたまま、しゃがみこんだり椅子などに座らないでください。特に厚い生地の衣服のときはご注意ください。
 - ・ かばんなどに入れるときは、重たいものの下にならないように十分ご注意ください。
- 本端末のディスプレイを堅いもので擦ったり、傷つけないようご注意ください。
- 対応の各オプション品に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。
- お客様の取り扱いの不備による故障と認められたときは、保証の対象外となりますのでご了承ください。

本端末についてのごお願い

- タッチパネルの表面を強く押ししたり、爪やボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作したりしないでください。タッチパネルが破損する原因となります。
- 極端な高温や低温環境、直射日光の当たる場所でのご使用、保管は避けてください。
- 本端末は温度：5℃～35℃、湿度：45%～85%の範囲でご使用ください。
- 一般の電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで本端末を使用すると、雑音が入るなどの影響を与えることがありますので、ご注意ください。
- お客様ご自身で本端末に登録された情報は、別にメモを取るなどして保管して下さるようお願いいたします。万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。故障、破損の原因となります。
- 外部接続端子やイヤホンマイク端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差ししたり、差した状態で引っ張ったりしないでください。故障、破損の原因となります。

- 端子に指定品以外のものは、取り付けしないでください。
誤動作したり、破損することがあります。
- 使用中や充電中は本端末や内蔵電池が温かくなることがありますが、異常ではありませんので、そのままご使用ください。
- カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。
素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- 通常はmicroSIMカード／microSDカードスロットカバーを閉じた状態でご使用ください。
ほこり、水などが入り故障の原因となります。
- リアカバーを外したまま使用しないでください。
内蔵電池や精密部品へ衝撃が加わりやすくなり、故障につながる恐れがあります。リアカバーの交換につきましては、「保証書に記載のお問い合わせ先」までお問い合わせください。
- microSDカードの使用中は本端末の電源を切らないでください。
データの消失・故障の原因となります。
- 本端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。
強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。
- 歩行中、周囲の音が聞こえなくなるほど、音量を上げないでください。
事故の原因となります。
- 本端末を手を持って使用するときは、送話口／マイク、受話口、スピーカーを塞がないようにご注意ください。
- 内蔵電池は消耗品です。
十分に充電しても使用できる時間が極端に短くなったら、交換時期です。内蔵電池を交換してください。なお、内蔵電池は、お客様自身では交換できません。内蔵電池の交換については、「保証書に記載のお問い合わせ先」までお問い合わせください。
- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 内蔵電池の使用時間は、使用環境や内蔵電池の劣化度により異なります。
- 内蔵電池の性能や寿命を低下させる原因となりますので、以下の保管をしないようにご注意ください。
 - フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
 - 電池残量がない状態（本体の電源が入らないほど消費している状態）での保管
 保管に適した電池残量は、目安として電池残量が40パーセント程度の状態をおすすめします。
- 本端末の表面にアルミ材を使用しております。アルミは柔らかい素材のため、打痕・擦り傷が残りがくさってありますので、ご注意ください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
- お客様ご自身で、microSIMカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管して下さるようお願いいたします。
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- I C を傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。
- microSDカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障の原因となります。
- microSDカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
故障の原因となります。
- microSDカードにラベルやシールなどを貼った状態で、本端末に取り付けしないでください。
故障の原因となります。

Bluetooth機能を使用する場合のお願い

- 本端末は、Bluetooth機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。
- Bluetooth機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 周波数帯について
本端末のBluetooth機能が使用する周波数帯は、ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [端末情報] ▶ [認証] で確認できます。ラベルの見かたは次のとおりです。



- ① 2.4: 2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
- ② FH: 変調方式がFH-SS方式であることを示します。
- ③ 1: 想定される干渉距離が10m以下であることを示します。
- ④ XX: 変調方式がその他の方式であることを示します。
- ⑤ 4: 想定される干渉距離が40m以下であることを示します。
- ⑥ ■■■■■: 2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

- Bluetooth機器使用上の注意事項
本端末の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。
 1. 本端末を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
 2. 万が一、本端末と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
 3. その他、ご不明な点につきましては、「保証書に記載のお問い合わせ先」までお問い合わせください。

アダプターについてのお願い

- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 次のような場所では、充電しないでください。
 - 湿気、ほこり、振動の多い場所
 - 一般の電話機やテレビ、ラジオなどの近く
- 充電中、アダプターが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
- 強い衝撃を与えないでください。また、プラグを変形させないでください。
故障の原因となります。
- 海外での充電に起因するトラブルについては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

microSIMカードについてのお願い

- microSDカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れしないでください。
- 他のI Cカードリーダー／ライターなどにmicroSIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- I C部分はいつもきれいな状態でご使用ください。

無線LAN(WLAN)についてのお願ひ

- 無線LAN(WLAN)は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されたりする可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

● 無線LANについて

- 電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
 - ・ 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなったりすることがあります(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります)。
 - ・ テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れたりすることがあります。
 - ・ 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャネルを使用している、正しく検索できない場合があります。

● 周波数帯について

WLAN搭載機器が使用する周波数帯は、ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[端末情報]▶[認証]で確認できます。ラベルの見かたは次のとおりです。



- ① 2.4:2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
 - ② DS:変調方式がDS-SS方式であることを示します。
 - ③ OF:変調方式がOFDM方式であることを示します。
 - ④ 4:想定される干渉距離が40m以下であることを示します。
 - ⑤ ■■■■■:2400MHz~2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。
- 本端末の無線LANで設定できるチャネルは1~13です。これ以外のチャネルのアクセスポイントには接続できませんので、ご注意ください。

利用可能なチャネルは国により異なります。

航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

● 2.4GHz機器使用上の注意事項

WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
 2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、「保証書に記載のお問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など(例えば、パーティションの設置など)についてご相談ください。
 3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合はどうかお困りのことが起きたときは、「保証書に記載のお問い合わせ先」までお問い合わせください。
- 5GHz機器使用上の注意事項
 - 5GHzの周波数帯においては、5.2GHz/5.3GHz/5.6GHz帯(W52/W53/W56)の3種類の帯域を使用することができます。
 - ・ W52(5.2GHz帯/36、40、44、48ch)
 - ・ W53(5.3GHz帯/52、56、60、64ch)

- W56(5.6GHz帯/100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140ch)
- 5.2GHz/5.3GHz帯無線LAN(W52/W53)の屋外使用は電波法で禁止されています。

注意

- 改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法/電気通信事業法に抵触します。本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等に関する規則を順守しており、その証として「技術マーク」が本端末の電子銘板に表示されており、電子銘板は、本端末で次の手順でご確認いただけます。
 - ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[端末情報]▶[認証]本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようお願いします。
- 自動車などを運転中の使用にはご注意ください。運転中に携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。
- 基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。
- 市販のmicroUSB接続ケーブルでパソコンと接続する場合は使用を禁止された区域などでは行わないようご注意ください。自動的に電源が入る場合があります。

内蔵電池の交換について

内蔵電池は消耗品です。充放電を繰り返すうちに劣化し、使用時間が極端に短くなります。

内蔵電池の劣化は、使用状況や動作環境によって異なりますが、満充電にしても極端に使用時間が短くなったときは、新しい内蔵電池と交換する必要があります。

本端末の内蔵電池はお客様自身では交換できませんので、「保証書に記載のお問い合わせ先」へご連絡いただき、内蔵電池の交換を依頼してください(有償)。

リサイクルについて

本端末に使用していますリチウムイオン電池はリサイクル可能な有益な資源です。リサイクルにご協力をお願いします。

リサイクルについては「保証書に記載のお問い合わせ先」まで、ご相談ください。



Li-ion00

■ 本製品を廃棄するときは

- 各自治体の廃棄ルールに従っていただきますようお願いいたします。自治体によって規則が異なりますので、お客様がお住まいの自治体にご確認ください。
- プライバシー保護のため、事前にオールリセットを行って、システムメモリ内のすべてのデータを消去してください(「P.55「オールリセット」)。

防水性能

SH-M01は、microSIMカード／microSDカードスロットカバーをしっかりと閉じ、リアカバーを取り付けた状態でIPX5※1、IPX7※2の防水性能を有しています。

※1 IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5リットル/分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、電話機としての機能を有することを意味します。

※2 IPX7とは、常温で水道水、かつ静水の水深1mのところからSH-M01を静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに電話機としての機能を有することを意味します。

SH-M01が有する防水性能でできること

- 雨の中で傘をささずに通話ができます(1時間の雨量が20mm程度)。
- 汚れを洗い流すことができます。洗うときは、やや弱めの水流(6リットル/分以下、常温(5℃～35℃)の水道水)で蛇口やシャワーから約10cm離して洗います。microSIMカード／microSDカードスロットカバーをしっかりと閉じ、リアカバーを取り付けた状態で、ブラシやスポンジなどは使用せず手で洗ってください。洗ったあとは、水抜きをしてから使用してください(※P.11「水に濡れたときの水抜きについて」)。
- プールサイドで使用できます。ただし、プールの水をかけたり、プールの水に浸けたりしないでください。

ご利用にあたって

防水性能を維持するために、必ず次の点を確認してください。

- microSIMカード／microSDカードスロットカバー、リアカバーをしっかりと閉じてください。開閉するときは、ゴムパッキンに無理な力を加えないように注意してください。
- microSIMカード／microSDカードスロットカバー、リアカバーが浮いていないように完全に閉じたことを確認してください。
- 防水性能を維持するため、microSIMカード／microSDカードスロットカバー、リアカバーはしっかりと閉じる構造となっております。無理に開けようとすると爪や指などを傷つける可能性がありますので、ご注意ください。
- microSIMカード／microSDカードスロットカバーの開閉、リアカバーの取り付け／取り外しについては※P.13「microSIMカード」、P.12「リアカバー」

- 防水性能を維持するため、異常の有無にかかわらず2年に1回、部品の交換をおすすめします。部品の交換は端末をお預かりして有料にて承ります。部品の交換については「保証書に記載のお問い合わせ先」までご連絡ください。

注意事項

- 手が濡れているときや端末に水滴がついているときには、リアカバーの取り付け／取り外し、microSIMカード／microSDカードスロットカバーの開閉はしないでください。
- microSIMカード／microSDカードスロットカバー、リアカバーはしっかりと閉じてください。接触面に微細なゴミ(髪の毛1本、砂粒1つ、微細な繊維など)が挟まると、浸水の原因となります。
- microSIMカード／microSDカードスロットカバー、リアカバーが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切り、「保証書に記載のお問い合わせ先」までご連絡ください。

● microSIMカード／microSDカードスロットカバーと本体の接触面のゴムパッキンは防水性能を維持する上で重要な役割を担っています。はがしり傷ついたりしないようにしてください。また、ゴミが付着しないようにしてください。

ゴムパッキンが傷ついたり、変形したりした場合は、「保証書に記載のお問い合わせ先」までお問い合わせください。

● microSIMカード／microSDカードスロットカバーのすき間に、先の方向たものを差し込まないでください。ゴムパッキンが傷つき、浸水の原因となります。

● リアカバーが破損した場合は破損箇所から内部に水が入り、感電や電池の腐食などの故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切り、「保証書に記載のお問い合わせ先」までお問い合わせください。

● 水中で端末を使用(キー操作を含む)しないでください。故障の原因となります。

● 規定以上の強い水流(6リットル/分を超える)を直接当てないでください。SH-M01はIPX5の防水性能を有しておりますが、故障の原因となります。

● 常温(5℃～35℃)の水以外の液体をかけたり、浸けたりしないでください。常温の水以外の液体をかけたり、浸けたりした場合は、そのまま使用せず、常温の水で洗ってください。

● 洗濯機などで洗わないでください。

● 結露防止のため、寒い場所から暖かい場所へ移動するときは端末が常温になってから持ち込んでください。

● 温泉やせっけん、洗剤、入浴剤の入った水には絶対に浸けないでください。

● 熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、温風(ドライヤーなど)を当てたりしないでください。

● 海水には浸けないでください。

● 砂／泥の上に直接置かないでください。

● 濡れたまま放置しないでください。寒冷地で凍結するなど、故障の原因となります。

● 端末は水に浮きません。

● 落下させないでください。傷の発生などにより防水性能の劣化を招くことがあります。

● 送話口／マイク、受話口、スピーカー、イヤホンマイク端子に水滴を残さないでください。通話不良となる恐れがあります。

● 送話口／マイク、受話口、スピーカー、外部接続端子、イヤホンマイク端子などを尖ったものでつつかないでください。

● 端末が水に濡れた状態でイヤホンマイクを挿さないでください。故障の原因となります。

● オプション品は防水性能を有しておりません。風呂場、シャワールーム、台所、洗面所などの水周りでは使用しないでください。



せっけん／
洗剤／入浴剤



海水



プール



温泉



砂／泥

- 実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

水に濡れたときの水抜きについて

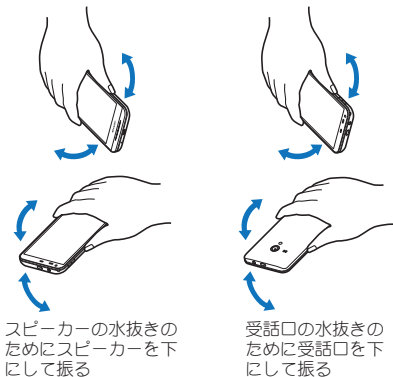
端末を水に濡らした場合、拭き取れなかった水があとから漏れてくる場合がありますので、次の手順で水抜きを行ってください。

1 端末表面の水分を乾いた清潔な布などでよく拭き取る

- ストラップを付けている場合は、ストラップも十分乾かしてください。

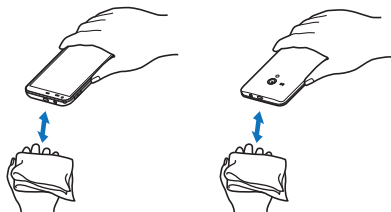


2 端末をしっかり持ち、20回程度水滴が飛ばなくなるまで振る



3 送話口／マイク、受話口、スピーカー、キー、外部接続端子、イヤホンマイク端子、ストラップ取り付け口などのすき間に溜まった水は、乾いた清潔な布などに端末を軽く押し当てて拭き取る

- 各部の穴に水が溜まっていることがありますので、開口部に布などを当て、軽くたたいて水を出してください。



4 端末から出てきた水分を乾いた清潔な布などで十分に拭き取り、しばらく自然乾燥させる

- 水を拭き取ったあとに本体内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。
- 水が抜けない場合は音が聞こえづらくなりますので、再度布などを当て、軽くたたいて水を出してください。

充電のとき

オプション品は防水性能を有していません。充電時、および充電後には、必ず次の点を確認してください。

- 端末が濡れていないか確認してください。濡れている場合や水に濡れたあとは、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで拭き取ってください。

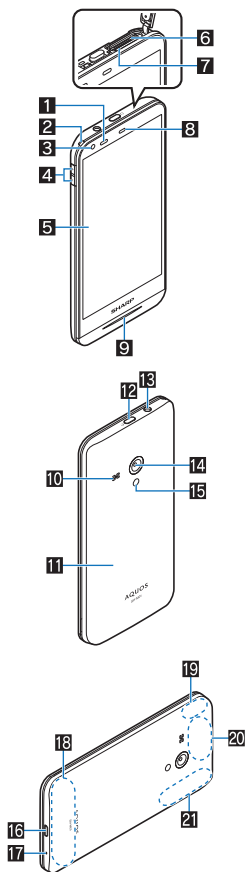
警告

端末が濡れている状態では、microUSBプラグを絶対に接続しないでください。

- 端末は防水性能を有しておりますが、濡れた状態でmicroUSBプラグを挿入すると、端末やmicroUSBプラグに付着した水分や異物などにより、充電ショートによる異常発熱、故障、火災、やけどの原因となります。
- 濡れた手でACアダプター（別売）に触れないでください。感電の原因となります。
- ACアダプターは、水のかからない状態で使用してください。風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りで使用しないでください。火災や感電の原因となります。

ご使用前の確認と設定

各部の名称と機能



7 microSDカードスロット※2

8 受話口

9 着信/充電イルミ

10 スピーカー

- 着信音や音楽などがここから聞こえます。
- ハンズフリー通話中は相手の声がここから聞こえます。

11 リアカバー

12 (○) (⌘):電源キー

- 電源を入れる/切るときなどに利用します。
- ディスプレイの表示/非表示を切り替えます。

13 イヤホンマイク端子

14 アウトカメラ

15 モバイルライト

16 外部接続端子

17 送話口/マイク

18 内蔵アンテナ※3

19 Wi-Fi/Bluetoothアンテナ※3

20 ワンセグアンテナ※3

21 GPSアンテナ※3 / 内蔵サブアンテナ※3

※1 センサー部分を手で覆ったり、シールなどを貼らないでください。センサーが正常に動作しないことがあります。

※2 リアカバーを外した内側に搭載されています。

※3 アンテナは本体に内蔵されています。アンテナ付近を手で覆うと品質に影響をおよぼす場合があります。

イヤホンマイク端子について

- 対応するイヤホンマイクについては次のサイトをご覧ください。

http://k-tai.sharp.co.jp/support/other/shm01/peripherals.html#/earphone_support

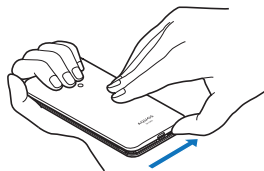
リアカバー

取り外しかた

- 1 端末を両手でしっかりと持ち、端末の凹部に指先をかけて少し開ける



- 2 指先を矢印の方向にスライドさせてツメを外す



- 3 上方向に取り外す



ストラップの取り付けかたについて

ストラップを取り付ける場合は、リアカバーを取り外してから、ストラップ取り付け口にストラップを通し、中のフックにストラップを掛けてリアカバーを取り付けてください。



1 近接センサー/明るさセンサー※1

- 近接センサーは、通話中に顔の接近を感知して、タッチパネルの誤動作を防ぎます。
- 明るさセンサーは、周りの明るさを検知して、バックライトの明るさを調整します。

2 ストラップ取り付け口

3 インカメラ

4 (↑) (↓):音量UP/DOWNキー

- 各種機能で音量を調節します。

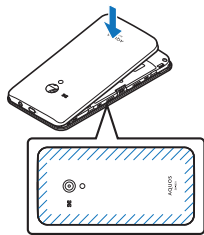
5 ディスプレイ/タッチパネル

6 microSDカードスロット※2

■ 取り付けかた

1 リアカバーの向きを確認して電源キーに合わせるように端末の上部から装着し、リアカバーの周囲(斜線部)をしっかりと押して取り付ける

- リアカバーと端末にすき間がないことを確認してください。



- リアカバーを外したまま使用しないでください。
- リアカバーはしっかりと取り付けてください。不十分だとリアカバーが外れ、防水性能が損なわれ、浸水の原因となります。
- リアカバーは無理に取り付けようとして、取り外そうとしたりすると破損する恐れがあります。無理な力を加えないようにしてください。

microSIMカード

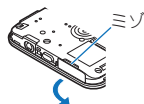
microSIMカードは、お客様の電話番号などの情報が記憶されているICカードです。

- 日本国内では、通話可能なmicroSIMカードを取り付けないと緊急通報番号(110番、119番、118番)に発信できません。
- microSIMカードには、PINコードという暗証番号があります(☎P.54「PINコード」)。
- microSIMカードの取り付け/取り外しは、電源を切って、背面を上向きにし、リアカバーを取り外してから行ってください(☎P.12「取り外しかた」)。端末は手でしっかり持ってください。取り付け/取り外しが終わったら、リアカバーを取り付けてください(☎P.13「取り付けかた」)。

■ 取り付けかた

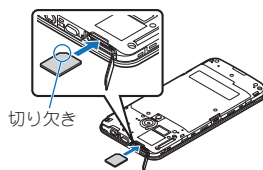
1 microSIMカード/microSDカードスロットカバーを開く

- ミゾに指先をかけて、開けてください。

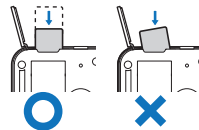


2 microSIMカードのIC(金色)面を下に向けて、microSIMカードスロットにゆっくりと挿入する

- 「カチッ」と音がするまで、ゆっくりと押し込んでください。

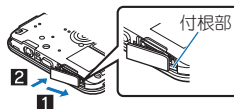


- microSIMカードが傾いた状態や、表裏が逆の状態無理に押し込まないでください。microSIMカードスロットが破損することがあります。



3 microSIMカード/microSDカードスロットカバーを閉じる

- microSIMカード/microSDカードスロットカバーの付根部分を収納し(1)、端末とカバーにすき間が生じないように合わせ、矢印の方向に押しつけて閉じてください(2)。



■ 取り外しかた

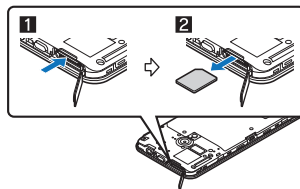
1 microSIMカード/microSDカードスロットカバーを開く

2 microSIMカードを軽く押し込む(1)

- 「カチッ」と音がするまで押し込んでください。microSIMカードが手前に飛び出します。

3 microSIMカードを取り外す(2)

- ゆっくりとまっすぐに取り外してください。microSIMカードを落とさないようにご注意ください。



4 microSIMカード/microSDカードスロットカバーを閉じる

- microSIMカードを取り扱うときは、IC(金色)に触れたり傷つけたりしないようにご注意ください。また、無理に取り付けようとして、取り外そうとするとmicroSIMカードが破損する恐れがありますので、ご注意ください。
- microSIMカードの詳しい取り扱いについては、microSIMカードの取扱説明書などを参照してください。
- 取り外したmicroSIMカードは、なくさないようにご注意ください。

充電

お買い上げ時は、内蔵電池は十分に充電されていません。必ず充電してからご使用ください。

■ 充電時のご注意

- 充電時間の目安についてはP.70「主な仕様」
- 端末の電源を入れておいても充電できません。充電中は電池マークに[🔋]が重なって表示されます。
- 電源を入れたまま長時間充電しないでください。充電完了後、端末の電源が入っていると内蔵電池の充電量が減少します。このような場合、ACアダプター（別売）は再び充電を行います。ただし、ACアダプターから端末を取り外す時期により、内蔵電池の充電量が少ない、短時間しか使えない、などの現象が起こることがあります。
- 充電完了後でも、端末を長時間放置している場合は電池残量が減少している場合があります。
- 電池が切れた状態で充電開始時に、充電イルミがすぐに点灯しない場合がありますが、充電は始まっています。
- 電池切れの表示がされたあと、電源が入らない場合は、しばらく充電してください。
- 充電中に充電イルミが赤色で点灯していても、電源を入れることができない場合があります。このときは、しばらく充電してから電源を入れてください。
- 電池残量が十分ある状態で、頻りに充電を繰り返すと、電池の寿命が短くなる場合がありますので、ある程度使用してから（電池残量が減ってからなど）充電することをおすすめします。
- 電池温度が高くなった場合、充電完了前でも自動的に充電を停止する場合があります。充電ができる温度になると自動的に充電を再開します。

■ 十分に充電したときの利用可能時間（目安）

連続通話時間	3G 約700分
連続待受時間	3G 静止時：約560時間（優先ネットワークタイプ： LTE／3G） LTE 静止時：約450時間（優先ネットワークタイプ： LTE／3G）
ワンセグ視聴時間	約480分

- 利用可能時間について詳しくはP.70「主な仕様」

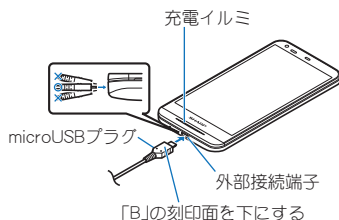
ACアダプターで充電

[必ず利用するACアダプターの取扱説明書を参照してください]

- 次の操作はACアダプター SHAC01（別売）を使用して説明しています。

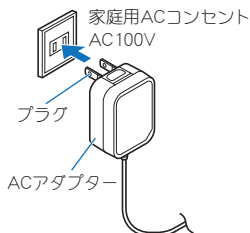
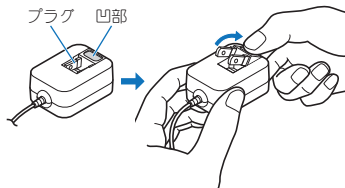
1 ACアダプターのmicroUSBプラグを、「B」の刻印面を下にして端末の外部接続端子に水平に差し込む

- microUSBプラグの向き（表裏）をよく確かめ、水平に差し込んでください。



2 ACアダプターの電源プラグを起し、コンセントに差し込むと、充電イルミが点灯して、充電が始まる

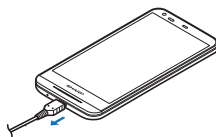
- プラグを起す際は、プラグの凹部に親指をのせて、矢印の方向に起こしてください。



3 充電が完了すると、充電イルミが消灯する

4 ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜く

5 ACアダプターのmicroUSBプラグを外部接続端子から水平に抜く



- 無理に差し込んだり抜いたりすると、外部接続端子やmicroUSBプラグが破損や故障する場合がありますので、ご注意ください。
- AC100Vから240V対応のACアダプターを海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプターが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しても充電は行わないでください。

microUSB接続ケーブルで充電

端末の電源が入っているときに、端末とパソコンを市販のmicroUSB接続ケーブルで接続すると、端末を充電することができます。

- パソコンとの接続方法についてはP.63「端末とパソコンの接続方法」

電源を入れる／切る

■ 電源を入れる

1 ○(Ⓞ) (2秒以上)

- はじめて端末の電源を入れたときに初期設定を行ってください(☞P.20「初期設定」)。

- 端末の電源を入れると、microSDカードの着脱に関する注意事項が毎回表示されます。

■ 電源を切る

1 ○(Ⓞ) (1秒以上) ▶ [電源を切る] ▶ [OK]

■ 強制的に電源を切る

画面が動かなくなったり、電源が切れなくなったりした場合、強制的に端末の電源を切ることができます。

1 ○(Ⓞ) (8秒以上)

- バイブレータが動作したあとに手を離すと、電源が切れま

■ ディスプレイの表示／非表示

○(Ⓞ)を押したときや端末を一定時間使用しなかったときは、ディスプレイの表示が消えます。ディスプレイが消えているときに○(Ⓞ)を押すと、ディスプレイが表示されます。

ウェルカムシート(ロック画面)の操作

電源を入れたときやディスプレイを表示させたときはウェルカムシート(ロック画面)が表示され、タッチパネルがロックされています。



1 壁紙

- ウェルカムシート壁紙を[静止画]に設定している場合、複数の静止画を登録していると、左右フリックすることで壁紙を切り替えることができます。
 - ・ [ウェルカムシート壁紙]には最大5枚まで静止画を登録できます。

2 ロック解除／ショートカット表示

- [Ⓞ]を下にスライドすると、ロックが解除されます。また、[☰]をタッチするとショートカットなどが表示されます。

3 所有者情報

- ロックとセキュリティで[所有者情報]を設定している場合に[☰]をタッチすると、所有者情報が表示されます。

4 インフォエリア

- 左右にフリックすると、天気、ウィジェット、日時などに表示を切り替えます。また、[ウィジェット追加]表示中に[+]をタッチすると、表示するウィジェットを追加できます。ウィジェットをロングタッチすると、ウィジェットの並べ替えや削除ができます。

■ ウェルカムシート設定

ウェルカムシート(ロック画面)に表示する壁紙やショートカット、インフォエリアなどを設定することができます。

1 ウェルカムシート(ロック画面)で[☰]

2 [ウェルカムシート設定]

- **ウェルカムシート壁紙**: ウェルカムシート(ロック画面)の画像を設定します。
- **ショートカット**: ウェルカムシート(ロック画面)から起動するショートカットを設定します。
- **インフォエリア**: インフォエリアに天気を表示することができます。
- **ウェルカムシート点灯時間**: ウェルカムシート(ロック画面)の点灯時間を設定します。

■ ウェルカムシート(ロック画面)の操作

- マナーモード設定／解除: [Ⓞ] (2秒以上)
- モバイルライト点灯／消灯: [Ⓞ] (2秒以上)

- 画面のロックを[スライドまたはタッチ]に設定している場合、ロックを解除せずにステータスパネルを表示できます。

モバイルライトについて

- モバイルライトは点灯後、約30秒経過すると自動的に消灯します。

ウィジェットの追加について

- あらかじめ[ウィジェットの有効化]を有効にしておいてください(☞P.53「ロックとセキュリティ」)。
- 画面のロックを[スライドまたはタッチ]以外に設定している場合、[+]をタッチしたあとにロックを解除してください。

基本操作

タッチパネルの操作

ディスプレイ(タッチパネル)を使用するための操作について説明します。

- 利用中の機能や画面によって操作は異なります。

タッチパネル利用時のご注意

- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押しすぎたり、先が尖ったもの(爪／ボールペン／ピンなど)を押し付けたりしないでください。
- 次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
 - 手袋をしたままでの操作
 - 爪の先での操作
 - 異物を操作面に乗せたままでの操作
 - 保護シートやシールなどを貼った操作
 - タッチパネルが濡れたままでの操作
 - 指が汗や水などで濡れた状態での操作

- 確認画面などの表示中に、確認画面やステータスバー以外をタッチすると操作が中止されることがあります。

■ タッチ

画面に表示されるキーや項目に触れて指を離すと、選択・決定を行います。



■ ロングタッチ

利用中の機能や画面によっては、タッチパネルに触れたままにするとメニューが表示されることがあります。

■ スライド／ドラッグ

タッチパネルに触れたまま指を動かすと、画面をスクロールしたり、アイコンやウィジェットなどを目的の位置まで移動したりできます。

また、メニューや項目に間違っ触れたときにメニューや項目から離れるように指を動かすと、選択を中止できます。



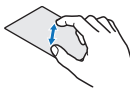
■ フリック

ホーム画面などでタッチパネルをはらうように指を動かすと、ページの切り替えができます。



■ ピンチアウト／ピンチイン

利用中の機能や画面によっては、2本の指でタッチパネルに触れ、2本の指の間を広げる(ピンチアウト)/狭める(ピンチイン)ように指を動かすと、画面の拡大/縮小などができます。



機能利用中の操作

■ ナビゲーションキー

画面下部に表示されるナビゲーションキーを使って基本的な操作を行うことができます。



1 [戻る] / [閉じる]: 戻るキー／閉じるキー

- 1つ前の画面に戻します。
- キーボードを閉じます。

2 [ホーム]: ホームキー

- ホーム画面を表示します。

3 [メニュー]: メニューキー

- 利用できる機能(メニュー)を表示します。

4 [アプリ]: アプリ使用履歴キー

- クイックランチャーやアプリ使用履歴を表示します(※P.26「クイックランチャー」、P.27「アプリ使用履歴」)。

■ アシスト機能の利用

アシスト機能に対応したアプリをすばやく起動することができます。

1 いくつかのナビゲーションキーを上へスライド▶ [Google]までスライド

- アシスト機能に対応したアプリをインストールすると、起動するアプリを変更できます。

■ メニューを呼び出す

[☰]や[⋮]をタッチしたり、画面をロングタッチしたりすると、その画面で利用できる機能(メニュー)が表示されます。

例: コンテンツマネージャー画面



■ 設定の切替

設定項目の横にチェックボックスが表示されているときは、チェックボックスをタッチすることで設定の有効/無効や[ON]/[OFF]を切り替えることができます。

例: サウンド・イイルミ画面、アラーム画面

- [☑]は有効、[☐]は無効の状態です。



■ 縦／横表示

端末を傾けたときに画面の表示が切り替わります。

- 表示中の画面によっては、端末の向きを変えても、縦/横表示が切り替わらない場合があります。
- 端末が地面に対して水平に近い状態で向きを変えても、縦/横表示は切り替わりません。
- 音やバイブレータが動作しているときは、切り替えが正しく行われない場合があります。
- 画面が点灯した直後や電源を入れた直後は、縦横が正しく表示されない場合があります。
- 自動的に切り替わらないように設定することもできます(※P.50「ディスプレイ」)。
- 縦表示から横表示にした場合、アプリによっては全画面表示されることがあります。

■ スクリーンショットの撮影

[○(w)++]を1秒以上押し、表示中の画面を本体メモリに保存できます。

- 撮影時にシャッター音が鳴ります。
- 保存したスクリーンショットはアルバムなどで確認することができます。

- フォンセグや電子書籍の表示中などは保存できません。
- アプリによっては全部または一部が保存できない場合があります。

■ Sweep ON

ディスプレイの表示が消えているときにタッチパネルを指でスライドすると、ディスプレイを表示することができます。

- モーションによる画面ON/OFFの[Sweep ON]を有効にしておいてください(☞P.50「ディスプレイ」)。

- 手や物などによって近接センサーが覆われた場合、ディスプレイは表示されますが誤動作防止のためタッチ操作はできません。また、端末の設定にかかわらずディスプレイの表示が消える場合があります。

■ Shake OFF

端末を左右に振ると、ディスプレイの表示を消すことができます。

- モーションによる画面ON/OFFの[Shake OFF]を有効にしておいてください(☞P.50「ディスプレイ」)。

端末内やサイトの情報の検索

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [Google]

- Google Now™の確認画面が表示された場合は内容を確認し、画面の指示に従って操作してください。
- クイック検索ボックスが表示されます。

2 キーワードを入力



1 検索ボックス

- 検索するキーワードを入力します。
- キーワードを入力すると、入力した文字から始まるアプリやデータなどを検索し、一覧表示します。

2 音声検索切替

3 検索結果を選ぶ

- 検索結果がアプリの場合は対応するアプリが起動します。
- [画像]などが表示された場合は、ジャンルを選択して検索することができます。
- 検索結果にキーボードが重なって表示される場合は[☑]をタッチしてキーボードを閉じてください。

■ 検索設定

1 クイック検索ボックスで[☰] ▶ [設定]

2 項目を選ぶ

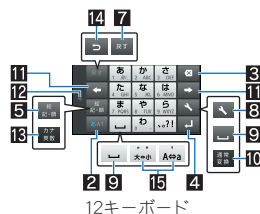
- **端末内検索**: 検索する対象の範囲を設定します。
- **音声**: 音声入力について設定します。
- **アカウントとプライバシー**: 履歴や位置情報などのアカウントやプライバシーについて設定します。

文字入力

キーボードの見かた

- 次の2種類のキーボードを利用できます。

QWERTYキーボード	文字入力キーをタッチすると表示されている文字を入力できます。ローマ字で文字を入力します。
12キーボード	1つの文字入力キーに複数の文字が割り当てられています。文字入力キーをタッチするたびに文字が切り替わります。 <ul style="list-style-type: none"> ● 文字入力キーを上下左右にフリックして、文字を入力することもできます。



※各キーは設定や状況に応じて表示が切り替わります。

1 シフトキー

- 大文字/小文字を切り替えるときにタッチします。
- [⇐]が表示されているときは小文字が入力されます。[⇐]が表示されているときは最初に入力する文字が大文字になります。[⇒]が表示されているときは大文字が入力されます。
- 大文字/小文字を切り替えると、キーボードで入力できる記号も変わります。

2 入力モード切替キー

- 入力モードを変更するときにタッチします。
- タッチすると、半角英字→半角数字→ひらがな漢字の順に、入力モードが切り替わります。各入力モードで設定したキーボードが表示されます。
- 入力モード切替キーを右にスライドしても入力モードを切り替えることができます。

3 削除キー

- 文字削除キー動作で設定した方向の文字を消します。

4 エンターキー

- 改行します。
- 入力した文字を確定します。
- 検索ボックスなどの入力欄に入力した内容を実行します。
- 次の入力欄に移動します。
- ロングタッチすると、キーボードを閉じます。

5 記号キー

- 絵文字/記号/顔文字リストを表示します。
 - アプリによっては、入力できないものがあります。
 - 右にスライドすると連携・引用アプリ一覧が表示されます。

6 カナ英キー

- 入力した文字のカタカナ、タッチしたキーに割り当てられた英字や記号の通常変換候補(カナ英字変換候補)を表示します。
- 右にスライドすると連携・引用アプリ一覧が表示されます。

- 7 戻すキー
● 直前に行った操作を取り消します。

- 8 設定キー
● 設定メニューを表示します。

- 9 スペースキー
● スペースを入力します。

- 10 通常変換キー
● 入力した文字を通常変換します。

- 11 カーソルキー
● カーソルを移動したり、変換する文字の区切りを変更したりできます。

- 12 配置移動
● [◀] / [▶] をタッチするとキーボードや変換候補欄などを左右に移動します。

- 13 カナ英数キー
● 入力した文字のカタカナ、タッチしたキーに割り当てられた英数字や記号の通常変換候補(カナ英数変換候補)を表示します。
● 右にスライドすると連携・引用アプリー一覧が表示されます。

- 14 逆トグルキー
● 同じキーに割り当てられた文字を通常とは逆の順序で表示します。

- 15 文字切替キー
● 大文字 / 小文字を切り替えるときにタッチします。
● 濁点 / 半濁点を付けるときにタッチします。

■ キーボードの切替

例: ひらがな漢字入力モードで縦表示のとき

- 1 文字入力画面で[] ▶ [入力方式] ▶ [QWERTY キーボード [あ漢 [ひらがな漢字]] [縦画面]] / [12 キーボード [あ漢 [ひらがな漢字]] [縦画面]]
● 設定キーを上にもスライドしても切り替えることができます。

文字入力の設定

■ 表示・レイアウト

- 1 文字入力画面で[] ▶ [表示・レイアウト]
- 2 項目を選ぶ
- **キーボード調整**: 縦表示のキーボードのサイズと変換候補欄の行数やデザインなどを設定します。
 - **絵文字・記号リスト列数**: 絵文字・記号リストの列数を設定します。
 - **キー入力ガイド表示**: 選択したキーの拡大表示やフリック入力のガイドを表示するか設定します。
 - **ソフトキーボード表示**: Bluetooth機能などで市販のキーボードを接続して文字入力するときに文字入力画面を表示するか設定します。

■ フリック設定・入力補助

- 1 文字入力画面で[] ▶ [フリック設定・入力補助]
- 2 項目を選ぶ
- **フリック感度**: フリック入力をするときの文字選択の感度を設定します。
 - **ガイドの表示速度**: フリック入力時のガイドの表示速度を設定します。
 - **トグル入力**: フリック入力時にもトグル入力を利用するか設定します。
 - **キー操作音**: 文字入力時の操作音の有無を設定します。
 - **キー操作バイブ**: 文字入力時にバイブレータを動作させるか設定します。
 - **文字削除キー動作**: 削除キーの動作を設定します。
 - **ローマ字キーボード補助**: ローマ字で日本語入力するときに不要なキーをタッチできないように設定します。

- **自動カーソル移動**: 文字入力後にカーソルを自動的に右側に移動させる速度を設定します。
- **絵・記・顔の連続入力**: 絵文字・記号・顔文字リストで候補選択後にリスト表示を維持するか設定します。

[文字削除キー動作]について

- 文字にカーソルが当たっている場合はカーソル位置の文字を削除します。[左側削除(バックスペース)]に設定したときカーソルが先頭にある場合はカーソル右側の文字を、[右側削除(クリア)]に設定したときカーソルが文末にある場合はカーソル左側の文字を消します。

■ 変換機能

- 1 文字入力画面で[] ▶ [その他の設定] ▶ [変換機能]
- 2 項目を選ぶ
- **予測変換**: 予測変換を利用するか設定します。
 - **つながり予測**: 入力確定直後につながり予測変換候補を表示します。
 - **ワイルドカード予測**: ワイルドカード予測を利用するか設定します。
 - **入力ミス補正**: 入力ミス補正について設定します。
 - **メールいきなり予測**: メール本文入力時に文頭に使用する文章の候補を表示します。
 - **外部変換エンジン**: 外部の変換エンジンを利用して変換候補を表示します。
 - **自動大文字変換**: 半角英字入力で文頭文字を大文字で入力します。
 - **自動スペース入力**: 半角英字入力で英単語を選択したあと半角スペースを自動的に挿入します。

[自動大文字変換]について

- 利用中のアプリによっては、設定に従わない場合があります。

■ 辞書

- 1 文字入力画面で[] ▶ [その他の設定] ▶ [辞書]
- 2 項目を選ぶ
- **ユーザー辞書**: ユーザー辞書の単語を編集します。
 - **ダウンロード辞書**: ダウンロード辞書の登録/解除/削除をします。
 - **地域おすすすめ辞書**: 選択した地域の詳しい地名などを変換候補として利用するか設定します。
 - **変換辞書の更新**: 変換辞書の更新やダウンロード、アンインストールをします。
 - **電話帳名前データと連携**: 電話帳の名前データを辞書に追加/初期化します。

■ スライド切替

- 1 文字入力画面で[] ▶ [その他の設定] ▶ [スライド切替]
- 2 項目を選ぶ
- **上方向スライド**: キーボードを下端から上端までスライドしたときの動作を設定します。
 - **下方向スライド**: キーボードを上端から下端までスライドしたときの動作を設定します。
 - **右方向スライド**: キーボードを左端から右端までスライドしたときの動作を設定します。
 - **左方向スライド**: キーボードを右端から左端までスライドしたときの動作を設定します。

■ 各種リセット

1 文字入力画面で[] ▶ [その他の設定] ▶ [各種リセット]

2 項目を選ぶ

- **設定リセット** : iWnn IME - SH editionの設定をリセットします。
- **学習辞書リセット** : 学習辞書をリセットします。
- **顔文字リセット** : 顔文字リストの内容をリセットします。

文字入力のしかた

例:「文字」と入力するとき

1 文字入力画面で「もじ」と入力



1 拡大/縮小

- 予測変換候補欄を拡大/縮小します。

2 予測変換候補欄

- 予測変換候補が表示されます。変換候補をタッチすると入力できます。
- 外部変換エンジンを設定している場合は[外部変換]が表示されます。タッチすると外部の変換エンジンを利用した変換候補が表示されます。

2 [通常変換]

3 変換候補欄で「文字」を選ぶ



1 範囲縮小/範囲拡大

- 変換する文字の区切りを縮小/拡大することができます。
- 操作可能な場合のみ表示されます。

2 閉じる

- 変換候補欄を閉じます。

3 変換候補欄

- 変換候補をタッチすると入力できます。
- 外部変換エンジンを設定している場合は、予測/通常変換に[外部変換]が表示されます。タッチすると外部の変換エンジンを利用した変換候補が表示されます。

4 確定

- 変換を確定します。

5 予測変換

- 変換候補欄に予測変換候補を表示します。

6 通常変換

- 変換候補欄に通常変換候補を表示します。

7 カナ英数

- 変換候補欄にカナ英数変換候補を表示します。

■ ワイルドカード予測

入力した文字数から変換候補を予測して表示します。

- あらかじめ[ワイルドカード予測]を有効にしておいてください(「P.18」変換機能)。
- ひらがな漢字入力モード、半角英字入力モードのときに利用できます。

例:「アナウンス」と入力するとき

1 文字入力画面で「あな」と入力

2 [] ▶ [] ▶ []

- []をタッチするたびに[*]が入力され、文字数に合わせた予測変換候補が表示されます。

3 変換候補欄で「アナウンス」を選ぶ

■ 区点コードで入力

文字ひとつひとつに付与されている4桁の区点コードを利用して、漢字やひらがな、カタカナ、記号、英数字などを入力できます。

1 文字入力画面で[] ▶ [文字種変更] ▶ [区点コード]

2 区点コードを入力

- 4桁目を入力すると、コード入力した文字が表示されます。
- 4桁目を入力すると区点コード入力モードにする前の入力モードに戻ります。

■ 音声で入力

音声で文字を入力することができます。

1 文字入力画面で[] ▶ [入力方式] ▶ [音声入力]

- QWERTYキーボードを利用中は設定キーを右にスライド、12キーボードを利用中は設定キーを下にスライドしても音声入りに切り替えることができます。

2 マイクに向かって話す

- 次の場合は正しく認識できないことがあります。

- 声が大きすぎる場合
- 周囲の雑音が大い場合
- 発音が明瞭でない場合
- 発音が不自然な場合
- 発音速度が速すぎる場合
- キーを押したり、マイクを触ったりした場合

■ テキスト編集

入力した文字を選択して切り取りやコピー、貼り付けなどの操作ができます。

1 入力した文字をロングタッチ

2 文字を編集する

- 選択範囲の指定: [C]/[B]をドラッグ
- 切り取った文字、コピーした文字の履歴の表示: [] ▶ [アプリ連携・引用(マッシュルーム)] ▶ [コピー履歴SH]



1 すべて選択

- 入力した文字をすべて選択します。

2 切り取り

- 選択した文字を切り取ります。

3 コピー

- 選択した文字をコピーします。

4 貼り付け

- 切り取った文字やコピーした文字を貼り付けます。
- 文字入力欄をロングタッチ ▶ [貼り付け] でも、文字を貼り付けることができます。
- 文字入力欄をロングタッチ ▶ [履歴から] ▶ 入力する文字を選ぶと、履歴を選んで貼り付けることができます。

- 切り取った文字、コピーした文字は合わせて10件まで保存されます。

- 切り取った文字、コピーした文字が最大保存件数を越えた場合は、古い履歴から順に削除されます。

初期設定

はじめて端末の電源を入れた場合は、初期設定画面が表示されます。画面の指示に従って設定してください。

- 設定する項目は次のとおりです。ただし、Googleアカウントの設定により表示される項目が異なります。

- 言語の設定
- Wi-Fiの設定 (P.20「Wi-Fiの設定」)
- Googleアカウントの設定 (P.21「Googleなどのアカウントの設定」)
- Google位置情報
- 本端末の所有者情報
- Googleサービス
- お支払い情報の設定

アクセスポイントの設定

インターネットに接続するためのアクセスポイントを設定します。

■ 利用中のアクセスポイントを確認

- 1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [その他] ▶ [モバイルネットワーク] ▶ [アクセスポイント名]

■ アクセスポイントを追加で設定

- 1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [その他] ▶ [モバイルネットワーク] ▶ [アクセスポイント名] ▶ [⊕]
- 2 [名前] ▶ 作成するネットワークプロファイルの名前を入力 ▶ [OK]
- 3 [APN] ▶ アクセスポイント名を入力 ▶ [OK]
- 4 その他、通信事業者によって要求されている項目を入力 ▶ [⊖] ▶ [保存]

アクセスポイントの初期化

アクセスポイントを初期化すると、お買い上げ時の状態に戻ります。

- 1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [その他] ▶ [モバイルネットワーク] ▶ [アクセスポイント名] ▶ [⊖] ▶ [初期設定にリセット]

- 圏外など電波状況によりアクセスポイントの自動設定に失敗した場合は、再度手動でアクセスポイントを設定する必要があります。

Wi-Fiの設定

端末のWi-Fi機能を利用して、自宅や社内ネットワーク、公衆無線LANサービスのアクセスポイントに接続して、メールやインターネットを利用できます。

Bluetooth機器との電波干渉について

- 無線LAN (IEEE802.11b/g/n) とBluetooth機器は同一周波数帯 (2.4GHz) を使用するため、Bluetooth機器の近くで使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下や雑音、接続不能の原因になることがあります。この場合、Bluetooth機器の電源を切るか、端末や接続相手の無線LAN機器をBluetooth機器から約10m以上離してください。

- Wi-Fiを[ON]にしている場合もパケット通信を利用できます。Wi-Fi接続中はWi-Fi接続が優先されますが、Wi-Fi接続が切断されると自動的にLTE/3Gネットワークでの接続に切り替わります。そのままご利用になる場合は、パケット通信料がかかる場合がありますのでご注意ください。
- ご自宅などのアクセスポイントを利用する場合は、無線LAN親機の取扱説明書もご覧ください。
- アクセスポイントを登録するときは、アクセスポイントの近くで操作してください。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [Wi-Fi]

2 [OFF]を右にスライド

3 アクセスポイントを選ぶ

- セキュリティで保護されたアクセスポイントを選択した場合、パスワード(セキュリティキー)を入力し、[接続]を選択してください。
- アクセスポイントを手動で登録:[ネットワークを追加] ▶ ネットワークSSIDを入力 ▶ セキュリティを設定 ▶ [保存]
- WPSに対応しているアクセスポイントは簡単登録ができます。ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [Wi-Fi] ▶ [簡単設定] ▶ [WPSプッシュボタン] / [WPS PIN入力] でアクセスポイントを登録してください。
- ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [Wi-Fi] ▶ [簡単設定] ▶ [AOSS] でもアクセスポイントに接続できます。以降は画面の指示に従って操作してください。

- アクセスポイントを選択して接続するときに誤ったパスワード(セキュリティキー)を入力した場合、[インターネット接続不良により無効]または[認証に問題]と表示されます。パスワード(セキュリティキー)をご確認ください。なお、正しいパスワード(セキュリティキー)を入力しても[インターネット接続不良により無効]と表示されるときは、正しいIPアドレスを取得できていない場合があります。電波状況をご確認の上、接続し直してください。
- WPS簡単登録の登録処理には、数分かります。アクセスポイントの登録処理後、アクセスポイントに適切に接続されていることをご確認ください。
- アクセスポイントの手動登録は、セキュリティ設定としてWEP、WPA/WPA2 PSK、802.1xEAPに対応しています。

■ 詳細設定

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶

[Wi-Fi] ▶  ▶ [詳細設定]

2 項目を選ぶ

- **ネットワークの通知**: オープンネットワークを検出したときに、お知らせアイコンで通知するか設定します。
 - ・Wi-Fiを[ON]にしてから設定してください。
- **Wi-Fiのスリープ設定**: Wi-Fi機能をスリープに切り替えるタイミングを設定します。
- **スキャンを常に実行する**: Wi-Fiを[OFF]にしている場合も、位置情報サービスと他のアプリでネットワークをスキャンするか設定します。
- **接続不良のとき無効にする**: 安定したインターネット接続があるときのみWi-Fi機能を利用するか設定します。
- **Wi-Fi周波数帯域**: 使用する周波数帯域を設定します。
- **証明書のインストール**: 証明書をインストールします。
- **MACアドレス**: MACアドレスを確認できます。
- **IPアドレス**: IPアドレスを確認できます。

■ 切断

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶

[Wi-Fi]

2 接続しているアクセスポイントを選ぶ ▶ [切断]

- ・パスワードを保持したまま切断します。

テザリング

本端末をアクセスポイントとして利用することで、Wi-Fi対応機器や市販のmicroUSB接続ケーブルまたはBluetooth通信で接続したパソコンなどをインターネットに接続するテザリング機能を利用することができます。

- 同時に接続できる機器数は、microUSB接続ケーブルで接続したパソコン1台、Wi-Fi対応機器10台、Bluetooth機器5台の計16台です。
- Bluetoothテザリングを行うには、あらかじめ相手のBluetooth機器を登録しておいてください(※P.61「Bluetooth機能の利用」)。Bluetooth機器側の設定については、Bluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [その他] ▶ [テザリング]

2 項目を選ぶ

- **USBテザリング**: USBテザリングを利用するか設定します。
 - ・ご利用の前に、注意事項の詳細をご確認ください。
- **Wi-Fiテザリング**: Wi-Fiテザリングを利用するか設定します。
 - ・ご利用の前に、注意事項の詳細をご確認ください。
- **Wi-Fiテザリングを設定**: ネットワークSSIDやセキュリティなどWi-Fiテザリングについて設定します。
- **Bluetoothテザリング**: Bluetoothテザリングを利用するか設定します。
 - ・ご利用の前に、注意事項の詳細をご確認ください。

[USBテザリング]について

- テザリング機能は、Windows Vista、Windows 7、Windows 8、Windows 8.1、Linuxでご利用いただけます。
- USBテザリング中は、本端末に取り付けられたmicroSDカードをパソコンでマウントすることはできません。
- USBテザリングの詳細については、次のサイトをご覧ください。
<http://www.android.com/tether#usb>

[Wi-Fiテザリング]について

- 本端末がアクセスポイントとして機能している場合、本端末はWi-Fi接続でインターネットにアクセスすることはできません。
- Wi-Fiアクセスポイントの設定は[Wi-Fiテザリングを設定]で行ってください。
- Wi-Fiテザリングの詳細については、次のサイトをご覧ください。
<http://www.android.com/tether#wifi>

[Wi-Fiテザリングを設定]について

- お買い上げ時は、ネットワークSSIDは[SH-M01_AP]、セキュリティは[WPA2 PSK]、パスワードはランダムな値が設定されています。必要に応じて設定を変更してください。

メールのアカウントの設定

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [メール]

- アカウントが設定されていない場合のみ、アカウント設定画面が表示されます。

2 メールアドレス、パスワードを入力 ▶ [次へ]

- いくつかのメールアドレスについてプロバイダ情報がプリセットされており、受信メールサーバーと送信メールサーバーの設定が自動で行われます。
- プロバイダ情報がプリセットされていないアカウントの場合、受信メールサーバーと送信メールサーバーの設定を手動で行う必要があります。設定については、ご利用のプロバイダにお問い合わせください。

3 アカウントを設定する ▶ [次へ]

4 アカウントの名前、あなたの名前を入力 ▶ [次へ]

Googleなどのアカウントの設定

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [アカウントを追加]

2 アカウントの種類を選ぶ

3 アカウントを設定する

- ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] で表示されるメニューに、追加したアカウントが表示されます。

- アカウントが必要となるアプリを起動したときにアカウントが未設定の場合は、アカウント設定画面が表示されます。
- 設定したアカウントおよびパスワードはメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。

■ アカウントの削除

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定]

2 アカウントを選ぶ ▶ ▶ [アカウントを削除] ▶ [アカウントを削除]

- アカウントにより操作方法が異なります。

■ Googleアカウントのパスワードの再取得

Googleアカウントのパスワードをお忘れになった場合は、パスワードを再取得してください。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [ブラウザ]

2 URL入力欄に「<https://www.google.co.jp/>」を入力 ▶ [実行] ▶ [ログイン] ▶ [お困りの場合] ▶ 画面に従って操作

電話帳のインポート／エクスポート

■ microSDカードからのインポート

- 1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [電話帳]
- 2 [] ▶ [設定・管理] ▶ [ストレージからインポート]
- 3 暗証番号を入力 ▶ [OK]
- 4 インポートする電話帳データを選ぶ
- 5 [一括登録] / [選択登録]
 - 以降は画面の指示に従って操作してください。
 - アカウントが複数ある場合は登録するアカウントの選択画面が表示されます。

■ microSDカードへのエクスポート

- 1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [電話帳]
- 2 [] ▶ [設定・管理] ▶ [ストレージへエクスポート]
- 3 暗証番号を入力 ▶ [OK]
- 4 [保存する(画像なし)] / [保存する(画像付き)]
 - アカウントが複数ある場合は登録するアカウントの選択画面が表示されます。

着信／充電イルミ

不在着信がある場合や充電中などに着信／充電イルミを点灯／点滅してお知らせします。

表示状態	色	端末の状態
点灯	ルビー(赤色)	充電中(電池残量約94%以下)
点灯	エメラルド(緑色)	充電中(電池残量約95%以上)
点滅	ルビー(赤色)	充電ができない状態
点滅	ブリズム(白色)	着信中
点滅	シトリン(黄色)	不在着信あり／新着メールあり
点滅	アメジスト(紫色)	ボイスレコーダーで録音中／Bluetooth通信でデータ送受信開始・終了

- ディスプレイが表示されている場合、不在着信や新着メールをお知らせする着信イルミが点滅しません。お知らせアイコンで確認してください。ワンセグを横表示で視聴している場合など、お知らせアイコンが表示されないときはステータスバーが表示される画面で確認してください。

画面表示／アイコン

アイコンの見かた

画面上部のステータスバーに表示されるアイコンで、端末の状態や不在着信の有無など、さまざまな情報を知ることができます。ステータスパネルを表示させると詳細情報を確認できます。

- 表示されるアイコンには、次の2種類があります。
 - お知らせアイコン: 不在着信や新着メールなどをお知らせします。
 - ステータスアイコン: 電池残量や電波状態など端末の状態を表します。



■ 主なお知らせアイコン一覧

- お知らせアイコンには件数が重なって表示されるものもあります。

- ☎: 不在着信あり
- ✉: 新着SMSあり
- ✉: 新着メールあり
- ✉: 新着Gmailあり
- 📧: ハングアウトの新着メッセージあり
- ⚠: エラー表示
 - 何らかのエラーが発生したときに表示されます。
- 📶: データ通信が無効
- 📶: データ通信の制限を超えた場合に表示されます。

- アラーム表示
- 🔔: アラーム鳴動中／スヌーズ中
- 🔔: アラーム終了(アラーム終了操作なし)
- 📅: カレンダーのスケジュール通知あり
- ワンセグ情報あり
- 📺: ワンセグ視聴中／ワンセグ受信中
- 📺: 録画中
- 📺: 録画予約あり(5分前から表示)
- 🎵: ミュージックで音楽再生中

- 通話表示
- ☎: 発信中／着信中／通話中
- 📞: 保留中

- microSDカード表示
- 📁: microSDカード準備中
- 🗑️: マウントを解除したとき
- 📁: 本体メモリ／microSDカードスキャン中
- 📁: 本体メモリの空き容量低下

- Bluetooth表示
- 📶: Bluetooth機器からの登録要求／接続要求あり
- 📶: データ受信要求あり

- USB接続表示
- 🔌: USB接続(カードリーダーモード接続時)
- 🔌: MTPモード／PTPモード／カードリーダーモード

- データ送受信表示
- 📶: 送信表示
- 📶: 受信表示

- アプリ表示
- 📦: アップデートあり
- 📦: アプリのインストール完了

Wi-Fi表示

📶: オープンネットワークあり

📶: Wi-Fi接続制限あり

📶: [USBテザリング]が有効

📶: [Wi-Fiテザリング]が有効

📶: [Bluetoothテザリング]が有効

📶: 複数のテザリングが有効

📶: Bright Keepが[ON(通知あり)]のとき

📶: VPN接続

📶: ソフトウェア更新あり

📶: 表示されていないお知らせアイコンあり

■ 主なステータスアイコン一覧

📶: アラーム設定中

🔋: 電池残量表示

🔋: ~: 約100%~約5%

🔋: 約4%以下

● 充電中は電池マークに[🔋]が重なって表示されます。

● [電池残量%表示]が有効の場合は電池マークの左に電池残量パーセントで表示されます。

📶: 電波状態表示

📶: レベル4

📶: レベル3

📶: レベル2

📶: レベル1

📶: レベル0

📶: 圏外

● 国際ローミング中は電波マークの左上に[R]が表示されます。

📶: 機内モード中

📶: 3Gデータ通信状態表示

📶: 3G使用可能

📶: 3Gデータ受信

📶: 3Gデータ送信

📶: 3Gデータ送受信

📶: LTEデータ通信状態表示

📶: LTE使用可能

📶: LTEデータ受信

📶: LTEデータ送信

📶: LTEデータ送受信

📶: HSPAデータ通信状態表示

📶: HSPA使用可能

📶: HSPAデータ受信

📶: HSPAデータ送信

📶: HSPAデータ送受信

📶: 文字入力モード表示

📶: ひらがな漢字

📶: 全角英字

📶: 半角英字

📶: 全角数字

📶: 半角数字

📶: 区点コード

📶: マナーモード表示

📶: 通常マナー

📶: サイレントマナー

📶: スピーカーで通話中

📶: 消音に設定中

Wi-Fi電波状態表示

📶: レベル4

📶: レベル3

📶: レベル2

📶: レベル1

📶: レベル0

Bluetooth表示

📶: 待機中

📶: 接続中

📶: 位置情報を高精度で測位中

ステータスパネルの利用

1 ステータスバーを下にドラッグ

- [📶]をロングタッチしてもステータスパネルを表示することができます。

2 ステータスパネルを利用



1 機能ボタンエリア

- マナーモード、Wi-Fi機能、位置情報の使用などについて設定できます。[カスタマイズ]をタッチすると機能ボタンの並べ替えや追加、削除ができます。
- [位置情報]をタッチすると、「ユーザーの同意」と「位置情報についての同意」が表示されます。[同意しない] / [同意する]によって、設定されるモードが異なります(📶 P.53「位置情報」)。

2 拡大／縮小バー

- 機能ボタンエリアを拡大／縮小します。

3 通知詳細情報

- 対応するアプリがある場合、詳細情報をタッチしてアプリを起動できます。
- 2本の指で上下にスライド、またはピンチアウト／ピンチインすると、エリアの拡大／縮小ができます。
- 左右にフリックすると、詳細情報を消去できる場合があります。
- ロングタッチすると、[アプリ情報]が表示され、アプリの情報の確認ができる場合があります。
- [コールバック]をタッチすると相手先へ発信できます。
- [メッセージ]をタッチすると相手先へSMSを送信できます。

4 閉じるバー

- 上にドラッグすると、ステータスパネルを閉じることができます。

5 設定

- 「設定」アプリを起動します。

6 全通知消去

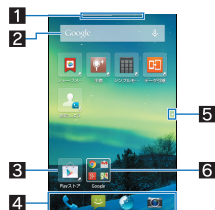
- 対応するアプリがある場合、通知詳細情報とお知らせアイコンを消去します。
- 詳細情報によっては削除できない場合があります。

ホーム画面

ホーム画面の見かた

目的のアプリがすぐに見つかる直感的なホームアプリです。左右にフリックするだけでデスクトップシートやアプリシートから使いかたに合ったシートを選んで利用できます。

- 新しいアプリをインストールすると、アプリアイコンとショートカットが追加されます。
- アプリをアンインストールすると、ホーム画面からアイコンが削除されます。



デスクトップシート



アプリシート

1 ガイドタブ

- 表示中のシートを示します。シートを切り替えたときはシート名が表示されます。

2 ウィジェット

- カレンダーや歩数計など、簡単な機能を利用できます。

3 ショートカット

- よく使うアプリをすばやく起動できます。

4 ドック

- ホーム画面のどのページからもすばやくアプリを起動できます。

5 インジケータ

- タッチしたページに移動できます。表示しているページを [O] で表します。

6 フォルダ

- アプリ/ショートカットを格納できます。

7 アプリ

ホーム画面の管理

■ ホーム画面の設定

1 ホーム画面で [≡] ▶ [ホーム設定]

2 項目を選ぶ

- **機能紹介**: 使いかたを確認することができます。
- **ドック表示設定**: ドックを表示するか設定します。
- **ガイドタブ表示設定**: ガイドタブを表示するか設定します。
- **ホームポジション設定**: ホーム画面で [≡] をタッチしたときに表示するシートを設定します。
- **レイアウト設定**: 表示レイアウトを設定します。
- **テーマ設定**: ホーム画面のテーマや壁紙を設定します。

[レイアウト設定]について

- [Simple] に設定すると、アプリシートのみ表示され、アイコンと文字が大きくなります。

■ ウィジェット/ショートカットの貼付

1 ホーム画面で [≡] ▶ [ウィジェットを貼付け]/[ショートカットを貼付け]

2 ウィジェット/ショートカットを選ぶ

■ フォルダの作成

1 ホーム画面でデスクトップシート/アプリシートをロングタッチ ▶ [フォルダ作成]

2 アプリ/ショートカットをフォルダまでドラッグ

■ アプリ/ウィジェット/ショートカット/フォルダの移動

1 ホーム画面でアプリ/ウィジェット/ショートカット/フォルダをロングタッチ

2 移動先までドラッグ

- [≡] までドラッグすると、新しいページを追加できます。
- アプリを [≡] までドラッグするとアンインストールできます。ウィジェット/ショートカット/フォルダを [≡] までドラッグすると削除できます。
- ドックに配置されたショートカット/フォルダも同様の操作で移動できます。また、アプリ/ショートカット/フォルダをドックにドラッグすると、ショートカット/フォルダが配置されます。

■ アプリ/ウィジェット/ショートカット/フォルダの管理

1 ホーム画面でアプリ/ウィジェット/ショートカット/フォルダをロングタッチ

2 項目を選ぶ

- **ショートカットを貼付け**: アプリのショートカットをデスクトップシートに貼り付けます。
- **アプリ情報**: アプリの情報を表示します。
- **アプリを削除**: アプリをアンインストールします。
- **アプリ非表示**: アプリをアプリシートに表示しないようにします。
 - ・ ホーム画面で [≡] ▶ [アプリの表示設定] から、各アプリの表示/非表示を設定できます。
- **新規フォルダに入れる**: アプリ/ショートカットを格納したフォルダを作成します。
- **サイズ変更**: ウィジェットのサイズを変更します。
- **はがす**: ウィジェット/ショートカット/フォルダを削除します。

[はがす]について

- ショートカットを削除しても、アプリはアンインストールされません。

■ フォルダ名の変更

1 ホーム画面でフォルダを選ぶ

2 フォルダ名をタッチ

3 フォルダ名を入力

■ ページの並べ替え


















1 ホーム画面でデスクトップシート／アプリシートをロングタッチ▶[ページ並替え]




- ホーム画面でピンチインしてもページを並べ替えられます。

2 上下にスライドして移動先を選ぶ▶[移動する]

アプリ一覧

- 一部のアプリの使用には、別途お申し込み(有料)が必要となるものがあります。
- お買い上げ時にインストールされているアプリは次のとおりです。

アイコン	アプリ	概要
	アラーム・時計	アラーム(☞P.44「アラーム」)、世界時計(☞P.44「世界時計」)、ストップウォッチ(☞P.44「ストップウォッチ」)、タイマー(☞P.45「タイマー」)を利用します。
	アルバム	画像や動画を人物ごと、イベントごと、場所ごとに振り分けて整理し、利用することができます(☞P.41「アルバム」)。
	音声検索	音声検索を利用してサイトの情報を検索します(☞P.17「端末内やサイトの情報の検索」)。
	カメラ	カメラを起動します(☞P.40「カメラをご利用になる前に」)。
	カレンダー	スケジュールを管理します(☞P.45「カレンダー」)。
	コンテンツマネージャー	本体メモリまたはmicroSDカードに保存されたデータを管理します(☞P.59「コンテンツマネージャー」)。
	写真	画像や動画を管理します。
	設定	端末の各種設定をします。 ● ホーム画面で[]▶[端末設定]と同様の設定操作ができます。
	ダウンロード	サイトからダウンロードした画像などのデータを管理することができます。
	テレビ	テレビ(ワンセグ)を利用します(☞P.37「テレビ(ワンセグ)」)。
	電卓	電卓を利用します(☞P.46「電卓」)。
	電話	電話を利用します(☞P.28「電話をかける」)。
	電話帳	電話帳を利用します(☞P.30「電話帳の登録」)。
	ドライブ	画像や動画などをGoogle ドライブ™に保存したり、共有したりすることができます。
	ハングアウト	チャット(文字によるおしゃべり)やボイスチャットなどができます。
	ブラウザ	パケット通信やWi-Fi機能による接続でサイトを表示します(☞P.35「サイトの表示」)。

アイコン	アプリ	概要
	マップ	現在地の測位や目的地までの詳しい移動方法のナビゲーションなどができます(☞P.43「マップ」)。
	ミュージック	音楽を再生します(☞P.42「ミュージック」)。
	メーカーアプリ	シャープのサイトに接続します。
	メール	メールを利用します(☞P.33「Eメール」)。
	メッセージ	SMSを利用します(☞P.32「SMS」)。
	メモ帳	メモを登録します(☞P.46「メモ帳」)。
	Chrome	パケット通信やWi-Fi機能による接続でサイトを表示します。
	Gmail	Gmailを利用します(☞P.34「Gmail」)。
	Google	クイック検索ボックスを利用します(☞P.17「端末内やサイトの情報の検索」)。
	Google設定	Google+™やGoogle+と連携させているアプリへのアクセスなど、Googleの各種サービスの設定をまとめて行うことができます。
	Google+	Google+(写真/コミュニティ/場所/ハングアウト/イベントなど)を利用します。
	OfficeSuite	OfficeSuiteを利用します。 ● 対応しているファイルについては、ホーム画面にアプリシートを表示▶[OfficeSuite]▶[]▶[ヘルプ]▶[ヘルプ]と操作して、ヘルプを参照してください。
	Play ゲーム	新しいゲームを探したり、お気に入りのゲームで遊んだりできます。
	Playストア	Google Playを利用します(☞P.37「Playストア」)。
	Playブックス	Google Playに接続して電子書籍を購入したり、購入した書籍やサンプルを閲覧したりすることができます。
	Playムービー&TV	映画をレンタルしたり、視聴したりすることができます。
	SHツール	ボイスレコーダーや名刺リーダー、バーコードリーダー、辞書など、便利な機能を利用することができます(☞P.46「SHツール」)。
	YouTube	YouTubeを利用します(☞P.44「YouTube」)。

- お買い上げ時にインストールされているアプリの中には、アンインストールできるものもあります。アンインストールしたアプリはPlayストア(☞P.37「Playストア」)から再度ダウンロードできる場合があります。

クイックランチャー

タブを切り替えることで、アプリの使用履歴やお気に入り設定したアプリ/ショートカット/機能ボタン、ミニアプリ/ウィジェットをすばやく利用することができます。

- あらかじめアプリ使用履歴キーを[クイックランチャー]に設定しておいてください(☞P.51「便利機能」)。

履歴

最近使用したアプリの履歴を表示し、アプリを起動することができます。

- 1 [🏠] ▶ [履歴]
- 2 履歴を利用する



1 アプリの使用履歴

- タッチするとアプリを起動できます。
- 下にフリックすると履歴を削除できます。
- ロングタッチすると、履歴の削除やアプリの情報の確認ができます。

2 起動状態

- バックグラウンドで起動中のアプリは青色、起動していないアプリはグレーで表示されます。

3 すべて消去

- タッチするとアプリの使用履歴をすべて削除できます。

- アプリによっては履歴に表示されない場合があります。

お気に入り

アプリやショートカット、機能ボタンを設定しておく、アイコンをタッチするだけですばやくアプリを起動したり、端末の設定を切り替えたりすることができます。

- 1 [🏠] ▶ [お気に入り]
- 2 アプリ/ショートカット/機能ボタンを選ぶ

■ お気に入りの追加

- 1 [🏠] ▶ [お気に入り] ▶ [+]
- 2 追加したいアプリ/ショートカット/機能ボタンを選ぶ

■ お気に入りの移動

- 1 [🏠] ▶ [お気に入り]
- 2 アプリ/ショートカット/機能ボタンをロングタッチ ▶ 移動先までドラッグ

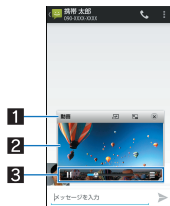
■ お気に入りの非表示

- 1 [🏠] ▶ [お気に入り]
- 2 アプリ/ショートカット/機能ボタンをロングタッチ ▶ [はがす]
 - [アプリ削除]をタッチするとアプリのアンインストールができます。

ミニアプリ/ウィジェット

他のアプリを使用しながらテレビや動画、YouTubeの視聴などができるミニアプリやウィジェットを利用することができます。

- 1 [🏠] ▶ [ミニアプリ]
- 2 ミニアプリ/ウィジェットを選ぶ
- 3 ミニアプリ/ウィジェットを利用する



1 タイトルバー

- 移動先までドラッグするとミニアプリ/ウィジェットを移動することができます。
- 表示されるキーで次の操作ができます。
 - ・通常のアプリの起動: [🏠]※
 - ・ミニアプリの最小化/元のサイズに戻す: [🏠]/[🏠]
 - ・メニューの表示: [☰]
 - ・ミニアプリ/ウィジェットの終了: [✕]
- ※ ミニテレビ、ミニ内蔵動画、ミニネット動画の場合、ミニアプリに戻すには、[🏠]/[🏠]をタッチします。

2 ミニアプリ/ウィジェット表示

- タイトルバー/コントローラーが表示されていない場合、タッチするとタイトルバー/コントローラーを表示することができます。
- 「メール」アプリなど他のアプリを起動中に、ロングタッチして他のアプリまでドラッグすると、文字や画像などをコピーし、貼り付けることができます。

3 コントローラー

- 表示されるキーで次の操作ができます。
 - ・ミニアプリ/ウィジェットのサイズ変更: [📏]をドラッグ

ミニテレビの操作

- ・ UP/DOWN選局: [CH▶]/[◀CH]

ミニ内蔵動画/ミニネット動画の操作

- ・一時停止/再生: [⏸]/[▶]
- ・データ一覧画面の表示: [☰]

- ミニアプリ利用中に他のアプリを使用して動画を再生した場合、動画が正しく表示されないことがあります。

■ ミニアプリ/ウィジェットの追加

- 1 [🏠] ▶ [ミニアプリ] ▶ [+]
- 2 [ミニアプリ追加]/[ウィジェット追加]
- 3 追加したいミニアプリ/ウィジェットを選ぶ
 - [Playストアから追加]をタッチするとミニアプリの更新ができます。

■ ミニアプリ/ウィジェットの移動

1 [] ▶ [ミニアプリ]

2 ミニアプリ/ウィジェットをロングタッチ ▶ 移動先までドラッグ

■ ミニアプリ/ウィジェットの管理

1 [] ▶ [ミニアプリ]


2 ミニアプリ/ウィジェットをロングタッチ

3 項目を選ぶ

- **はがす**: ミニアプリやウィジェットを非表示にします。
- **名前を変更**: ウィジェットの名前を変更します。

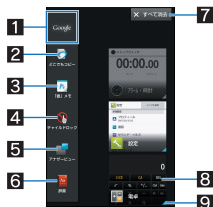
アプリ使用履歴

最近使用したアプリの履歴を表示し、アプリを起動することができます。また、アシスト機能や「書」メモ、チャイルドロックなどのアプリやショートカットを利用することもできます。

- あらかじめアプリ使用履歴キーを「アプリ使用履歴」に設定しておいてください( P.51「便利機能」)。

1 []

2 履歴/アプリを利用する



1 アシスト機能

- タッチするとアシスト機能に対応したアプリをすばやく起動することができます。


2 どこでもコピー

- 表示中の画面の文字をコピーすることができます。


3 「書」メモ

- 表示中の画面に手書きのメモを作成することができます。

4 チャイルドロック

- チャイルドロックを設定すると、タッチ操作やナビゲーションキーでの操作を無効にすることができます。
 を押すか、ディスプレイの表示が消えるとチャイルドロックが解除されます。

5 アナザービュー

- ミニアプリ/ウィジェットを起動します( P.26「ミニアプリ/ウィジェット」)。

6 辞書

- 辞書を起動します。

7 すべて消去

- タッチするとアプリの使用履歴をすべて削除できます。

8 アプリの使用履歴

- タッチするとアプリを起動できます。
- 左右フリックすると履歴を削除できます。
- ロングタッチすると、履歴の削除やアプリの情報の確認ができます。

9 起動状態

- バックグラウンドで起動中のアプリは青色、起動していないアプリはグレーで表示されます。

- アプリによっては履歴に表示されない場合があります。

■ アプリやショートカットの管理

1 []

2 アプリ/ショートカットをロングタッチ ▶ []

3 項目を選ぶ

- **アプリ・ショートカット選択**: アプリやショートカットを設定します。
- **購入時に戻す**: アプリやショートカットをお買い上げ時の状態に戻します。
- **はがす**: アプリやショートカットを非表示にします。

ホーム切替

ホームアプリを切り替えます。

- お買い上げ時は、端末に次のホームアプリが登録されています。
 - Feel UXホーム

目的のアプリがすぐに見つかる直感的なホームアプリです。左右にフリックするだけでデスクトップシートやアプリシートから使いかたに合ったシートを選んで利用できます。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [ホーム切替]

2 ホームを選ぶ

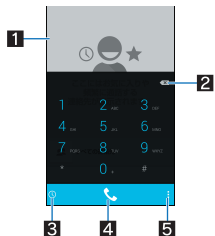
電話をかける

●通話可能なmicroSIMカードをご使用の場合に利用できます。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [電話] ▶ [⋮]

2 電話番号を入力

- 同一市内でも、必ず市外局番から入力してください。
- 電話番号の前に「186」/「184」を付けると、その発信に限り番号通知/番号非通知に設定して発信できます。



1 お気に入りや頻繁に通話する連絡先

- お気に入りや頻繁に通話されている連絡先や頻繁に通話する連絡先を表示します。

2 削除

- 入力した番号を1文字削除します。
- ロングタッチすると、入力した番号をすべて削除します。

3 通話履歴

4 発信

- 電話を発信します。また、発信履歴がある場合、電話番号未入力の際にタッチすると最新の発信履歴が入力されます。

5 メニュー

- 利用できる機能(メニュー)を表示します。

3 [📞]

4 通話が終わったら [📞]

プッシュ信号の入力

電話番号に続いて停止(⏸)/待機(📞)を入力すると、銀行の残高照会やチケットの予約サービスなど、通話中に番号を追加入力する必要があるサービスを利用する際、メインの電話番号と追加番号を同時に発信できます。

■ 2秒間の停止を追加

メインの電話番号をダイヤルしたあと、自動的に2秒間一時停止してから、追加番号をダイヤルします。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [電話] ▶ [⋮]

2 電話番号を入力 ▶ [:] ▶ [2秒間の停止を追加]

3 送信する番号を入力 ▶ [📞]

■ 待機を追加

メインの電話番号をダイヤルしたあと、自動的に待機し追加番号の送信確認画面が表示されます。[はい]をタッチすると追加番号をダイヤルします。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [電話] ▶ [⋮]

2 電話番号を入力 ▶ [:] ▶ [待機を追加]

3 送信する番号を入力 ▶ [📞]

4 通話中に[はい]

緊急通報

緊急通報	電話番号
警察への通報	110
消防・救急への通報	119
海上での通報	118

- 本端末は、「緊急通報位置通知」に対応してあります。

110番、119番、118番などの緊急通報をかけた場合、発信場所の情報(位置情報)が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。

なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定によらず、機関側が位置情報と電話番号を取得することがあります。

また、「緊急通報位置通知」の導入地域/導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。

- 日本国内では通話可能なmicroSIMカードを取り付けていない場合やPINコードロック中、PINロック解除コードの入力画面、ストレージ復号化のパスワード入力画面では緊急通報番号(110番、119番、118番)に発信できません。
- 端末から110番、119番、118番通報の際は、携帯電話からかけていること、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- かけた地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。

電話を受ける

●通話可能なmicroSIMカードをご使用の場合に利用できます。

1 電話がかかってくると、着信音が鳴り、着信イルミが点滅する

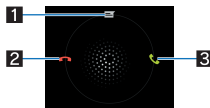
- 着信中に📞/📞を押すと、着信音やバイブレータ、着信イルミの点滅を止めることができます。



着信イルミ

2 電話を受ける

- [📞]を各アイコンまでドラッグしてください。



1 クイック返信

- 着信を拒否し、選択したメッセージをSMSとして相手に送信することができます。

2 拒否

- 着信を拒否することができます。

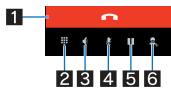
3 応答

- 電話を受けることができます。

3 通話が終わったら [☎]

通話中の操作

通話中は利用状況に応じてハンズフリーの利用や通話音量の調節などの操作ができます。



1 通話終了

- 通話を終了します。

2 数字キー

- プッシュ信号の入力ができます。

3 スピーカー

- ハンズフリーで通話ができます。
- イヤホンマイク/Bluetooth機器を接続している場合、音声の出力先を切り替えることができます。

4 消音

- 通話中の電話を消音/消音解除にします。

5 保留

- 通話中の電話を保留/保留解除にします。
- 通話を追加している場合は [☎] が表示されます。タッチすると通話相手を切り替えることができます。

6 通話を追加

- 通話中の電話を保留にして、別の相手に発信します。

- ハンズフリーで通話するには次の内容にご注意ください。
 - ・送話口から約20~40cmが最も通話しやすい距離です。なお、周囲の騒音が大きい場所では、音声が進められるなど良好な通話ができないことがあります。
 - ・屋外や騒音が大きい場所、音の反響が大きい場所で通話を行うときは、イヤホンマイクをご利用ください。
 - ・ハンズフリー通話中、音が割れて聞き取りにくいときは、通話音量を下げてください。
- 「保留」と「通話を追加」をお使いになる場合、あらかじめご利用の通信事業者との契約が必要となります。詳しくは、通信事業者にお問い合わせください。
なお、通信事業者によっては、これらの機能を提供していない場合もあります。

通話音量調節

1 通話中に [☎] / [🔊]

通話履歴

- 通話可能なmicroSIMカードをご使用の場合に利用できます。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [電話] ▶ [☎] ▶ [すべて] / [不在着信]

2 履歴を選ぶ

- 履歴を選択すると、着信の状態や通話時間などの詳細が表示されます。



1 相手の名前/電話番号

2 着信状態アイコン

↙ (赤色)	不在着信
↙ (青色)	通話着信
↗	発信履歴

3 電話帳に登録している顔写真

4 経過日数/経過時間

5 発信アイコン

- タッチすると発信します。

6 グループ数

- 同じ相手の通話履歴が4件以上連続した場合には表示されません。

3 [xxx]に発信

- 「xxx」には、相手の電話番号が表示されます。
- SMSの作成・送信: [≡] ▶ SMSを作成・送信
- 電話帳に登録: [連絡先に追加] ▶ 登録先を選ぶ ▶ 各項目を設定 ▶ [保存] ▶ [はい]

通話履歴の削除

■ 全件削除

1 通話履歴一覧画面で [≡] ▶ [通話履歴を全件消去] ▶ [OK]

■ 1件削除

1 通話履歴一覧画面で履歴を選択 ▶ [≡] ▶ [通話履歴から消去]

通話設定

着信音や着信時のバイブレーションなど、通話について設定します。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [電話] ▶ [!]

- ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [通話] でも通話設定を行うことができます。

2 項目を選ぶ

- 着信音: 着信音を設定します。
- 着信時のバイブレーション: 着信時にバイブレータを動作させるか設定します。
- クイック返信: クイック返信に使用する文章を編集します。
- アカウント: インターネット通話のアカウントについて設定します。
- インターネット通話を使用: インターネット通話を使用するか設定します。

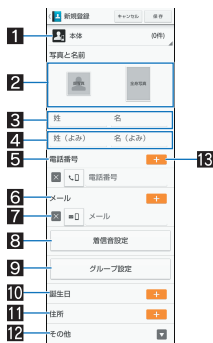
電話帳の登録

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [電話帳] ▶ [新規]

- アカウントが複数ある場合は登録するアカウントの選択画面が表示されます。

2 各項目を設定

- 登録できる情報はアカウントの種類によって異なります。



1 アカウント

- 登録するアカウントを設定します。

2 画像

- 発信音時や連絡先確認時に表示する画像を登録します。

3 姓、名

4 姓のふりがな、名のふりがな

5 電話番号

6 メールアドレス

7 削除

- 電話番号/メールアドレスなどを削除します。

8 着信音設定

- 着信音を設定します。

9 グループ設定

10 誕生日

11 住所

12 その他

- ニックネームや所属などの情報を登録します。

13 追加

- 登録する電話番号/メールアドレスなどを追加します。

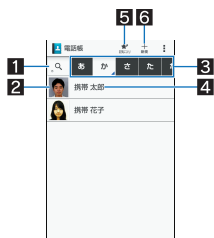
3 [保存] ▶ [はい]

電話帳の確認/利用

登録した連絡先を呼び出して電話をかけたり、メールを送信したりできます。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [電話帳]

2 名前を選ぶ



1 検索

2 画像

- タッチすると連絡先の登録内容に対応するアプリを選んで利用できます。

3 インデックスタブ

- タッチした見出しの連絡先を表示します。

4 連絡先

5 お気に入り

- お気に入りに設定されている連絡先を表示します。

6 新規

3 登録情報を確認/利用する



1 登録内容

- 登録内容を確認/利用できます。
- 表示されているアイコンをタッチすると、登録内容を利用して電話やメールなどをすることができます。

2 画像

3 お気に入り登録

4 編集

■ 表示するアカウントを選択

- アカウントを設定している場合に利用できます。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [電話帳]

2 [≡] ▶ [設定・管理] ▶ [表示するアカウント]

3 項目を選ぶ

電話帳の削除

■ 全件削除

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [電話帳]

2 [≡] ▶ [削除] ▶ [全選択] ▶ [削除] ▶ [はい] ▶ 暗証番号を入力 ▶ [OK]

■ 1件削除

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [電話帳]

2 名前を選ぶ ▶ [≡] ▶ [削除] ▶ [はい]

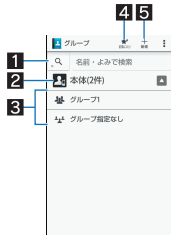
電話帳の編集

- 1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [電話帳]
- 2 名前を選ぶ ▶ [編集]
- 3 各項目を設定 ▶ [保存] ▶ [はい]
 - 設定できる各項目の詳細についてはP.30「電話帳の登録」

グループの利用

表示方法をグループにすると、グループごとに連絡先を表示することができます。

- 1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [電話帳]
- 2 [≡] ▶ [表示方法切替] ▶ [グループ]
- 3 グループを利用する



1 連絡先の検索

2 アカウント

- タッチするとグループ名を表示できます。

3 グループ名

- タッチするとグループに登録されている連絡先が表示されます。

4 お気に入り

- お気に入りに設定されている連絡先を表示します。

5 新規

- 連絡先を新規作成します。

■ グループの追加／編集

- 1 グループ一覧画面で [≡] ▶ [グループ追加・編集]
 - アカウントが複数ある場合は追加／編集するアカウントの選択画面が表示されます。
- 2 [追加] ▶ 各項目を設定 ▶ [保存]
 - グループの削除: [削除] ▶ グループを選ぶ ▶ [削除] ▶ [はい]
 - グループの並べ替え: [並べ替え] ▶ グループをロングタッチ ▶ 移動先までドラッグ ▶ [完了]

■ グループへの登録／解除

- 1 グループ一覧画面でグループをロングタッチ ▶ [メンバー登録]
- 2 連絡先を選択 ▶ [登録] ▶ [はい]
 - 連絡先の選択を解除すると、登録を解除できます。

プロフィール

microSIMカードをご使用の場合は、お客様の電話番号を表示できます。名前やメールアドレスなどを登録することもできます。

- 1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [電話帳]
 - 2 [≡] ▶ [プロフィール]
- ### ■ プロフィールの編集
- 1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [電話帳]
 - 2 [≡] ▶ [プロフィール] ▶ [編集]
 - 3 各項目を設定 ▶ [保存] ▶ [はい]

SMS

携帯電話番号を宛先にしてテキストメッセージを送受信できます。

- SMSが利用可能なmicroSIMカードをご使用の場合に利用できます。

- 海外通信事業者のお客様との間でも送受信が可能です。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [メッセージ]

2 [≡] ▶ 宛先、メッセージを入力 ▶ [▶]

- デフォルトのSMSアプリをハングアウトに切り替えることができます (P.52「その他」)。

- 宛先が海外通信事業者のときは、「+」、国番号、相手先の携帯電話番号の順で入力します。携帯電話番号が「0」で始まるときは先頭の「0」を除いて入力します。また「010」、国番号、相手先携帯電話番号の順に入力しても送信できます。

- SMSのメッセージに半角カタカナや特殊記号を使うと、受信側で正しく表示されないことがあります。

- 「186」/「184」を付けての送信はできません。

メッセージの表示

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [メッセージ]

2 スレッドを選ぶ

- 宛先/送信元ごとにメッセージをスレッドにまとめて表示します。



1 画像

- 相手の画像を電話帳に登録していると表示されます。タッチすると電話帳の登録内容に対応するアプリを選んで利用できます。電話帳に登録されていない相手の場合は、タッチすると電話帳に登録できます。

2 未読メッセージ件数

3 宛先/送信元

4 スレッド内のメッセージ件数

5 送受信日時

3 メッセージを確認する



1 宛先/送信元

2 電話発信

3 送受信日時

4 メッセージ

メッセージの返信

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [メッセージ]

2 スレッドを選ぶ

3 メッセージを入力 ▶ [▶]

メッセージの転送

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [メッセージ]

2 スレッドを選ぶ

3 メッセージをロングタッチ ▶ [転送] ▶ 宛先、メッセージを入力 ▶ [▶]

メッセージの削除

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [メッセージ]

2 スレッドを選ぶ

3 メッセージをロングタッチ ▶ [削除] ▶ [削除]

スレッドの削除

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [メッセージ]

- スレッドの全件削除: [≡] ▶ [すべてのスレッドを削除] ▶ [削除]

2 スレッドをロングタッチ ▶ [≡] ▶ [削除]

メッセージの設定

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [メッセージ]

2 [≡] ▶ [設定]

3 項目を選ぶ

- SMSの有効化: SMSを送受信するアプリを設定します。
- 古いメッセージを削除: 保存件数が上限に達したとき、古いメッセージを自動的に削除します。
- テキストメッセージの制限件数: スレッドごとに保存するメッセージの件数を設定します。
- 受取確認通知: 送信するメッセージの受取確認を毎回通知します。
- SIMカードのメッセージ: microSIMカードに保存したメッセージを管理します。
- 通知: メッセージ受信時にステータスバーで通知します。
- 着信音: メッセージ受信時の着信音を設定します。
- バイブレーション: メッセージ受信時のバイブレータの動作を設定します。

[受取確認通知]について

- 他社の携帯電話にメッセージを送信した場合、受取確認通知が届かないことがあります。

Eメール

サービスプロバイダが提供するメールアカウントを設定して、メールの送受信ができます。

- あらかじめ、アカウント設定をしておいてください(「P.21 「メールのアカウントの設定」)。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [メール]

2 [✉]

3 メールを作成

- ファイルの添付:[📎] ▶ [ファイルを添付] ▶ ファイルを選ぶ



1 宛先

- 電話帳に登録してあるメールアドレスの一部や名前を入力すると、宛先の候補が表示されます。

2 件名

3 本文

4 アカウント

- 複数のアカウントを設定している場合、アカウントを切り替えられます。

4 [▶]

- 受信側の機種によっては件名をすべて受信できないことがあります。

- Gmailのアカウントで送信したメールは、パソコンからのメールとして扱われます。受信側の機種がパソコンからのメール受信拒否を設定している場合、メールを送信できません。

- 何らかの原因で送信できなかったメールは、未送信メールとして送信失敗フォルダに保存されます。

- 電波状況などにより、受信側で文字が正しく表示されないときがあります。

ファイルの添付について

- 最大約5Mバイトまでのファイルを添付できます。添付できる個数に制限はありません。

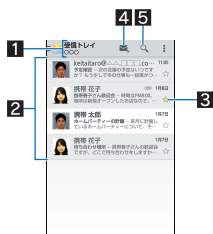
- 受信側の端末によっては、受信できなかったり、正しく表示・再生できなかったりすることがあります。また、動画が粗くなったり、連続静止画に変換されたりすることがあります。

メールの表示

- 利用するアカウントによっては、表示される画面が異なる場合があります。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [メール]

2 メールを選ぶ



1 表示中のフォルダ名/アカウント名

- タッチするとフォルダやアカウントを切り替えられます。

2 メール

- 既読メールのときは、背景色がグレーになります。
- 画像をタッチするとメールにチェックが付き、一括で削除/未読/既読などに設定できます。

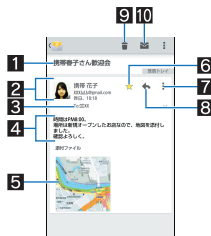
3 スターアイコン

- 特別なメールやあとで対応する必要があるメールの目印として利用できます。
- スターを付けたメールは、スター付きフォルダで確認することができます。

4 メール新規作成

5 メール検索

3 メールを確認する



1 件名

2 送信元/受信日時

- 電話帳に登録されている相手の場合は、画像をタッチすると電話帳の登録内容に合わせて利用できるアプリが表示されます。電話帳に登録されていない相手の場合は、タッチすると電話帳に登録できます。

3 宛先

- タッチすると詳細を表示できます。

4 本文

5 添付ファイル

6 スターアイコン

- 特別なメールやあとで対応する必要があるメールの目印として利用できます。
- スターを付けたメールは、スター付きフォルダで確認することができます。

7 全員に返信/転送

8 返信

9 削除

10 未読にする

メールの返信/転送

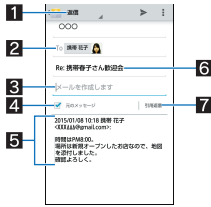
1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [メール]

2 メールを選ぶ

3 [↶]

- 全員に返信:送信元の[📧] ▶ [全員に返信]
- 転送:送信元の[📧] ▶ [転送]

4 メールを作成



1 返信種別

- タッチすると返信/全員に返信/転送を切り替えられます。

2 宛先

3 本文

4 元のメッセージ

- タッチすると、送信元のメールの表示/非表示を切り替えられます。
- 転送のときは操作できません。

5 送信元のメール

6 件名

7 引用返信

- 送信元のメールを本文に入力します。

5 [>]

メールの削除

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [メール]

- メールを選択削除:メールの画像をタッチ▶[✖]▶[OK]

2 メールを選ぶ

3 [✖]▶[OK]

メールの設定

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [メール] ▶ [設定]

2 項目を選ぶ

- **全般設定:**メール全般について設定します。
- アカウントを選ぶと、署名やメール着信通知など、各アカウントの詳細について設定できます。
- [アカウントを追加]をタッチするとアカウントを追加できます。

Gmail

Gmailは、Googleのメールサービスです。

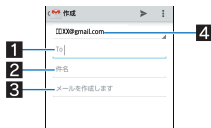
- あらかじめ、Googleアカウントの設定をしておいてください(☞P.21「Googleなどのアカウントの設定」)。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [Gmail]

2 [✉]

3 メールを作成

- ファイルの添付:[添付]▶[ファイルを添付]▶ファイルを選ぶ



1 宛先

- 電話帳に登録してあるメールアドレスの一部や名前を入力すると、宛先の候補が表示されます。

2 件名

3 本文

4 アカウント

- 複数のアカウントを設定している場合、アカウントを切り替えられます。

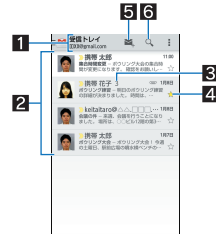
4 [>]

メールの表示

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [Gmail]

2 スレッドを選ぶ

- Gmailでは、返信ごとにメールをスレッドにまとめて表示します。新着メールが既存のメールへの返信メールであれば、それらは同じスレッドにまとめられます。新規のメールや件名を変更したメールについては、新しいスレッドが作成されます。



1 表示中のラベル名/アカウント名

- タッチすると表示種別やアカウントを切り替えられます。

2 スレッド

- スレッド内がすべて既読メールのときは、背景色がグレーになります。
- 画像をタッチするとスレッドにチェックが付き、一括でアーカイブ/削除/未読/既読などに設定できます。

3 スレッド内のメール件数

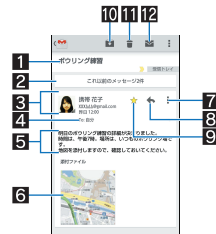
4 スターアイコン

- 特別なメールやあとで対応する必要があるメールの目印として利用できます。
- スターを付けたメールは、スター付きフォルダで確認することができます。

5 メール新規作成

6 メール検索

3 メールを確認する



1 件名

2 以前のメッセージ

- タッチすると以前に送受信したメールを表示します。

3 送信元/受信日時

- タッチすると詳細表示/簡易表示を切り替えられます。
- 電話帳に登録されている相手の場合は、画像をタッチすると電話帳の登録内容に合わせて利用できるアプリが表示されます。

4 宛先

- タッチすると詳細を表示できます。

5 本文

6 添付ファイル

7 全員に返信/転送/印刷

8 返信

9 スターアイコン

- 特別なメールやあとで対応する必要があるメールの目印として利用できます。
- スターを付けたメールは、スター付きフォルダで確認することができま。

10 アーカイブ

11 削除

12 未読にする

メールの返信/転送

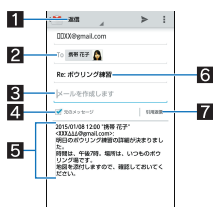
1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [Gmail]

2 スレッドを選ぶ

3 [↶]

- 全員に返信:送信元の[:] ▶ [全員に返信]
- 転送:送信元の[:] ▶ [転送]

4 メールを作成



1 返信種別

- タッチすると返信/全員に返信/転送を切り替えられます。

2 宛先

3 本文

4 元のメッセージ

- タッチすると、送信元のメールの表示/非表示を切り替われます。
- 転送のときは操作できません。

5 送信元のメール

6 件名

7 引用返信

- 送信元のメールを本文に入力します。

5 [➤]

スレッドの削除

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [Gmail]

- スレッドの選択削除:スレッドの画像をタッチ ▶ [🗑]

2 スレッドを選ぶ

3 [🗑]

Gmailの設定

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [Gmail] ▶ [☰] ▶ [設定]

2 項目を選ぶ

- 全般設定:Gmail全般について設定します。
- Gmailについて:Gmailのバージョンを表示します。
- アカウントを選び、署名や通知など、各アカウントの詳細について設定できます。

ブラウザ

サイトの表示

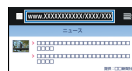
パケット通信やWiFi機能による接続でサイトを表示できます。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [ブラウザ]

- サイトによっては、正しく表示されない場合があります。

■ サイトの検索

1 URL入力欄をタッチ



2 キーワードを入力

- 入力した文字を含むキーワードを一覧表示します。

3 キーワードを選ぶ

- キーワードを最後まで入力して[実行]でも検索できます。

■ 新しいタブを開く

1 ブラウザ画面で[☰] ▶ [⊕]

■ タブの切替

1 ブラウザ画面で[☰]

2 タブを選ぶ

■ タブを閉じる

1 ブラウザ画面で[☰] ▶ [✕]

■ ページ内の文字の検索

1 ブラウザ画面で[🔍] ▶ [ページ内を検索]

2 検索する



1 検索終了

2 キーワード入力欄

- 検索するキーワードを入力します。

3 前へ

4 次へ

■ 文字のコピー

1 ブラウザ画面でコピーする文字をロングタッチ

2 始点から終点までドラッグ

- コピー範囲の変更: [d] / [b] をドラッグ

3 [コピー]

■ 便利な機能

リンクを新しいタブで表示したり、画像などをダウンロードしたりできます。

1 ブラウザ画面でリンク / 画像をロングタッチ

2 利用する機能を選ぶ


■ ブラウザの再読み込み

1 ブラウザ画面で[] ▶ [再読み込み]

■ ブラウザの終了

1 ブラウザ画面で[] ▶ [ブラウザ終了]

ブラウザの設定

1 ブラウザ画面で[] ▶ [設定]

2 項目を選ぶ

- **全体設定**: ホームページの設定やブックマークのリセットを行います。
- **プライバシーとセキュリティ**: キャッシュやCookieなどのプライバシーやセキュリティについて設定します。
- **ユーザー補助**: 文字サイズやズームなどの画面表示について設定します。
- **高度な設定**: ブラウザの詳細について設定します。
- **帯域幅の管理**: サイトの読み込みについて設定します。
- **クイック操作・Labs**: クイックツールボックス、クイックコントロール、全画面表示について設定します。

ブックマークや履歴の利用

■ ブックマークの登録

1 ブラウザ画面で[] ▶ [ブックマークへ登録]


2 [OK]

■ ブックマークからのサイト表示

1 ブラウザ画面で[] ▶ [ブックマーク一覧]

2 ブックマークを選ぶ

■ 履歴からのサイト表示

1 ブラウザ画面で[] ▶ [ブックマーク一覧] ▶ [履歴]

2 履歴を選ぶ

Playストア

Google Playを利用すると、便利なアプリや楽しいゲームを端末にダウンロード、インストールすることができます。

- あらかじめGoogleアカウントを設定しておいてください
(「P.21「Googleなどのアカウントの設定」)。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [Playストア]

- ヘルプの表示: [Playストア] ▶ [ヘルプ]

- アプリのインストールは安全であることを確認の上、自己責任において実施してください。ウイルスへの感染や各種データの破壊などが発生する場合があります。
- 万が一、お客様がインストールを行ったアプリなどにより各種動作不良が生じた場合、一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- お客様がインストールを行ったアプリなどにより、自己または第三者への不利益が生じた場合、一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

アプリの購入

1 Google Play画面で購入するアプリを選ぶ

2 価格をタッチ

- 以降は画面の指示に従って操作してください。
- 無料のアプリのとき: [インストール]
- アプリの初回購入時は、支払い方法を選択してください。支払い方法によっては、Googleウォレット アカウントにログインする必要があります。
- アプリの購入後規定の時間以内であれば返金を要求することができます。アプリは削除され、料金は請求されません。なお、返金要求は、各アプリに対して最初の一度のみ有効です。過去に一度購入したアプリに対して返金要求をし、同じアプリを再度購入した場合には、返金要求はできません。アプリ購入時の支払い方法や返金要求の規定などについて詳しくは、Google Play画面で [Playストア] ▶ [ヘルプ] をご覧ください。

- アプリのインストールに承諾すると、アプリの使用に関する責任を負うことになります。多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリをインストールするときは、特にご注意ください。
- ダウンロードしたアプリによっては自動的にパケット通信を行う場合があります。パケット通信料が高額になる場合がありますのでご注意ください。
- アプリに対する支払いは一度だけです。一度ダウンロードしたあとにアンインストールしたアプリの再ダウンロードには料金はかかりません。
- 同じGoogleアカウントを設定しているAndroid™デバイスが複数ある場合、購入したアプリは他のデバイスすべてに無料でダウンロードすることができます。
- Google Playからのアプリの購入および返金などについては、当社では一切対応できかねますのであらかじめご了承ください。

■ アプリのアンインストール

1 Google Play画面で [Playストア] ▶ [マイアプリ]

2 アンインストールするアプリを選ぶ ▶ [アンインストール] ▶ [OK]

テレビ(ワンセグ)

ワンセグは、モバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスで、映像・音声と共にデータ放送を受信することができます。また、モバイル機器の通信機能を使った双方向サービス、通信経由の詳細な情報もご利用いただけます。

「ワンセグ」サービスの詳細については、下記ホームページでご確認ください。

一般社団法人 デジタル放送推進協会:

<http://www.dpa.or.jp/>

■ ワンセグのご利用にあたって

ワンセグは、テレビ放送事業者(放送局)などにより提供されるサービスです。映像、音声の受信には通信料がかかりません。なお、NHKの受信料については、NHKにお問い合わせください。

データ放送領域に表示される情報は「データ放送」「データ放送サイト」の2種類があります。

「データ放送」は映像・音声と共に放送波で表示され、「データ放送サイト」はデータ放送の情報から、テレビ放送事業者(放送局)などが用意したサイトに接続し表示します。

「データ放送サイト」などを閲覧する場合は、パケット通信料がかかります。

サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要なものがあります。

■ 放送波について

ワンセグは、放送サービスの1つであり、携帯電話サービスとは異なる電波(放送波)を受信しています。そのため、携帯電話サービスの圏外/圏内にかかわらず、放送波が届かない場所や放送休止中などの時間帯は受信できません。

また、地上デジタルテレビ放送サービスのエリア内であっても、次のような場所では、受信状態が悪くなったり、受信できなくなったりする場合があります。

- 放送波が送信される電波塔から離れている場所
- 山間部やビル影の陰など、地形や建物などによって電波がさえぎられる場所
- トンネル、地下、建物内の奥まった場所など電波の弱い場所および届かない場所

受信状態を良くするためには、端末を体から離したり近づけたり場所を移動したりすることで受信状態が良くなる場合があります。

チャンネルリスト作成

テレビを利用するには、あらかじめチャンネルリストを作成し、チャンネルリストを1つ選択しておく必要があります。

- チャンネルリストは3件まで登録できます。また、1つのチャンネルリストには放送局を12件まで登録できます。
- チャンネルリスト作成は、地上デジタルテレビ放送サービスのエリア内で行ってください。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [テレビ]

- 使用許諾についての確認画面が表示された場合は内容を確認し、[同意する]を選択してください。
- チャンネルが設定されていない場合のみ、チャンネルリスト作成画面が表示されます。
- チャンネルリストを追加するとき:ワンセグ視聴画面で [電] ▶ [チャンネル設定] ▶ [チャンネルリスト編集] ▶ [作成]

2 項目を選ぶ

- **地域を選んで作成**:地域ごとに割り当てられている放送局を検索します。
- **チャンネルを探して作成**:現在地で受信できるチャンネルを検索します。

3 [完了]

- 海外では、放送形式や放送の周波数が異なるためワンセグを利用できません。

テレビ視聴

ワンセグを視聴します。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[テレビ]

2 ワンセグを視聴する

- 音量調節: [🔊] / [🔇]



1 番組情報

- 番組名や放送局名が表示されます。

2 映像

- タッチするとコントローラーなどの表示/非表示を切り替えます。
- 左右にフリックするとUP/DOWN選局ができます。

3 字幕

4 データ放送キー

- 情報表示エリアにデータ放送を表示します。

5 チャンネル切替画面キー

- 情報表示エリアにチャンネル切替画面を表示します。

6 番組一覧キー

- 情報表示エリアに視聴放送局の番組一覧を表示します。
 - ・ 番組をタッチすると番組詳細画面が表示されます。番組詳細画面から、録画/視聴予約することもできます。

7 ミニテレビ

- ミニテレビに切り替えます。他のアプリを使用しながらワンセグの視聴ができます(※P.26「ミニアプリ/ウィジェット」)。

8 コントローラー

- 表示されるキーで次の操作ができます。
 - ・ UP/DOWN選局: [⬆️] / [⬇️]※
 - ・ 音量調節: [🔊] ▶ 音量バーをドラッグ
 - ・ 録画開始/停止: [🟢] / [🟡]※ ロングタッチするとサーチ選局になります。

9 サイトキー

- 情報表示エリアにサイトを表示します。

10 録画ファイル一覧キー

- 情報表示エリアに録画ファイル一覧を表示します。

11 情報表示エリア

- データ放送/サイト表示中は操作キーが表示されます。

12 チャンネル切替キー

- チャンネル切替画面を表示します。

- ワンセグ視聴時には、通常時に比べて画面の色が変わることがあります。
- ワンセグ起動中にホーム画面を表示してもワンセグは起動状態となるため、データ放送/データ放送サイトの情報が自動的に更新されることがあります。このとき、パケット通信料がかかることがありますので、ご注意ください。
- 視聴中に着信があった場合は、通話終了後に視聴を再開します。録画中の場合は、録画はバックグラウンドで継続されます。
- ミニテレビ利用中に他のアプリを使用して動画を再生した場合、動画が正しく表示されないことがあります。

録画

ビデオの保存件数と録画時間の目安

保存先	保存件数	録画時間
本体メモリ	最大99件	最長約2700分

- microSDカードには録画できません。
- 1回あたりの録画サイズ/録画時間は最大約2 Gバイト/最長約600分です。本体メモリに空き容量があっても、最大録画サイズ/最長録画時間になると、それまで録画したビデオを保存して録画を終了します。
- 本体メモリの空き容量がなくなったときは、自動的に録画が終了し、それまで録画したビデオが保存されます。

1 ワンセグ視聴画面で[🟢]

2 録画時間を選ぶ

- 設定した録画時間が経過すると、録画を終了し自動的に映像が保存されます。
- 録画の終了: [🟢] ▶ [OK]
- 自動的に映像が保存されます。

- 番組によっては、録画が禁止されていることがあります。

- ワンセグ録画中に録画予約を設定した時刻になると、録画予約が優先されます。それまでのワンセグ録画は終了し、映像が保存されます。

録画再生

本体メモリに保存されたビデオを再生します。

- ビデオ再生画面の操作は、ワンセグ視聴画面の操作と基本的な部分は同様です。ここでは、異なる部分を説明します。

1 ワンセグ視聴画面で[🔍]

2 ビデオを選ぶ

- 録画したビデオの削除: ビデオをロングタッチ▶ [🗑️] ▶ [OK]

3 ビデオを視聴する



1 コントローラー

- 表示されるキーで次の操作ができます。
 - ・一時停止/再生: [⏸]/[▶]
 - ・早戻し/早送り: [◀<]/[>>]※1
 - ・約5秒前の位置にバック/約15秒先の位置にスキップ: [◀⏪]/[⏩▶]
 - ・音量調節: [🔊] ▶ 音量バーをドラッグ
 - ・先頭から再生: [⏮]※2
- ※1 タッチするたびに、再生速度が切り替わります。
- ※2 再生完了時に表示されます。

●ビデオ再生時は、再生中のビデオを録画した放送局のデータ放送を表示することができます。

テレビリンク

データ放送によっては、メモ情報や関連するサイトのURLをテレビリンクとして登録できます。テレビリンクに登録すると、テレビリンク画面からメモ情報やサイトを表示できます。

- テレビリンクは50件まで登録できます。
- テレビリンクの登録方法は、番組によって異なります。

1 ワンセグ視聴画面で[📺]▶[TVリンク]

- 登録したテレビリンクを表示します。

2 テレビリンクを選ぶ

■ テレビリンクの削除

1 ワンセグ視聴画面で[📺]▶[TVリンク]

2 テレビリンクをロングタッチ▶[🗑]▶[OK]

録画/視聴予約

ワンセグの視聴や録画を予約できます。また、予約の状態や結果などを確認できます。

- 受信状態の良い場所で録画してください。
- 視聴予約・録画予約合わせて30件まで登録できます。
- 複数の番組を同時に視聴・録画することはできないため、予約の日時が重複すると、登録確認画面が表示されます。内容を確認し、登録を行ってください。

1 ワンセグ視聴画面で[📺]▶[予約一覧]

- 予約の削除: 予約を選ぶ▶[🗑]▶[OK]
- 予約結果一覧の表示: [視聴/録画予約]▶[録画予約結果]

2 [予約]

3 各項目を設定



1 予約の種類

- 予約の種類を切り替えます。

2 タイトル

- タイトルを入力します。

3 放送局名

- 放送局を設定します。

4 開始日

- 開始日を設定します。

5 開始時刻

- 開始時刻を設定します。

6 くりかえし

- 予約の繰り返しについて設定します。

7 終了時刻

- 終了時刻を設定します。

4 [完了]

- 端末の使用状況や本体メモリの空き容量、番組の種類などにより、視聴・録画ができなかったり、途中で録画を終了したりする場合があります。

ワンセグの設定

データ放送やワンセグの自動終了時間などについて設定できます。

1 ワンセグ視聴画面で[📺]▶[設定]

- コントローラー表示位置**: コントローラーを左右どちらに表示するか設定します。
- サウンド設定**: 音質について設定します。
- データ放送設定**: データ放送について設定します。
- アラーム設定**: 予約番組の開始時のアラームについて設定します。
- オフタイマー設定**: ワンセグを自動的に終了するまでの時間を設定します。
- Webブラウザ設定**: ブラウザについて設定します。
- 製品情報**: アプリのバージョンを確認できます。

[データ放送設定]について

- [通信接続時の確認]を無効にすると、データ放送の確認画面が表示されなくなり、データ放送/データ放送サイトの情報が自動的に更新されることがあります。このとき、パケット通信料がかかることがありますので、ご注意ください。

[オフタイマー設定]について

- ワンセグ録画中に設定した時刻になると、録画終了の確認画面が表示されます。

音声/字幕の設定

ワンセグ視聴中に字幕を表示させたり、音声言語を変更したりすることができます。

- 番組によって、各機能の有無は異なります。

1 ワンセグ視聴画面で[📺]▶[音声/字幕設定]

2 項目を選ぶ

- 音声切替**: 音声言語を設定します。
- 音声多重切替**: 主音声・副音声について設定します。
- 字幕切替**: 表示する字幕について設定します。

カメラ

カメラをご利用になる前に

- レンズ部に指紋や油脂などが付くとピントが合わなくなります。また、画像がぼやけたり、強い光源からすじを引いたりすることなどがあります。撮影前に、柔らかい布で拭いてください。
- 電池残量が少ないときは撮影できません。充電中でも、電池残量が少ないと画像が暗くなったり、画像が乱れたりすることがあります。カメラを使用する場合は事前に十分な充電を行ってください。
- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見える画素や線、暗く見える画素や線もあります。また、特に光量が少ない場所での撮影では白い線などのノイズが増えますので、ご了承ください。
- 端末を暖かい場所に長時間置いていたあとで撮影または保存したときは、画質が劣化することがあります。
- カメラのレンズに直射日光が長時間当たると、内部のカラーフィルターが変色して映像が変色することがあります。
- 太陽やランプなどの強い光源が含まれる撮影環境で被写体を撮影しようとするると、画像が暗くなったり画像が乱れたりすることがありますので、ご注意ください。
- 太陽を直接撮影すると、CMOSの性能を損なうときがありますので、ご注意ください。
- 次の場合、端末が温かくなり、カメラを終了することがありますが、異常ではありません。
 - 静止画を連続撮影する
 - 動画を長時間撮影する
 - 長時間カメラを起動するしばらくたってからカメラをご利用ください。
- フォーカス設定を切り替えたととき、カメラのレンズが動作する音が聞こえますが、異常ではありません。
- 撮影時に端末が動くと、画像がぶれる原因となります。なるべく動かないようにしっかりと固定して撮影してください。静止画撮影時は手ぶれ軽減撮影機能を使ってください。
- カメラで撮影した画像は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
- 撮影時は、カメラのレンズに指や髪、ストラップなどがつかないようにしてください。
- 撮影サイズを大きくすると情報量が多くなるため、端末に表示される画像の動きが遅くなる場合があります。
- 室内で撮影するとき、蛍光灯などの影響で画面がちらついたり、すじ状の濃淡が発生したりすることがあります。室内の照明条件や明るさを変更したり、カメラの明るさやホワイトバランスを調整したりすることにより、画面のちらつきや濃淡を軽減できる場合があります。
- 撮影した静止画は、DCF 1.0準拠 (Exif Ver.2.3、JPEG準拠) の形式で保存されます。
- ワンセグ動作中はカメラをご利用になれません。

著作権・肖像権について

お客様が端末で撮影または録音したものは、個人で楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用、改変などとすると、肖像権の侵害となる場合がありますので、そのようなご利用もお控えください。撮影したものをインターネットホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権には十分にご注意ください。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますので、ご注意ください。著作権にかかわる画像の伝送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外にご利用になれませんので、ご注意ください。

お客様が本端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行う場合、法律、条例(迷惑防止条例など)に従い処罰されることがあります。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

■ カメラを使用中の動作について

- 各カメラモード起動中に約3分間何も操作しないと、カメラモードが自動的に終了し、読み取り結果は削除されます。
- シャッター音の音量は変更できません。

■ カメラの撮影サイズ

- 設定できる撮影サイズは次のとおりです。

撮影モード	画面比率	撮影サイズ
静止画撮影	16: 9	4 K 2 K: 3840×2160
		Full-HD: 1920×1080
		HD: 1280×720*
	4: 3	13M: 4128×3096
3M: 2048×1536		
1.2M: 1280×960*		
	VGA: 640×480	
動画撮影	16: 9	Full-HD: 1920×1080
		HD: 1280×720
	4: 3	VGA: 640×480
		QVGA: 320×240

* インカメラのみ設定できます。

■ 撮影画面の見かた

静止画撮影画面



カメラ

静止画を撮影します。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [カメラ]

- 明るさの調整: 上下にスライド
- ズーム: 左右にスライドまたはピンチアウト/ピンチイン
・ 最大倍率(ズームの段階)は約16.0倍(120段階)です。
- フォーカスロック: 被写体をタッチ
・ フォーカス枠以外をタッチすると解除されます。

2 [⊕]/[⊖]/[⊞]

- シャッター音が鳴り、撮影した静止画が自動的に保存されます。
- フォーカスロックをしている場合、フォーカス枠をタッチしても撮影することができます。

ビデオカメラ

動画を撮影します。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [カメラ] ▶ [⊕]を[□]までドラッグ

- 明るさの調整: 上下にスライド
- ズーム: 左右にスライドまたはピンチアウト/ピンチイン
・ 最大倍率(ズームの段階)は約16.0倍(120段階)です。

2 [⊙]/[⊞]/[⊞]

- 撮影開始音が鳴り、撮影が開始されます。
- 静止画撮影: [⊙]

3 [⊙]/[⊞]/[⊞]

- 撮影停止音が鳴り、撮影した動画が自動的に保存されます。

- 撮影残時間の表示は目安であり、撮影対象により、撮影開始前の残時間表示よりも長く撮影できるときや、残時間があっても撮影が自動的に停止するときがあります。
- 撮影残時間の表示は、本体メモリまたはmicroSDカードの空き容量や電池残量によって変わります。

アルバム

画像や動画を人物ごと、イベントごと、場所ごとに振り分けて整理し、利用することができます。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [アルバム]

2 カテゴリを選ぶ

- フォルダ別表示/一覧表示の切替: [すべて] ▶ [フォルダ]/[画像]

3 データを選ぶ

4 データを確認する

- ファイルが表示されない場合は、アルバムのデータベースファイルを削除することで正常に動作する可能性があります。端末とパソコンを市販のmicroUSB接続ケーブルで接続して、本体メモリまたはmicroSDカードの¥PRIVATE¥SHARP¥PMM¥DATABASEフォルダを削除してから使用してください。データベースファイルを削除した場合、作成された人物などの情報も削除されます。十分にご確認の上、操作してください。



動画撮影画面



1 撮影モード/撮影カメラ設定

- 撮影モードや撮影カメラを設定します。

2 モバイルライト

- モバイルライトを点灯/消灯します。

3 イン/アウトカメラ切替

- インカメラ/アウトカメラに切り替えます。

4 各種設定

- 撮影時の各種設定を行います。

5 表示切替

6 アルバム/サムネイル

- アルバムを起動します。
・ アルバムの画像表示画面で[⊞]をタッチすると、すべてのデータを表示できます。

7 シャッター

8 カメラ/ビデオカメラ切替

- カメラモードをカメラ/ビデオカメラに切り替えます。

9 位置情報付加

- 位置情報を付加するか設定します。

10 手ぶれ軽減

- 手ぶれ軽減を利用するか設定します。

11 撮影サイズ

- 撮影サイズを設定します。

12 HDR

- 明暗差の大きい逆光での撮影時などに生じやすい、黒つぶれや白とびを解消するか設定します。

13 撮影可能枚数/撮影残時間

- 静止画撮影の場合、撮影可能枚数が99枚以下になると表示されます。
- 動画撮影の場合、撮影残時間は撮影可能な時間の合計を表示しています。1回で撮影可能な時間は残時間表示より短い場合があります。
- 撮影をしても、撮影可能枚数/撮影残時間の表示が変わらない場合があります。

14 電池残量

データの振り分け

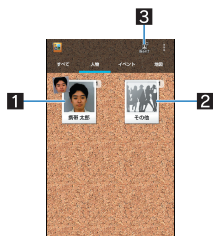
画像や動画を作成したグループごとに整理できます。

■ 人物ごとに振り分け

1 アルバム画面で[人物]

- 自動振り分けの設定: [設定] ▶ [設定] ▶ [おまかせ振り分け設定] ▶ 各項目を設定

2 グループを選ぶ



1 設定済みのグループ

2 その他

- グループが未設定のデータを表示します。新規のグループを作成したり、作成済みのグループに振り分けたりできます。

3 振り分け

- 画像を人物ごとに振り分けます。

3 [整理] ▶ [人物を新規作成]

4 分類するデータを選ぶ ▶ [作成]

- 複数のデータを選択した場合は、最も新しいデータが表示されます。

5 切り取り部分を選ぶ ▶ [決定]

- オレンジ色の枠線をドラッグすると、枠を拡大/縮小できます。

6 [人物名を入力する] ▶ 人物名を入力 ▶ [OK]

- [電話帳]を選択すると、電話帳から選択して人物名を入力できます。

● おまかせ振り分け設定によって人物が写った写真を自動的に振り分けます。撮影された人物の表情や向きによっては、正しく振り分けられないことがあります。

■ イベントごとに振り分け

1 アルバム画面で[イベント]

2 [未設定]

3 [整理] ▶ [イベントを新規作成]

4 分類するデータを選ぶ ▶ [作成]

5 [イベント名を入力する] ▶ イベント名を入力 ▶ [OK] ▶ [作成]

■ 場所ごとに振り分け

- 位置情報の付加されているデータは、自動的に地図上に振り分けられます。

1 アルバム画面で[地図]

2 [設定] ▶ [場所設定]

3 分類するデータをロングタッチ ▶ 登録する位置までドラッグ ▶ [OK]

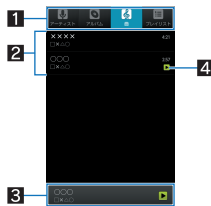
ミュージック

本体メモリまたはmicroSDカードに保存された音楽データやプレイリストを再生します。

- 再生できる音楽データのファイル形式は次のとおりです。
AAC LC/LTP(.3gp,.mp4,.m4a)、HE-AACv1(AAC+)、HE-AACv2(enhanced AAC+)、AMR-NB(.3gp)、AMR-WB(.3gp)、MP3(.mp3)、MIDI(.mid,.imy,.rtttl,.rtx,.ota)、Ogg Vorbis(.ogg)、PCM/WAVE(.wav)

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [ミュージック]

2 音楽データを選ぶ



データ一覧画面

1 カテゴリ

- 選択したカテゴリのデータが表示されます。

2 音楽データ表示エリア

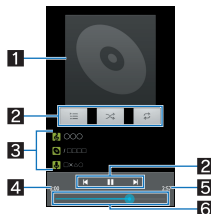
- 音楽データをロングタッチ ▶ [着信音に設定]で着信音に設定できます。

3 再生/一時停止中の音楽

4 再生/一時停止中アイコン

3 音楽を聴く

- 音量調節: [音量アイコン]



1 ジャケット画像

2 操作パネル

- 表示されるキーで次の操作ができます。
 - 前/次のデータを再生: [◀]※1 / [▶]
 - 再生/一時停止: [▶] / [⏏]
 - リピート: [🔄]※2
 - シャッフル: [🔀]
 - データ一覧画面の表示: [☰]

※1 再生経過時間が約2秒未満: 前のデータを再生
再生経過時間が約2秒以上: 頭出し

※2 [🔁]が重なって表示されている場合は、1曲のみをリピート再生します。

3 曲名/アルバム名/アーティスト名

4 再生時間

5 総再生時間

6 シークバー

- シークバーをドラッグすると再生位置を変更できます。

■ サウンド効果の設定

1 音楽再生画面で[≡] ▶ [サウンド効果]

2 各項目を設定

プレイリストの管理

■ プレイリストの作成

1 データ一覧画面で音楽データをロングタッチ ▶ [プレイリストに追加] ▶ [新規]

2 プレイリスト名を入力 ▶ [保存]

■ プレイリスト名の変更

1 データ一覧画面で[プレイリスト] ▶ プレイリストをロングタッチ ▶ [名前を変更]

2 プレイリスト名を入力 ▶ [保存]

■ プレイリストに音楽データを追加

1 データ一覧画面で音楽データをロングタッチ ▶ [プレイリストに追加]

2 プレイリストを選択

■ プレイリスト内の音楽データの削除

1 データ一覧画面で[プレイリスト] ▶ プレイリストを選ぶ

2 音楽データをロングタッチ ▶ [プレイリストから削除]

■ プレイリストの削除

1 データ一覧画面で[プレイリスト] ▶ プレイリストをロングタッチ ▶ [削除]

GPS／ナビ

GPS機能の利用

- GPSとは、GPS衛星からの電波を受信して端末の位置情報を取得する機能です。現在地を測位するためには、位置情報を[ON]に設定する必要があります(☞P.53「位置情報」)。
- 航空機、車両、人などの航法装置や、高精度の測量用GPSとしての使用はできません。これらの目的で使用したり、これらの目的以外でも、端末の故障や誤動作、停電などの外部要因(電池切れを含む)によって測位結果の確認や通信などの機会を逸したりしたために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- GPSは米国防総省により運営されているため、米国の国防上の都合によりGPSの電波の状態がコントロール(精度の劣化や電波の停止など)される場合があります。また、同じ場所・環境で測位した場合でも、人工衛星の位置によって電波の状況が異なるため、同じ結果が得られないことがあります。
- GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、次の環境下では、電波を受信できない、または受信しにくい状態の位置情報の誤差が300m以上になる場合がありますのでご注意ください。
 - 密集した樹木の中や下、ビル街、住宅密集地
 - 建物の中や直下
 - 地下やトンネル、地中、水中
 - 高圧線の近く

- 自動車や電車などの室内
- 大雨や雪などの悪天候
- かばんや箱の中
- 端末の周囲に障害物(人や物)がある場合
- 端末のカメラ・ワンセグアンテナ・受話口や近接センサー周辺を手で覆い隠すように持っている場合
- 海外でGPS機能を利用するときは、各国・地域の法制度などにより、取得した位置情報(緯度経度情報)に基づく地図上の表示が正確ではない場合があります。
- 現在地を測位する際に、自動的に衛星の運行情報などのアシストデータを取得し、パケット通信料がかかる場合があります。
- 位置情報から地図を表示した場合などは、パケット通信料がかかります。

マップ

現在地の測位や目的地までの詳しい移動方法のナビゲーションなどができます。

- 現在地を測位するためには、位置情報を[ON]に設定する必要があります(☞P.53「位置情報」)。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [マップ]

2 マップを利用する

- 画面を回転: 2本の指で回転
- 立体的に表示: 2本の指で上にスライド
- 現在地の測位: [●]

■ ストリートビュー

1 マップ画面で任意の場所をロングタッチ

2 住所／地名／施設名などをタッチ ▶ [ストリートビュー]

- 表示する方角の変更: 画面を上下左右にスライド
- 表示する場所の移動: 矢印をタッチ
- コンパスモード: [S]

- ストリートビューは対応していない地域もあります。
- コンパスモードを利用すると、端末の地磁気コンパスとストリートビューで表示される方角が運動します。

■ ルートの検索

出発地から目的地までのルートを検索することができます。

1 マップ画面で[∧]

2 移動手段を選ぶ

3 上の検索ボックスをタッチ ▶ 出発地を入力

- 現在地を測位している場合は、現在地が入力されます。

4 下の検索ボックスをタッチ ▶ 目的地を入力

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

■ 周辺施設の検索

表示中の地図の周辺施設をジャンル別に検索することができます。

1 マップ画面で検索ボックスをタッチ

2 検索したい施設のジャンルを選ぶ

- 検索ボックスに検索する場所を入力しても検索できます。

3 検索結果を利用する

- 詳細情報の表示: 住所／地名／施設名などを選ぶ
- 検索結果が複数ある場合は、マーカーをタッチすると他の検索結果を表示することができます。また、[検索結果を表示]をタッチすると検索結果が一覧表示されます。

YouTube

YouTubeは無料オンライン動画ストリーミングサービスで、動画の再生、検索、アップロードを行うことができます。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [YouTube]

2 動画を選ぶ

- 検索ボックスの表示: [🔍]

アラーム・時計

アラーム

指定した時刻・曜日に、アラーム音やバイブレータでお知らせします。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [アラーム・時計] ▶ [アラーム]

- アラーム音量の設定: [設定] ▶ [アラーム音量] ▶ 音量を調節 ▶ [OK]
- マナーモード中の鳴動設定: [設定] ▶ [マナーモード時設定] ▶ 設定を選ぶ
- 登録先の削除: [削除] ▶ 登録先を選択 ▶ [削除] ▶ [はい]

2 登録先を選ぶ

- 登録先の追加: [+]

3 各項目を設定



1 時刻

- アラームが鳴動する時刻を設定します。

2 名称

- 名称を入力します。

3 繰り返し

- 繰り返しを設定します。

4 アラーム音

- アラーム音を設定します。

5 バイブレータ設定

- バイブレータを利用するか設定します。

6 スヌーズ設定

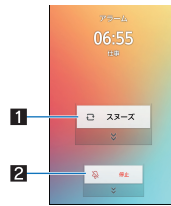
- スヌーズを利用するか設定します。

7 スヌーズ/詳細設定/イルミ

- スヌーズの間隔や回数、鳴動時間、イルミネーションを設定します。

- アラーム設定時刻に電源が入っていない場合は、アラームは動作しません。
- 通話中は、アラーム設定時刻になってもアラームが動作しません。通話を終了すると、アラームが動作します。
- アラーム鳴動中に別のアラーム設定時刻となったときは、アラーム鳴動を遅延します。1つ目のアラーム鳴動が停止、または鳴動時間を過ぎると、遅延されていたアラーム鳴動が再開されます。
- アラームの音量を「0」にしているときや、マナーモード設定中にマナーモード時設定を[鳴らさない]に設定しているときはアラーム音は鳴りません。

■ アラーム鳴動画面の見かた



1 スヌーズ

- 下にドラッグするとアラームを停止できます。スヌーズは動作します。
- [スヌーズ設定]を有効にしているときのみ操作できます。

2 停止

- 下にドラッグするとアラームを終了できます。

世界時計

世界各地の都市の時刻を表示できます。

- 世界時計は10件まで表示できます。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [アラーム・時計] ▶ [世界時計]

2 [+] ▶ 都市を選ぶ

- サマータイムの切替: 都市をロングタッチ ▶ [サマータイム切り替え]
- 都市の削除: [削除] ▶ 都市を選ぶ ▶ [削除] ▶ [はい]

- サマータイムに切り替えた都市には、[*]が表示されます。
- 都市によってはサマータイムに切り替えられない場合もあります。

ストップウォッチ

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [アラーム・時計] ▶ [ストップウォッチ]

2 [スタート]

- ラップタイム、スプリットタイムの記録: [ラップ]

3 [ストップ]

- 計測した時間、ラップタイム、スプリットタイムのリセット: [リセット]

- ラップタイム、スプリットタイムの履歴を99件まで記憶できます。99件を超えたときは、古い履歴から順に削除されます。
- アラーム・時計を終了した場合は、計測した時間、履歴はリセットされます。

タイマー

設定した時間が経過したときに、アラーム音やバイブレータでお知らせします。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [アラーム・時計] ▶ [タイマー]

2 設定時間をタッチ ▶ 時間を入力 ▶ [OK]

- タイマーの追加: [+]
- 名称を変更: タイマーをロングタッチ ▶ [名称] ▶ 名称を入力 ▶ [OK]
- [設定]を選択すると、アラーム音/バイブレータ設定/イルミネーションを設定することができます。

3 [スタート]

- カウントダウンの停止: [ストップ]
- 設定時間を元に戻す: [リセット]
- カウントダウン中にタッチすると、カウントダウンを停止し、設定時間を元に戻します。

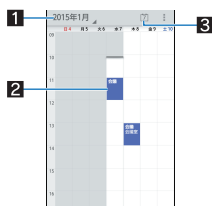
カレンダー

カレンダーを利用してスケジュールの管理ができます。

- あらかじめ、アカウント設定をしておいてください(※P.21「Googleなどのアカウントの設定」)。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [カレンダー]

2 スケジュールを確認する



1 表示切替

- カレンダーの表示方法を切り替えます。

2 登録されているスケジュール

3 今日を表示

スケジュールの作成

1 カレンダー画面で[≡] ▶ [予定を作成]

2 各項目を設定



1 カレンダー

- カレンダーシートを設定します。

2 タイトル

3 場所

4 開始日時

5 終了日時

6 終日

- 終日設定を切り替えます。

7 タイムゾーン

8 ゲスト

- 招待する相手のメールアドレスを入力します。

9 説明

10 繰り返し

11 通知

- 開始日時のどのくらい前に通知するかを設定します。

12 通知を追加

- 設定する通知を追加します。

13 外部向け表示

- 外部に予定を表示するか設定します。

14 公開設定

- 公開範囲を設定します。

15 予定の色

- 予定の色を設定します。

16 通知削除

- 通知を削除します。

3 [完了]

カレンダーの設定

1 カレンダー画面で[≡] ▶ [設定]

2 項目を選ぶ

- **全般設定**: カレンダー全般について設定します。
- **カレンダーについて**: カレンダーのバージョンを表示します。
- アカウントを選ぶと、同期するカレンダーを設定できます。

スケジュールの削除

1 カレンダー画面でスケジュールを選ぶ

2 [🗑️] ▶ [OK]

メモ帳

よく利用する文章を登録しておき、利用できます。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [メモ帳] ▶ [新規作成]

2 本文を入力 ▶ [保存]

電卓

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [電卓]

2 計算する

- 電卓を終了すると、メモリは削除されます。
- バックグラウンドで動作している場合、計算結果や履歴情報が削除されることがあります。

SHツール

ボイスレコーダーや名刺リーダー、バーコードリーダー、辞書など、便利な機能を利用することができます。

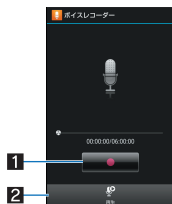
- コンテンツマネージャーについてはP.59「コンテンツマネージャー」

ボイスレコーダー

- 本体メモリの空き容量が300Kバイト未満のときは、録音できません。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [SHツール] ▶ [おすすめ] ▶ [ボイスレコーダー]

2 録音／再生する



1 操作キー

- 表示されるキーで次の操作ができます。
 - ・ 録音開始: [📻] ※ 1
 - ・ 録音停止: [🔴] ※ 2
- ※ 1 録音開始音が鳴り、録音が始まります。
- ※ 2 録音停止音が鳴り、録音データが保存されます。

2 再生

- 録音データを一覧で表示します。データを選択すると再生できます。
- 録音直後にタッチした場合は、録音したデータが再生されます。

- 録音開始音／停止音は、端末の設定にかかわらず鳴ります。
- 録音中に最大録音時間に達したときや、本体メモリの空き容量が不足したときは、自動的に録音が停止します。
- 録音中に電話がかかってくると、録音は停止され、それまでの録音を自動的に保存し、電話に出ることができます。通話終了後、保存完了通知画面が表示されます。
- 再生中に電話がかかってくると、再生が自動的に一時停止し、電話に出ることができます。通話終了後、停止した状態で再生画面が表示されます。

歩数計

歩数計を使って毎日のウォーキングやジョギングをサポートします。

歩数や消費カロリーなどは履歴として保存され、グラフで確認することができます。

- あらかじめユーザー情報を登録し、[歩数計ON]を有効にしておいてください。
- バイブレータの動作などによって、端末に振動や揺れが加えられた場合、歩数が正確に測定されないことがあります。
- 測定した歩数は、装着や測定のしかた、歩きかたによって正確に表示されない場合があります。
- かばんやポーチなどに入れるときは、ポケットや仕切りの中など端末を固定できる場所に入れてください。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [SHツール] ▶ [おすすめ] ▶ [歩数・消費カロリー計]

- 歩数計設定がされていない場合のみ、確認画面が表示されます。[はい]を選択して歩数計設定を行ってください。

- 歩き始めの約4秒間は歩数はカウントされますが、測定値には反映されません。そのあと歩行を続けると、それまでの歩数を合わせて測定値に反映します。

歩数測定時のご注意

次のような場合は、歩数が正確に測定されないことがあります。

- 端末が不規則に動く場合
 - 端末を入れたかばんなどが、足や腰に当たって不規則な動きをしているとき
 - 端末を腰やかばんなどからぶら下げているとき
- 不規則な歩行をした場合
 - すり足のような歩きかたや、サンダル、げた、草履などを履いて不規則な歩行をしたとき
 - 混雑した場所を歩くなど、歩行が乱れたとき
- 上下運動や振動の多いところで使用した場合
 - 立ったり座ったりしたとき
 - 歩行やジョギング以外のスポーツを行ったとき
 - 階段や急斜面を上ったり下ったりしたとき
 - 乗り物(自転車、自動車、電車、バスなど)に乗って、上下振動や横揺れしているとき
- 極端にゆっくり歩いた場合

歩数計設定

ユーザー情報の登録など歩数計について設定します。

- [歩数計ON]を有効にするには、あらかじめユーザー情報を登録しておいてください。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [SHツール] ▶ [おすすめ] ▶ [歩数・消費カロリー計]

2 [📊] ▶ [歩数計設定]

3 項目を選ぶ

- 歩数計ON: 歩数計を利用するか設定します。
- ユーザー情報: 身長や体重、歩幅を登録します。
- 歩数リセット時刻設定: 歩数計をリセットする時刻を設定します。

- [歩数計ON]を有効にすると、電源が入っている間は常に歩数がカウントされます。
- 歩数計の表示は、1日に一度[歩数リセット時刻設定]で設定した時刻にリセットされます。

名刺リーダー

カメラを使って名刺(日本語、英語)から名前や電話番号などの情報を読み取り、電話帳に登録できます。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [SHツール] ▶ [読み取り] ▶ [名刺を読み取る]

- 明るさの調整:上下にスライド

2 ディスプレイの中央に名刺を表示 ▶ [読取]

- シャッター音が鳴ります。
- 名刺全体がディスプレイに表示されている枠に納まるように端末を固定してください。名刺以外のもの、特に文字を含むものがディスプレイ内に入らないようにしてください。
- 名刺からカメラまでの距離は約10cm離してください。
- 名刺をディスプレイに表示する際、縦向き横向きどちらでも読み取ることができますが、斜めにはしないでください。

3 [認識]

4 [電話帳登録]

- 読み取り結果のコピー: [] ▶ [全コピー]

5 登録するアカウントを選ぶ ▶ [OK]

- 撮影した名刺画像が自動的に保存されます。

6 [いいえ]

- 登録した連絡先の編集: [はい] ▶ 連絡先を編集

●名刺によっては読み取れないものや、正しく認識されないものがあります。

バーコードリーダー

カメラを使ってバーコード(JANコード、QRコード)を読み取ると、読み取った文字の内容に応じて、さまざまな操作を行うことができます。

JANコードとは

- 幅の異なる縦の線(バー)で数字を表現しているバーコードです。
- JAN 8、JAN 13を読み取ることができます。

QRコードとは

- 縦・横方向でデータを表現している二次元コードの1つです。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [SHツール] ▶ [読み取り] ▶ [バーコードを読み取る]

- 明るさの調整:上下にスライド

2 バーコードを読み取る

- バーコードリーダー画面が表示されると、読み取りを開始します。ディスプレイの中央に読み取るバーコードを表示させてください。
- バーコードの真正面からカメラまでを約10cm離して、バーコードや端末をできるだけ固定すると認識されやすくなります。
- 読み取りが完了すると、完了音が鳴り、読み取り結果画面が表示されます。

分割されたデータについて

- QRコードには、分割されたデータ(最大16個)を読み取って1つのデータとなるものがあります。操作を繰り返し、すべての分割されたデータを読み取ると読み取り結果が表示されます。

3 読み取り結果を利用する

- 電話番号やURL、メールアドレスを読み取ったときは読み取り結果をタッチすると利用できます。
- 読み取り結果の登録: [] ▶ [読取データ登録]
 - 登録した読み取り結果は、バーコードリーダー画面で [] ▶ [読取データ確認] ▶ データを選び確認できます。
- 読み取り結果のコピー: [] ▶ [全コピー]

- バーコードの種類やサイズによっては、読み取れないことがあります。
- 傷、汚れ、破損、印刷の品質、光の反射、QRコードのバージョンによっては読み取れないときがあります。

お店情報リーダー

カメラを使って、雑誌などから店名や電話番号などの情報を読み取り、電話帳に登録できます。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [SHツール] ▶ [読み取り] ▶ [お店情報を読み取る]

- 明るさの調整:上下にスライド

2 ディスプレイの中央に情報を表示 ▶ [読取]

- シャッター音が鳴ります。
- 読み取りたい情報がディスプレイに納まるように端末を固定してください。ただし、ディスプレイに表示される文字が小さくなる場合は、電話番号や住所などを表示して読み取る大きさにしてください。
- 読み取りたい情報からカメラまでの距離は約10cm離してください。

3 [認識]

4 [電話帳登録]

- 読み取り結果のコピー: [] ▶ [全コピー]

5 登録するアカウントを選ぶ ▶ [OK]

- 撮影した画像が自動的に保存されます。

6 [いいえ]

- 登録した連絡先の編集: [はい] ▶ 連絡先を編集

- 雑誌などの記載内容によっては読み取れないものや、正しく認識されないものがあります。

テキストリーダー

カメラを使って、新聞や雑誌などの記事を読み取り、さまざまな操作を行うことができます。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [SHツール] ▶

[読み取り] ▶ [文字を読み取る]

- 明るさの調整: 上下にスライド

2 ディスプレイに読み取る文字を表示 ▶ [撮影]

- シャッター音が鳴ります。

3 [▲] / [▼] で読み取る行にカーソルを合わせる ▶

[読取]

- 縦書きの文字を認識した場合: [◀] / [▶]
- カーソルを合わせている行に水色の枠が表示されます。

4 [決定]

- 読み取りモードの変更: [≡] ▶ モードを選ぶ

5 読み取り結果を利用する

- 読み取り結果のコピー: [全コピー]
- 電話番号やURL、メールアドレスを読み取ったときは読み取り結果をタッチすると利用できます。
- 続けて文字を読み取る: [≡] ▶ [続き読取] ▶ 文字を読み取る
- 改行して追加で文字を読み取る: [≡] ▶ [追加読取] ▶ 文字を読み取る
- 辞書で検索: [≡] ▶ [辞書検索] ▶ アプリを選ぶ ▶ 辞書で検索する
- 読み取り結果の編集: [≡] ▶ [編集] ▶ 文字を編集する

- 傷、汚れ、破損、印刷の品質、光の反射、文字サイズによっては、正しく読み取れないときがあります。

辞書

内蔵されている辞書やサイト上の辞書で、キーワードを入力して調べることができます。

- お買い上げ時は、端末に次の電子辞書が登録されています(電子化の都合上、書籍とは一部異なる場合があります)。

■ 明鏡国語辞典MX 第2版

使用頻度の高い現代語を中心に約6万4000語句を収録。新語と誤用情報を充実させた。

■ ジーニアス英和辞典MX 増補版

新聞・雑誌・各種文献を読むときに便利な大規模な英和辞典。新語や専門語を増補。約20万2000語句を収録。

■ ジーニアス和英辞典MX 第2版

現代語を中心に見出し約6万7000語句、用例8万4000を収録した、本格語数の和英辞典。地名人名などの固有名詞も充実。

(「明鏡国語辞典MX 第2版」 ©KITAHARA Yasuo and Taishukan, 2012、「ジーニアス英和辞典MX 増補版」「ジーニアス和英辞典MX 第2版」 ©MINAMIDE Kosei, NAKAMURA Mitsuo and Taishukan, 2012)

- お買い上げ時は、ネット辞書「百科事典」を利用できます。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [SHツール] ▶

[辞書] ▶ [国語辞典] / [英和辞典] / [和英辞典] /

[ネット辞書]

2 検索する

- 画面は英和辞典の画面です。



1 辞書アイコン

- 現在利用している辞書を表示します。
- タッチすると利用する辞書を切り替えることができます。

2 入力モード切替

- タッチすると入力モードを変更することができます。

3 単語カード / 設定 / メニュー

- 内蔵辞書の場合は、登録した単語カードを表示します。
- ネット辞書の場合は、検索方法の設定やメニューを表示します。

4 検索キーワード入力欄

- 検索するキーワードを入力します。
- 内蔵辞書の場合は、文字を入力するたびに検索結果が表示されます。
- ネット辞書の場合は、キーワードを入力 ▶ [検索] で検索結果が表示されます。

5 ひきなおす

- 新しく検索します。

6 辞書切替

- 利用する辞書を切り替えることができます。

7 履歴

- 過去に検索した単語を表示します。

8 単語テスト / 辞書管理

- 内蔵辞書の場合は、検索結果画面で登録した単語カードをもとに単語のテストができます。
- ネット辞書の場合は、辞書の管理ができます。

3 検索結果を選ぶ

- 検索結果を単語カードに登録: [単語カード追加]

設定メニュー

ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] で表示されるメニューから、端末の各種設定を行うことができます。

- ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [シンプル設定] ▶ [はい] で基本的な設定項目のみの表示に変更することができます。

プロフィール	microSIMカードをご使用の場合は、お客様の電話番号を表示できます。名前やメールアドレスなどを登録することもできます。
通話	着信音や着信時のバイブレーションなど、通話について設定します。
サウンド・イルミ	マナーモードや着信音、着信イルミなどについて設定します。
ディスプレイ	画面表示などについて設定します。
ストレージ	microSDカードや端末などの空き容量の確認、ファイル管理などができます。
省エネ&バッテリー	工口技設定や省エネ待受設定の起動や電池残量の確認などを行います。
便利機能	アプリ使用履歴キーに関する設定や、セルフチェックを行います。
ホーム切替	ホームアプリを切り替えます。
アプリ	アプリの名前やバージョン、メモリの使用状況などの確認、有効/無効の設定、アンインストールなどができます。
Wi-Fi	Wi-Fi機能について設定します。
Bluetooth	端末とBluetooth機器をワイヤレスで接続できます。
データ使用量	モバイルネットワーク経由のデータ通信量を測定し、グラフで表示します。
その他	無線とネットワークについて、その他の機能の設定を行います。
位置情報	位置情報の測位について設定します。
ロックとセキュリティ	セキュリティロックについて設定します。
言語と文字入力	画面に表示される言語や、文字入力、テキスト読み上げなどについて設定します。
バックアップとリセット	オールリセットやデータの引き継ぎを行います。
アカウントを追加	アカウントの追加ができます。
日付と時刻	日時の設定や表示形式について設定します。
ユーザー補助	ユーザー補助オプションについて設定します。
印刷	印刷用アプリ(プラグイン)をインストールすると、印刷機能に対応したアプリで印刷することができます。
端末情報	端末情報の確認ができます。

プロフィール

microSIMカードをご使用の場合は、お客様の電話番号を表示できます。名前やメールアドレスなどを登録することもできます。

- 1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [プロフィール]
- 2 [編集] ▶ 各項目を設定 ▶ [保存] ▶ [はい]

サウンド・イルミ

マナーモードや着信音、着信イルミなどについて設定します。

- 1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [サウンド・イルミ]

2 項目を選ぶ

- **マナーモード設定**: マナーモード設定については P.49「マナーモード設定」
- **音量**: メディア再生音や着信音などの音量を設定します。
- **電話着信**: 着信時の動作について設定します。
- **お知らせ**: お知らせ受信時の動作について設定します。
 - ・お知らせイルミの点滅設定: [イルミを点滅させて通知]
- **イルミネーション**: 画面の点灯時やBluetooth通信でファイルを送受信するときの着信イルミについて設定します。
- **タッチ操作バイブ**: 特定のキー操作時などにバイブレータを動作させるか設定します。
- **タッチ操作音**: メニューなどをタッチしたときの操作音の有無を設定します。
- **ダイヤルパッド操作音**: ダイヤル音の有無を設定します。
- **画面ロックの音**: タッチパネルのロック/ロック解除時の音の有無を設定します。
- **充電開始音**: 充電開始時に音を鳴らすか設定します。

マナーモード設定

公共の場所などで、端末の音を周囲に出さないように設定します。

- 1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [サウンド・イルミ] ▶ [マナーモード設定]

- (1秒以上) ▶ [] / [] / [] でもマナーモードを設定/解除できます。

2 マナーモードの種類を選ぶ

- **通常マナー**: 着信音や操作音は鳴らず、着信時などはバイブレータが動作します。
- **サイレントマナー**: 着信音や操作音は鳴らず、着信時などはバイブレータも動作しません。
- **OFF**: マナーモードを解除します。

- マナーモード設定中も、次の音は鳴ります。
 - カメラのシャッター音
 - カメラのフォーカスロック音
 - ビデオカメラの撮影開始音/停止音
 - ボイスレコーダーの録音開始音/停止音
 - メディア再生音(音楽や動画、ワンセグなど)
- マナーモード設定中は、 / を押しても着信音量を変更できません。

ディスプレイ

画面表示などについて設定します。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [ディスプレイ]

2 項目を選ぶ

- 壁紙: ホーム画面の画像を設定します。
- ウェルカムシート (ロック画面): タッチパネルのロック時の画面について設定します。
- 画面の縁の効果: ディスプレイを表示させたときに画面の縁に表れる効果を設定します。
- 画面の明るさ: 画面の明るさについては P.50「画面の明るさ」
- バックライト点灯時間: バックライトの点灯時間を設定します。
- 画質モード: 画質について設定します。
- 画面の自動回転: 端末を左右に90度回転させたとき、画面の縦/横表示を切り替えるか設定します。
- モーションによる画面ON/OFF: Bright KeepやSweep ON、Shake OFFについて設定します。
- 文字フォント設定: 文字サイズやフォントについて設定します。
- のぞき見ブロック: のぞき見ブロックについては P.50「のぞき見ブロック」
- スクリーンセーバー: スクリーンセーバーを利用するか設定します。
- 電池残量%表示: ステータスバーに電池残量をパーセントで表示するか設定します。

[バックライト点灯時間]について

- 点灯時間を長くすると、連続待受時間が短くなりますので、ご注意ください。

[画面の自動回転]について

- 利用中のアプリによっては、設定に従わない場合があります。

[モーションによる画面ON/OFF]について

- Bright Keepを設定すると、端末を手を持っているときはディスプレイの表示が消えないようにすることができます。
- Bright Keepを設定し、端末を手を持っているとき、端末の静止状態が続いた場合や、一定時間何も操作していない場合はディスプレイの表示が消える場合があります。
- Bright Keepを[ON(通知あり)]に設定すると、ステータスバーに [🔔] が表示されます。
- Bright Keepの[水平に置くとすぐ消灯する]を有効にしている場合、端末を地面に対して水平に近い状態で置いたときは、バックライト点灯時間にかかわらずディスプレイの表示が消えます。利用中のアプリによっては、設定に従わない場合があります。

[文字フォント設定]について

- Google Playなどでダウンロードしたアプリを起動したときに、正しく表示されない場合があります。

画面の明るさ

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [ディスプレイ] ▶ [画面の明るさ]

2 項目を選ぶ

- 明るさを自動調整: バックライトの明るさを自動で調整するか設定します。自動で調整を行わない場合は、手動で明るさを設定してください。
- エコバックライトコントロール: 画質調整を効率良く行うことで、バックライトの消費電力を抑えます。

3 [OK]

[明るさを自動調整]について

- 画面の明るさを上げると、連続待受時間が短くなりますので、ご注意ください。

[エコバックライトコントロール]について

- 画質調整により、色味が変わる場合があります。

のぞき見ブロック

周りの人からディスプレイを見えにくくします。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [ディスプレイ] ▶ [のぞき見ブロック]

2 項目を選ぶ

- のぞき見ブロック: のぞき見ブロックを有効にするか設定します。
- モーションによる切替え: ディスプレイ面の上部に約2秒手をかざしてのぞき見ブロックの有効/無効を切り替えられるようにするか設定します。
- 表示パターン: 表示パターンを設定します。
- 見栄え補正: 正面からの見栄えを調整します。

[のぞき見ブロック]について

- 電源を切ると[のぞき見ブロック]が無効になります。

[モーションによる切替え]について

- [モーションによる切替え]を有効にしている場合、次のような動作をすることがありますので、ご注意ください。
 - かばんやポケットなどに入れているときにディスプレイ面の上部が覆われた場合
 - ディスプレイ面を伏せて端末を置いた場合
 - ディスプレイ面の上部に物を置いた場合
- 横表示中や通話中など、動作しない場合があります。

[表示パターン]について

- 周りの人から見えにくくする効果は、選択したパターンによってそれぞれ異なります。

ストレージ

microSDカードや端末などの空き容量の確認、ファイル管理などができます。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [ストレージ]

2 項目を選ぶ

- microSDをマウント / microSDのマウント解除: microSDカードをマウント / マウント解除します。
- microSD内データを消去: microSDカードを初期化します。
- USBメモリのマウント解除: USBメモリをマウント解除します。
- ファイル管理: USBメモリなどに保存されているデータを管理します。

- 端末の電源を入れたら、microSDカードの着脱に関する注意事項が毎回表示されます。

[microSDをマウント]、[microSDのマウント解除]について

- microSDカードの取り付け／取り外しは、microSDカードをマウント解除し、電源を切ってから行ってください。

[microSD内データを消去]について

- 初期化を行うと、microSDカードの内容がすべて消去されますのでご注意ください。

[USBメモリのマウント解除]について

- USBメモリの取り外しは、USBメモリをマウント解除してから行ってください。

USB接続

端末を市販のmicroUSB接続ケーブルでパソコンに接続して利用するときの設定を変更します。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [ストレージ] ▶ [] ▶ [USBでパソコンに接続]

2 項目を選ぶ

- **MTPモード**: MTP対応のパソコンで本体メモリまたはmicroSDカードにデータを転送するときのモードです。
- **PTPモード**: PTP対応のパソコンで本体メモリに静止画を転送するときのモードです。
- **カードリーダーモード**: 端末に挿入したmicroSDカードを、パソコンの外部メモリとして使用するときのモードです。

- 大量のデータを転送した場合、転送が中断することがあります。その場合はデータを分けて転送してください。

省エネ&バッテリー

エコ技設定や省エネ待受設定の起動や電池残量の確認などを行います。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [省エネ&バッテリー]

2 項目を選ぶ

- **エコ技設定**: エコ技設定についてはP.51「エコ技設定」
- **省エネ待受設定**: 省エネ待受設定についてはP.51「省エネ待受設定」
- **電池**: 電池残量や電池消費量の変化などを、視覚的に確認できます。

エコ技設定

エコ技設定を起動します。電池残量や時刻でエコ技に切り替えるよう設定することもできます。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [省エネ&バッテリー] ▶ [エコ技設定]

2 設定する



1 エコ技

- エコ技に切り替えます。

2 詳細設定

- 省エネ待受や省エネWiFiなど、省エネさせる機能を個別に設定します。

3 電池残量で切替

- 指定した電池残量になったとき、エコ技に切り替えるが設定します。

4 切替電池残量

- エコ技に切り替える電池残量を設定します。

5 切替時刻

- 指定した時刻になったとき、エコ技に切り替えるが設定します。

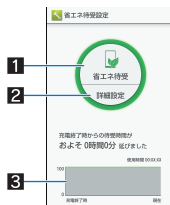
- 電池残量で切替によって[エコ技]が有効になった場合、切替時刻で設定した時刻になっても[エコ技]は無効になりません。
- 電池残量で切替によって[エコ技]が有効になった場合、電池残量が切替電池残量以上になったときに[エコ技]は無効になります。
- 電池残量で切替によって[エコ技]が有効になった場合に[電池残量で切替]を無効にしても[エコ技]は無効になりません。
- 省エネ待受を[ON]にすると、ディスプレイの表示が消えているときにバックグラウンドで動作するアプリを制御します。
- 定期的に通信するアプリは、省エネ待受を[OFF]にしても通信を開始しない場合があります。その場合は該当のアプリで再度設定を行ってください。
- 省エネWiFiを[ON]にすると、アプリによっては相手機器と正常に接続できなくなる場合があります。

省エネ待受設定

ディスプレイの表示が消えているときにバックグラウンドで動作するアプリを制御します。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [省エネ&バッテリー] ▶ [省エネ待受設定]

2 設定する



1 省エネ待受

- 省エネ待受に切り替えます。

2 詳細設定

- 制御するアプリを設定します。

3 電池利用状況

- 電池残量や電池消費量の変化などを、視覚的に確認できます。

便利機能

アプリ使用履歴キーに関する設定や、セルフチェックを行います。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [便利機能]

2 項目を選ぶ

- **アプリ使用履歴キー**: [] をタッチしたときに利用する機能を設定します。アプリ使用履歴キーについてはP.16「機能利用中の操作」
- **セルフチェック**: セルフチェックについてはP.52「セルフチェック」

セルフチェック

端末のセルフチェックを行います。

- 1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [便利機能] ▶ [セルフチェック]
- 2 [チェックスタート] ▶ 項目を選ぶ ▶ [次へ]
 - セーフモードで再起動: [セーフモードで再起動] ▶ [OK]
 - 項目の [?] をタッチすると、診断についてのヘルプが表示されます。
- 3 [次へ]
 - 表示項目の診断開始: [診断開始]
 - 診断の中止: [キャンセル] ▶ [次の項目] / [はい]
 - 診断履歴をタッチすると、結果を確認することができます。

アプリ

アプリの名前やバージョン、メモリの使用状況などの確認、有効/無効の設定、アンインストールなどができます。

- 1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [アプリ]

2 アプリを選ぶ

■ アプリの無効

アプリの動作を停止し、アンインストールせずにアプリシートに表示しないように設定します。

- アンインストールできないアプリを無効にできます。

- 1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [アプリ]

2 アプリを選ぶ ▶ [無効にする] ▶ [OK]

- アプリを無効にすると、無効にされたアプリと連携している他のアプリが正しく動作しない場合があります。その場合は、アプリを有効にしてください。

■ アプリの有効

- 1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [アプリ]

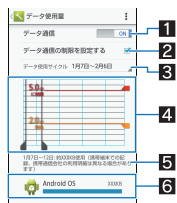
2 アプリを選ぶ ▶ [有効にする]

データ使用量

モバイルネットワーク経由のデータ通信量を測定し、グラフで表示します。また、設定した通信量に達したときに警告を表示したり、それ以上データ通信を行わないように設定したりすることができます。

- 1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [データ使用量]

2 データ通信量を確認する



1 データ通信

- データ通信を利用するか設定します。

2 データ通信の制限を設定する

- データ通信量に制限を設け、制限値に達した場合にデータ通信を停止します。
- データ使用量画面で [] ▶ [バックグラウンド制限] ▶ [OK] でバックグラウンドで動作しているアプリのデータ通信も制限できます。

3 データ使用サイクル

- データ通信量の表示をリセットする日を設定します。

4 グラフ

- データ通信量を表示します。
- 警告ラインや制限ラインを設定することができます。

5 指定期間内のデータ通信量

6 データ通信を使用したアプリ

データの同期

端末とオンラインサービスとの間でデータを同期させることができます。データを同期させると、端末やパソコンからオンラインサービス上の同じ個人情報にアクセスし、データを利用・更新することができます。

■ 自動同期

各アカウントで設定された項目を自動的に同期するか設定します。

- 自動的に同期する項目は、ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ アカウントの種類を選ぶ ▶ アカウントを選ぶと、各項目を設定できます。

- 1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [データ使用量]

2 [] ▶ [データの自動同期] ▶ [OK]

- 本体メモリの電話帳とオンラインサービス上の連絡先を同期する場合、Googleアカウント以外と同期する場合でも、最初にGoogleアカウントを登録してください。

■ 手動同期

- データの自動同期が無効のときは、選択した項目を手動で同期できます。

- 1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ アカウントの種類を選ぶ ▶ アカウントを選ぶ

2 同期する項目を選ぶ

その他

無線とネットワークについて、その他の機能の設定を行います。

- 1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [その他]

2 項目を選ぶ

- **機内モード**: 電話やメールなど、通信を利用する一部の機能を使用できないようにします。
- **デフォルトのSMSアプリ**: SMSを送受信するアプリを設定します。
- **テザリング**: テザリングについては P.21「テザリング」
- **VPN設定**: VPNについて設定します。VPN設定については P.64「VPNの追加」
- **モバイルネットワーク**: 海外で利用するための設定をします。モバイルネットワークについては P.65「海外で利用するための設定」

【機内モード】について

- 通話可能なmicroSIMカードをご使用の場合でも、[SIMカードをロック]が有効のときは、緊急通報番号(110番、119番、118番)に発信できません。[SIMカードをロック]が無効の場合は、機内モード中でも緊急通報番号(110番、119番、118番)に発信できます。緊急通報番号をダイヤルすると、【機内モード】が無効になり、発信を行います。
- 【機内モード】が有効の場合でも、Wi-FiやBluetooth機能を【ON】にすることができます。

位置情報

位置情報の測位について設定します。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶【設定】▶【位置情報】

2 [OFF]を右にスライド

- 「ユーザーの同意」と「位置情報についての同意」の確認画面が表示された場合は、[同意しない]／[同意する]を選択してください。

3 項目を選ぶ

- **モード**: GPS衛星やWi-Fiのアクセスポイント、携帯電話の基地局を利用して位置情報を測位するモードを設定します。
- **Google現在地送信機能**: Googleアカウントに関連付けられた端末の最新の場所データなどをGoogleで定期的に保存し使用するが設定します。また、ロケーション履歴をGoogleで保存するように設定できます。設定する場合は、Googleアカウントを設定しておいてください。
- 最近の位置情報リクエストがある場合は、タッチするとアプリの情報を確認できます。

- 現在地を測位するためには、位置情報を【ON】に設定する必要があります。ご利用のアプリによっては、アプリで位置情報に関する設定が必要な場合があります。

【モード】について

- 設定したモードによっては、端末の消費電力が増加しますので、あらかじめご了承ください。
- 「ユーザーの同意」と「位置情報についての同意」の[同意しない]／[同意する]によって、設定されるモードが異なります。

ロックとセキュリティ

セキュリティロックについて設定します。

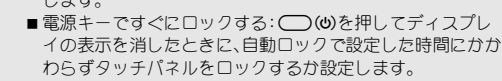
1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶【設定】▶【ロックとセキュリティ】

2 項目を選ぶ

- **画面のロック**: 電源を入れたときやディスプレイを表示させたときのタッチパネルのロック解除方法について設定します。
- **ウィジェットの有効化**: ロック画面へのウィジェット追加を有効にするが設定します。
- **所有者情報**: タッチパネルのロック画面に表示する所有者情報について設定します。
- **アプリケーションロック**: アプリケーションロックについてはP.54「アプリケーションロック」
- **シークレット設定**: シークレット設定についてはP.54「シークレット設定」
- **電話帳アクセスモニター**: 電話帳の情報を使用するアプリやサービスを制限することができます。
- **SIMカードロック設定**: SIMカードロック設定についてはP.54「SIMカードロック設定」

- **端末の暗号化**: 端末の暗号化についてはP.55「端末の暗号化」
- **パスワードを表示**: PINコードなどを入力する際、[.]が表示される前に入力した文字を表示させることができます。
- **デバイス管理機能**: デバイスマンAGERにデバイス管理権限を与えるかどうか設定します。
- **提供元不明のアプリ**: Google Play以外のサイトやメールなどから入手したアプリのインストールを許可します。
- **アプリを確認する**: 損害をもたらす可能性があるアプリのインストールを禁止したり、インストールする前に確認画面を表示するか設定します。
- **ストレージのタイプ**: ストレージのタイプを表示します。
- **安全な認証情報の使用**: 安全な証明書とその他の認証情報へのアクセスを許可します。
- **証明書をインストール**: 暗号化された証明書をインストールします。
- **認証ストレージの消去**: すべての認証情報を削除します。

【画面のロック】について

- Googleアカウントを設定している場合、パターンの入力を5回連続して間違えると、[パターンを忘れた場合]が表示されます。Googleアカウントでログインしてロックを解除し、タッチパネルのロック解除方法を設定し直してください。
- 設定できる項目は次のとおりです。
 - なし: タッチパネルのロック画面を表示しません。
 - スライドまたはタッチ: [.]をスライドしてロックを解除するように設定します。
 - 顔認識(フェイスアンロック): 顔認識機能を利用してロック解除するように設定します。
 - パターン: 4つ以上の点を結ぶパターンを設定します。
 - ロックNo.: 4～16桁の数字を設定します。
 - パスワード: 英字1文字以上を含んだ、4～16桁の英数字と半角記号を設定します。
 - 一部の半角記号は利用できません。
- 画面のロックの設定によって、ロックとセキュリティの次の項目が表示/非表示になります。
 - 顔認識の精度を改善: 顔認証(フェイスアンロック)する場合の顔を読み込み直します。
 - 生体検知: 顔認証(フェイスアンロック)時に、まばたきをするとロック解除できるように設定します。
 - パターンを表示する: パターンの入力時の軌跡を線で表示します。
 - 自動ロック: タッチパネルがロックされるまでの時間を設定します。
 - 電源キーですぐにロックする: を押してディスプレイの表示を消したときに、自動ロックで設定した時間にかかわらずタッチパネルをロックするが設定します。
 - ウィジェットの有効化: ロック画面へのウィジェット追加を有効にするが設定します。

【提供元不明のアプリ】について

- サイトからダウンロードするアプリは情報源が不明な場合もあります。端末と個人データを保護するため、Google Playなど信頼できる情報源からのアプリのみダウンロードしてください。

【安全な認証情報の使用】について

- 証明書を削除した場合、[安全な認証情報の使用]からは証明書の参照ができなくなりませんが、他の機能からは証明書の参照が可能なままとなります。証明書を完全に削除する場合は認証ストレージの消去を行ってください。

【認証ストレージの消去】について

- VPNの設定も削除されます。

アプリケーションロック

- 1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [ロックとセキュリティ] ▶ [アプリケーションロック]
- 2 暗証番号を入力 ▶ [OK]
- 3 項目を選ぶ
 - **パターンを表示する**：指リストの入力時の軌跡を線で表示します。
 - **入力時パズル**：指リスト、暗証番号、パスワードの入力時にパズルを動作させます。
 - **セキュリティキー変更**：セキュリティキー変更については「P.54「セキュリティキー変更」」

● 各制限を設定している場合、一時解除するにはセキュリティキーの入力が必要になります。

シークレット設定

電話帳の連絡先にシークレット属性を設定し、電話帳や通話履歴などに表示させないようにすることができます。

- シークレットモードを一時解除すると、通常の連絡先とシークレット属性設定した連絡先の両方が表示されます。
- シークレットモード一時解除中にディスプレイの表示が消えると、シークレットモードになります。

- 1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [ロックとセキュリティ] ▶ [シークレット設定]
- 2 暗証番号を入力 ▶ [OK]

● シークレットモードが一時解除されます。

3 項目を選ぶ

- **連絡先シークレット設定**：電話帳の連絡先にシークレット属性を設定します。
- **シークレットモード一時解除の設定**：シークレットモード一時解除について設定します。
- **使い方ガイド**：シークレットモード一時解除の方法やシークレット設定した電話帳の連絡先についての説明を表示します。

シークレットモードの一時解除

- 1 ステータスバーを下にドラッグ
- 2 [🔓]をロングタッチ
- 3 暗証番号を入力 ▶ [OK]

本端末で利用する暗証番号

本端末には、便利にお使いいただくための各種機能に、暗証番号の必要なものがあります。用途ごとに上手に使い分けて、本端末を活用してください。

- 各種機能用の暗証番号、PINコード入力時は、[・]で表示されます。

各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」、「電話番号の一部」、「所在地番号や部屋番号」、「1111」、「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一、暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、「保証書に記載のお問い合わせ先」までお問い合わせください。

■ セキュリティキー(各種機能用の暗証番号)

各制限を設定している場合、一時解除するにはセキュリティキーの入力が必要になります。お買い上げ時のセキュリティキーは「暗証番号」(「0000」)に設定されていますが、お客様ご自身で変更できません(P.54「セキュリティキー変更」)。

- セキュリティキーの入力を、5回連続して間違えると30秒間入力ができません。

■ PINコード

PINコードは、第三者によるmicroSIMカードの無断使用を防ぐため、microSIMカードを取り付ける、または本端末の電源を入れるたびに使用者を認識するために入力する4～8桁の暗証番号です。PINコードを入力することにより、発信および端末操作が可能となります。

- 別の端末で利用していたmicroSIMカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPINコードをご利用ください。
- PINコードの入力を3回連続して間違えると、PINコードがロックされて使えなくなります。この場合は、「PINロック解除コード」でロックを解除してください。

■ PINロック解除コード(PUKコード)

PINロック解除コードは、PINコードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、お客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を、10回連続して間違えるとmicroSIMカードが完全にロックされます。その場合は、microSIMカードの販売元までお問い合わせください。

セキュリティキー変更

- 1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [ロックとセキュリティ] ▶ [アプリケーションロック]
- 2 暗証番号を入力 ▶ [OK] ▶ [セキュリティキー変更]

3 項目を選ぶ

- **指リスト**：4つ以上の点を結ぶパターンを設定します。
- **暗証番号**：4～16桁の数字を設定します。
- **パスワード**：英字1文字以上を含んだ、4～16桁の英数字と半角記号を設定します。

SIMカードロック設定

PINコードについて設定します。

- 1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [ロックとセキュリティ] ▶ [SIMカードロック設定]
- 2 項目を選ぶ
 - **SIMカードをロック**：電源を入れたときにPINコードを入力するが設定します。
 - **SIM PINの変更**：PINコードを変更します。

- 日本国内では通話可能なmicroSIMカードを取り付けていない場合やPINコードロック中、PINロック解除コードの入力画面では緊急通報番号(110番、119番、118番)に発信できません。
- 設定は通話可能なmicroSIMカードに保存されます。

PINロックの解除

- 1 PINロック中画面でPINロック解除コードを入力
- 2 新しいPINコードを入力
- 3 もう一度、新しいPINコードを入力

端末の暗号化

端末内のデータを暗号化します。

- 端末の暗号化を行うと電源を入れるたびにストレージ復号化のパスワード入力画面が表示されます。画面のロックで設定したロックNo.またはパスワードを入力してください。
- 端末の暗号化を解除するには、オールリセットを行う必要があります(☞P.55「オールリセット」)。
- 電池を十分に充電した状態で、充電しながら操作してください。
- あらかじめ画面のロックをロックNo.またはパスワードに設定しておいてください(☞P.53「ロックとセキュリティ」)。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [ロックとセキュリティ] ▶ [端末の暗号化]

2 [携帯端末を暗号化] ▶ ロックNo./パスワードを入力 ▶ [次へ]

3 [携帯端末を暗号化]

- ストレージ復号化のパスワード入力画面では緊急通報番号(110番、119番、118番)に発信できません。
- 端末の暗号化が中断された場合、端末内のデータがすべて削除されますので、ご注意ください。
- ストレージ復号化の際、ロックNo./パスワードの入力を10回および20回連続して間違えると、30秒間入力ができません。30回連続して間違えると、端末が初期化されますので、ご注意ください。

言語と文字入力

画面に表示される言語や、文字入力、テキスト読み上げなどについて設定します。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [言語と文字入力]

2 項目を選ぶ

- 現在選択中のキーボード: 文字入力時に使用する入力ソフトを設定します。
- Googleキーボード: Googleキーボードについて設定します。
- iWnn IME - SH edition: iWnn IME - SH editionについて設定します。設定できる各項目の詳細については☞P.18「文字入力の設定」
- Google音声入力: Google音声入力を利用するか設定します。
- 言語(Language)を選択: 日本語表示/英語表示を選択します。
- 音声入力の設定: 音声入力について設定します。
- テキスト読み上げの出力: 端末に表示される文字を読み上げる音声について設定します。
- スペルチェッカー: スペルチェッカーを利用するか設定します。
- ユーザー辞書: 任意の単語をユーザー辞書に登録し、Googleキーボードでの文字入力時に、変換候補として表示させます。
- ポインタの速度: ポインタの速度を設定します。
- 送信時文字コード設定: アプリからデータ送信するときの文字コードを設定します。
- [🔍]をタッチすると各項目の詳細を設定できます。

- テキスト読み上げは、音声データやユーザー補助オプションなどをダウンロードすることで利用できるようになります。
- お買い上げ時にインストールされている音声データに日本語のデータは含まれません。

キーボードについて

- 日本語を入力するときはiWnn IME - SH editionを利用してください。

[スペルチェッカー]について

- 日本語には対応しておりません。

バックアップとリセット

オールリセットやデータの引き継ぎを行います。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [バックアップとリセット]

2 項目を選ぶ

- データのバックアップ: アプリのデータやWi-Fiパスワードなどを自動的にバックアップするか設定します。
- バックアップアカウント: 情報がバックアップされているGoogleアカウントを表示します。
- 自動復元: アプリを再インストールしたときに設定などのデータを復元するか設定します。
- オールリセット: オールリセットについては☞P.55「オールリセット」
- データ引継: データ引継については☞P.55「データ引継」

オールリセット

本体メモリ内のすべてのデータを消去します。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [バックアップとリセット] ▶ [オールリセット]

2 [携帯端末をリセット] ▶ 暗証番号を入力 ▶ [OK] ▶ [すべて消去]

- [microSD内データも消去する]を有効にすると、microSDカード内のデータも同時に消去されます。

- 消去されるデータは次のとおりです。

- 作成、保存、登録したデータ
- [設定]アプリで設定した内容
- ダウンロードしたアプリ

データ引継

microSDカードを利用してデータを取り込んだり、本端末のデータをバックアップ/復元することができます。また、別の端末の電話帳データをBluetooth機能を利用して取り込むこともできます。

- microSDカードにバックアップ/復元できるデータは次のとおりです。
 - 電話帳
 - SMS
 - ブックマーク
 - スケジュール
 - メモ帳
 - ユーザー辞書/学習辞書(iWnn IME - SH edition)
- microSDカードにバックアップ中は[機内モード]が有効になります。
- 本体メモリの空き容量が11Mバイト未満のときは、microSDカードにバックアップできません。
- microSDカードを利用する場合は、あらかじめmicroSDカードを挿入しておいてください。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [バックアップとリセット] ▶ [データ引継]

- ホーム画面にデスクトップシートを表示 ▶ [データ引継]でも起動できます。

2 項目を選ぶ

- **データ取り込み**: microSDカードやBluetooth機能を利用してデータを取り込みます。
- **microSDにデータ保存**: microSDカードにデータを保存します。
- **機能紹介**: 使いかたを確認することができます。

■ バックアップファイルの保存

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [バックアップとリセット] ▶ [データ引継]

2 [microSDにデータ保存] ▶ 暗証番号を入力 ▶ [OK]

3 保存するデータカテゴリを選ぶ

- [電話帳]を選択した場合は保存するアカウントの選択画面が表示されます。

4 [保存] ▶ [はい]

5 [完了]

- 電池残量が少ないときは保存できません。

■ バックアップファイルの読み込み

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [バックアップとリセット] ▶ [データ引継]

2 [データ取り込み] ▶ [取り込む] ▶ 暗証番号を入力 ▶ [OK]

3 読み込むバックアップファイルを選ぶ

4 [追加登録] / [削除して登録]

- 確認画面が表示されます。以降は画面の指示に従って操作してください。

- 電池残量が少ないときは読み込みできません。

- ユーザー辞書/学習辞書 (iWnn IME - SH edition) を読み込む場合、[追加登録]を選択しても、本体メモリに保存されているユーザー辞書/学習辞書 (iWnn IME - SH edition) のデータが削除されますので、ご注意ください。

■ バックアップファイルの設定・管理

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [バックアップとリセット] ▶ [データ引継] ▶ [設定] ▶ [設定]

2 項目を選ぶ

- **バックアップファイルの整理**: 保存されているバックアップデータを削除できます。
- **電話帳画像バックアップ**: 電話帳のバックアップ時に電話帳に登録された画像もバックアップするか設定します。
- **結果画面閲覧**: 最新のバックアップファイルの保存/読み込みの結果を表示します。

■ Bluetooth機能を利用して電話帳データを取り込む

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [バックアップとリセット] ▶ [データ引継] ▶ [データ取り込み]

2 取り込み元の端末の種類を選ぶ

- microSDカードのバックアップデータを利用するかの画面が表示された場合は、[スマートフォンから電話帳データを取り込む]を選択してください。

3 [次へ]

4 取り込み元の端末でBluetooth機能をONにする ▶ [次へ]

5 取り込み元の端末を選ぶ ▶ [開始]

- ペア設定の確認画面が表示された場合は[ペア設定する]を選択してください。
- 取り込み元の端末がAndroidの場合は、取り込み元の端末が本端末に表示されるように、取り込み元の端末を設定してください。

6 [次へ]

7 [追加登録] / [削除して登録] ▶ [OK]

- アカウントが複数ある場合は登録するアカウントの選択画面が表示されます。

8 [OK]

日付と時刻

日時の設定や表示形式について設定します。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [日付と時刻]

2 項目を選ぶ

- **日付と時刻の自動設定**: 日時を自動的に補正するか設定します。
- **タイムゾーンの自動設定**: ネットワークから提供されたタイムゾーンを利用するか設定します。
- **日付設定**: 日付を手動で設定します。
- **時刻設定**: 時刻を手動で設定します。
- **タイムゾーンの選択**: タイムゾーンを手動で設定します。
- **24時間表示**: 12時間制/24時間制を切り替えます。
- **日付形式の選択**: 日付の表示形式を設定します。

[日付と時刻の自動設定]を有効にしたとき


- 電源を入れてもしばらく時刻が補正されない場合は、電源を入れ直してください。
- 電波状況によっては時刻を補正できないことがあります。
- 数秒程度の誤差が生じることがあります。

ユーザー補助


ユーザー補助オプションについて設定します。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [ユーザー補助]

2 項目を選ぶ

- **字幕**: 字幕の表示について設定します。
- **拡大操作**: ディスプレイを3回タップして拡大/縮小するか設定します。
- **大きい文字サイズ**: 端末に表示される文字のサイズを大きくするか設定します。
- **電源キーで通話を終了**: を押して通話を終了するか設定します。
- **画面の自動回転**: 端末を左右に90度回転させたとき、画面の縦/横表示を切り替えるか設定します。
- **パスワードの音声出力**: パスワードの音声出力を利用するか設定します。
- **ユーザー補助のショートカット**: ユーザー補助機能をすばやく有効にできるようにするか設定します。
- **テキスト読み上げの出力**: 端末に表示される文字を読み上げる音声について設定します。
- **押し続ける時間**: ロングタッチする時間を設定します。

[タッチパネル補正]について

- [画面に触れないでください]が表示されている間はタッチパネル(ディスプレイ)やに触れないようにしてください。タッチパネル全体の感度補正をしていますので、補正に失敗することがあります。

[センサー感度補正]について

- 補正画面が表示され、約10秒経過してから補正を行ってください。
- 補正を行う環境や同時に起動しているアプリによっては、補正に失敗することがあります。補正を行う場所を変えるか、起動中のアプリを終了させるなどしてください。

印刷

印刷用アプリ(プラグイン)をインストールすると、印刷機能に対応したアプリで印刷することができます。インストールした印刷用アプリ(プラグイン)の設定を変更する場合は、次の操作を行ってください。

- あらかじめ利用するプリンターに対応した印刷用アプリ(プラグイン)をインストールしておいてください。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [印刷]

2 印刷サービスを選ぶ

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

端末情報

端末情報の確認ができます。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [端末情報]

2 項目を選ぶ

- **ビルド番号**: ビルド番号を確認できます。
- **端末の状態**: 電池残量や利用中のネットワークなどを確認できます。
- **タッチパネル補正**: タッチパネルを補正します。
- **センサー感度補正**: モーションセンサー、地磁気センサーの取得精度を補正します。
- **ソフトウェア更新**: ソフトウェア更新についてはP.69「ソフトウェア更新」
- **法的情報**: 著作権情報や利用規約などを確認できます。
- **認証**: 技術基準適合証明書などの情報を確認できます。
- **モデル番号**: モデル番号を確認できます。
- **Androidバージョン**: Androidバージョンを確認できます。
- **ベースバンドバージョン**: ベースバンドバージョンを確認できます。
- **カーネルバージョン**: カーネルバージョンを確認できます。

ストレージ構成

本体メモリ(内部ストレージ)

お買い上げ時の本体メモリのフォルダ構成と、各フォルダに保存されるデータの種類などは次のとおりです。

Alarms	アラーム音などが保存されます。
Android	インストールしたアプリの一時ファイルなどが保存されます。
DCIM	端末で撮影した静止画や動画が保存されます。
Download	ブラウザでダウンロードしたファイルが保存されます。
Movies	動画などが保存されます。
Music	音楽データなどが保存されます。
Notifications	お知らせ音などが保存されます。
Pictures	静止画などが保存されます。
Podcasts	ポッドキャストから取り込んだ音楽データなどが保存されます。
PRIVATE	静止画や動画、音楽データなどが保存されます。
Ringtones	着信音などが保存されます。

microSDカード(外部ストレージ)

端末内のデータをmicroSDカードに保存したり、microSDカード内のデータを端末に取り込んだりすることができます。

- SH-M01では市販の2GB/バイトまでのmicroSDカード、32GB/バイトまでのmicroSDHCカードに対応しています。また、スピードクラス※は最大Class10まで使用できます(2014年11月現在)。
※ スピードクラスはmicroSDカードの性能であり、スピードクラスの性能のすべての動作を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。
microSDカードの情報については、次のサイトをご覧ください。
http://k-tai.sharp.co.jp/support/other/shm01/peripherals.html#/microsd_support
- 利用できるファイルのサイズは、1ファイル2GB/バイトまでです。
- 端末にmicroSDカードを挿入した直後(端末で使用するための情報を書き込み中)や、microSDカード内のデータ編集時に電源を切らないでください。データが壊れることや正常に動作しなくなることがあります。
- 初期化されていないmicroSDカードを使うときは、端末で初期化する必要があります(☞P.50「ストレージ」)。パソコンなどで初期化したmicroSDカードは、端末では正常に使用できないことがあります。
- 他の機器からmicroSDカードに保存したデータは、端末で表示、再生できないことがあります。また、端末からmicroSDカードに保存したデータは、他の機器で表示、再生できないことがあります。

- microSDカードに保存されたデータはバックアップを取るなどして別に保管してくださるようお願いいたします。万が一、保存されたデータが消失または変化しても、当社としては責任を負い兼ねますので、あらかじめご了承ください。
- microSDカードの取り付け/取り外し(マウント解除後を含む)は、電源を切って、背面を上向きにし、リアカバーを取り外してから行ってください(☞P.12「取り外しかた」)。端末は手でしっかり持って、あらかじめデータが壊れることや正常に動作しなくなることがあります。取り付け/取り外しが終わったら、リアカバーを取り付けてください(☞P.13「取り付けかた」)。
- 端末の電源を入れると、microSDカードの着脱に関しての注意事項が毎回表示されます。

■ 取り付けかた

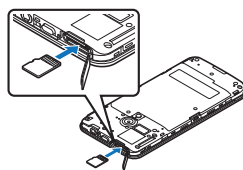
1 microSDカード/microSDカードスロットカバーを開く(☞P.13「取り付けかた」)

2 microSDカードの金属端子面を上に向けて、microSDカードスロットにゆっくりと挿入する

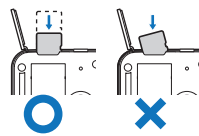
- microSDカードスロットは、microSIMカードスロットの下にあります。microSIMカードを取り付ける前にmicroSDカードを挿入する場合、誤ってmicroSIMカードスロットに挿入しないようにご注意ください。



- 「カチッ」と音がするまで、ゆっくり指で押し込んでください。



- microSDカードが傾いた状態や、表裏が逆の状態無理に押し込まないでください。microSDカードスロットが破損することがあります。



3 microSDカード/microSDカードスロットカバーを閉じる(☞P.13「取り付けかた」)

■ 取り外しかた

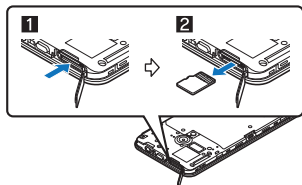
1 microSIMカード／microSDカードスロットカバーを開く(☞P.13「取り付けかた」)

2 microSDカードを軽く押し込む(1)

- 「カチッ」と音がするまで押し込んでください。microSDカードが手前に飛び出します。無理に引き抜くと、端末やmicroSDカードを破損させる恐れがあります。

3 microSDカードを取り外す(2)

- ゆっくりとまっすぐに取り外してください。



4 microSIMカード／microSDカードスロットカバーを閉じる(☞P.13「取り付けかた」)

コンテンツマネージャー

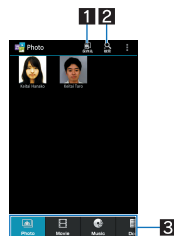
本体メモリまたはmicroSDカードに保存されたデータを管理し、種類ごとに分類して表示します。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[コンテンツマネージャー]

- ホーム画面にアプリシートを表示▶[SHツール]▶[おすすめ]▶[コンテンツマネージャー]でも起動できます。

2 データを選ぶ

- 対応するアプリがインストールされている場合、データを選択すると表示することができます。
- 対応するアプリが複数インストールされている場合、アプリ選択画面が表示されることがあります。アプリを選択すると表示します。



1 保存先

- 選択した保存先にあるデータを表示できます。

2 データ検索

- 検索条件を選んで、本体メモリまたはmicroSDカード内のデータを検索できます。

3 カテゴリ

- 選択したカテゴリのデータが表示されます。

カテゴリ	表示されるデータ
Photo	端末で撮影した静止画やダウンロードした画像
Movie	端末で撮影した動画やダウンロードした動画
Music	端末で録音したデータやメロディ
Doc.	Office系データ(.doc,.xls,.ppt,.docx,.xlsx,.pptx,.csv)、PDFデータ、Textファイル
Others	その他のデータ

- 左右にスライドするとカテゴリの表示を切り替えることができます。

Bluetooth機能

端末とBluetooth機器をワイヤレスで接続できます。

- すべてのBluetooth機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。

仕様

■ 対応バージョン

Bluetooth標準規格 Ver.4.0^{※1}

■ 出力

Bluetooth標準規格 Power Class 2

■ 対応プロファイル^{※2} (対応サービス)

HSP: Headset Profile (ヘッドセットプロファイル)^{※3}

HFP: Hands Free Profile (ハンズフリープロファイル)^{※4}

A2DP: Advanced Audio Distribution Profile (アドバンスドオーディオディストリビューションプロファイル)^{※5}

AVRCP: Audio/Video Remote Control Profile (オーディオ/ビデオリモートコントロールプロファイル)^{※5}

HID: Human Interface Device Profile (ヒューマンインターフェイスデバイスプロファイル)^{※6}

OPP: Object Push Profile (オブジェクトプッシュプロファイル)^{※7}

SPB: Serial Port Profile (シリアルポートプロファイル)^{※8}

PBAP: Phone Book Access Profile (フオンブックアクセスプロファイル)^{※9}

PAN: Personal Area Networking Profile (パーソナルエリアネットワークワークプロファイル)^{※10}

HDP: Health Device Profile (ヘルスデバイスプロファイル)^{※11}

PXP: Proximity Profile (プロキシミティプロファイル)^{※12}

FMP: Find Me Profile (ファインドミープロファイル)^{※13}

ANP: Alert Notification Profile (アラート通知フィケーションプロファイル)^{※14}

PASP: Phone Alert Status Profile (フォンアラートステータスプロファイル)^{※15}

TIP: Time Profile (タイムプロファイル)^{※16}

- ※1 端末およびすべてのBluetooth機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることを確認し、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なる場合や、接続してもデータのやりとりができない場合があります。
- ※2 Bluetooth機器の通信手順を製品の特性ごとに標準化したものです。
- ※3 端末に市販のBluetooth対応ヘッドセットをBluetooth接続すると、ワイヤレスで通話できます。
- ※4 端末にカーナビなど市販のBluetooth対応ハンズフリー機器をBluetooth接続すると、カーナビなどを利用してハンズフリー通話できます。
- ※5 端末に市販のBluetooth対応オーディオ機器をBluetooth接続すると、ワイヤレスで音楽やワンセグの音声などを再生できます。また、Bluetooth機器からリモコン操作できる場合もあります。ただし、データの種類によっては対応する機器が制限されます。
- ※6 端末にキーボードやマウスなど市販のBluetooth対応入力デバイスをBluetooth接続すると、Bluetooth機器から端末を操作できます。
- ※7 端末にBluetooth機器をファイル転送サービスで接続すると、Bluetooth機器との間でデータの送受信を行うことができます。
- ※8 仮想的なシリアルケーブル接続を設定し機器間を相互接続することができます。

- ※9 Bluetooth機器に本体メモリの電話帳データを転送することができます。電話帳データの内容によっては、相手のBluetooth機器で正しく表示されない場合があります。
- ※10 パソコンなどのネットワークに参加し、インターネット接続を共有することができます。また、端末にパソコンなどをBluetooth接続すると、Bluetoothテザリングを行うこともできます。
- ※11 体重計などの市販のBluetooth対応健康器具とデータ通信を行うことができます。
- ※12 Bluetooth機器との距離が離れてBluetooth接続が切断されたときに、Bluetooth機器を鳴動させたり振動させたりすることができます。
- ※13 端末/Bluetooth機器を操作して、端末/Bluetooth機器を鳴動させたり振動させたりすることができます。
- ※14 Bluetooth機器に着信や新着メールなどを通知することができます。
- ※15 Bluetooth機器を操作して、端末の着信音やバイブレータを停止することができます。
- ※16 Bluetooth機器の時刻を端末の時刻と同期することができます。

- Bluetooth機器の取扱説明書もご覧ください。
- SCMS-T非対応のBluetooth機器では、ワンセグなどの音声が出力できない場合があります。

Bluetooth機器取り扱い上のご注意

Bluetooth機器を利用するときは、次の事項にご注意ください。

- 良好な接続を行うために、次の点にご注意ください。
 - 端末と他のBluetooth機器とは、見通し距離約10m以内で接続してください。間に障害物がある場合や、周囲の環境(壁、家具など)、建物の構造によっては接続可能距離が短くなり、ます。特に鉄筋コンクリートの建物の場合、上下の階や左右の部屋など鉄筋の入った壁を挟んで設置したときは、接続できないことがあります。上記接続距離を保証するものではありませんので、ご了承ください。
 - 電気製品、AV機器、OA機器などからなるべく離して接続してください。電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、できるだけ離れてください。近づいていると、他の機器の電源が入っているときは、正常に接続できなかったり、テレビやラジオの雑音や受信障害の原因になったりすることがあります。
 - 放送局や無線機などが近くにあり正常に接続できないときは、接続相手のBluetooth機器の使用場所を変えてください。周囲の電波が強すぎると、正常に接続できないことがあります。
 - Bluetooth機器をかばんやポケットに入れたままでもワイヤレス接続できます。ただし、Bluetooth機器と端末の間に身体を挟むと、通信速度の低下や雑音の原因になることがあります。
- Bluetooth機器が発信する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所では端末の電源および周囲のBluetooth機器の電源を切ってください。
 - 電車内
 - 航空機内
 - 病院内
 - 自動ドアや火災報知機から近い場所
 - ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所

Wi-Fi対応機器との電波干渉について

- Bluetooth機器と無線LAN(IEEE802.11b/g/n)は同一周波数帯(2.4GHz)を使用するため、無線LANを搭載した機器の近くで使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下や雑音、接続不能の原因になることがあります。この場合、無線LANの電源を切るか、端末や接続相手のBluetooth機器を無線LANから約10m以上離してください。

Bluetooth機能の利用

- Bluetooth機器の登録・接続には、Bluetooth/パスキーの入力が必要な場合があります。登録を始める前にお好きな1～16桁の数字を決めておき、端末・相手のBluetooth機器で同じ数字を入力してください。
- あらかじめ相手のBluetooth機器を登録待機状態にしておいてください。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [Bluetooth]

2 [OFF]を右にスライド

3 Bluetooth機器を選ぶ ▶ [ペア設定する]

- 接続確認画面が表示される場合があります。
- 相手のBluetooth機器によっては、Bluetooth/パスキーを入力する場合があります。また、登録完了後、続けて接続まで行う場合があります。
- 他のBluetooth機器に表示/非表示: [SH-M01]
 - 表示のタイムアウトで設定した時間が経過すると、自動的に非表示になります。
- Bluetooth機器を検索: [デバイスの検索]
- ペア設定済みのBluetooth機器の[🔗]をタッチして相手のBluetooth機器の名前や接続種別を変更できます。

- 最大7台まで同時に接続できます。プロファイルによっては、正しく動作しない場合や、同時に接続できる機器数が異なる場合があります。
- 接続に失敗する場合、Bluetooth機器を再登録すると接続できるようになる場合があります。
- Bluetooth機能を[ON]にすると、他のBluetooth機器からの登録要求/接続要求を受けられる状態になります。他のBluetooth機器から検索できるようにするには、あらかじめ他のBluetooth機器に表示されるよう設定しておいてください。
- 接続待機中、Bluetooth機器からの接続要求を受けても、電波状況などにより接続できないことがあります。
- 相手のBluetooth機器の操作方法の詳細は、ご使用になるBluetooth機器の取扱説明書をお読みください(ご覧になる取扱説明書によっては、「検索」の代わりに「探索」または「サーチ」、「ペア設定」の代わりに「ペアリング」または「機器登録」などと表記されています)。

Bluetooth機器からの登録要求や未登録のBluetooth機器からの接続要求を受けた場合

1 Bluetooth機器からの登録要求/接続要求

2 ステータスバーを下にドラッグ ▶ [ペア設定リクエスト] ▶ [ペア設定する]

- ペア設定の確認画面が表示された場合は[ペア設定する]を選択してください。
- 相手のBluetooth機器によっては、Bluetooth/パスキーの入力をする場合もあります。
- 接続確認画面が表示される場合があります。

Bluetooth機器の登録解除

1 Bluetooth画面で登録を解除するBluetooth機器の[🔗] ▶ [ペアを解除]

Bluetooth機器の接続解除

1 Bluetooth画面で接続を解除するBluetooth機器を選ぶ ▶ [OK]

Bluetoothの設定

- Bluetooth機能を[ON]にしてから設定してください。

1 Bluetooth画面で[☰]

2 項目を選ぶ

- **端末の名前を変更**: 本端末の名称を変更します。
- **表示のタイムアウト**: 他のBluetooth機器に表示される時間を設定します。
- **aptX**: aptX®を利用する力設定します。
- **BT Smart設定の無効化**: BT Smart設定の有効/無効を設定します。
- **受信済みファイルを表示**: Bluetooth通信のデータ受信履歴を表示します。

[aptX]について

- [aptX]を有効にすると、Bluetooth機器によっては音声が出られないことがあります。その場合は[aptX]を無効にしてください。

Bluetooth通信送受信

■ データを送信

例: 静止画のとき

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [コンテンツマネージャー] ▶ [Photo]

2 静止画をロングタッチ ▶ [共有] ▶ [Bluetooth]

- 受信側のBluetooth機器を受信待ち状態にします。

3 接続するBluetooth機器を選ぶ

■ データを受信

1 送信側のBluetooth機器からデータ送信

2 ステータスバーを下にドラッグ ▶ 着信通知を選ぶ ▶ [承諾]

3 ステータスバーを下にドラッグ ▶ 受信したデータを選ぶ

- 全件受信時に[削除して登録]を選択すると、登録していた該当機能のデータがすべて削除されますので、ご注意ください。
- データの種類によっては、全件受信できないことがあります。
- 受信中に保存先の空き容量が不足した場合は、それまでに受信したデータを保存し、受信を終了します。

Bluetooth Smart機器との接続

Bluetooth Smart機器と接続すると、端末を操作してBluetooth Smart機器を呼び出したり、電話着信やメール受信をBluetooth Smart機器に通知したりすることができます。

■ このデバイスを呼び出す

Bluetooth Smart機器と接続している場合、端末を操作してBluetooth Smart機器を鳴動させたり振動させたりすることができます。

1 Bluetooth画面で接続済みのBluetooth Smart機器の[🔍]▶[このデバイスを呼び出す]

2 通知方法を選ぶ

- FMP (Find Me Profile) 対応のBluetooth Smart機器でのみご利用いただけます。

■ 詳細設定

Bluetooth Smart機器と接続している場合の動作について設定することができます。

1 Bluetooth画面で接続済みのBluetooth Smart機器の[🔍]▶[詳細設定]

2 項目を選ぶ

- **電話着信通知**: 電話着信時にBluetooth Smart機器に通知するか設定します。
- **メール着信通知**: メール受信時にBluetooth Smart機器に通知するか設定します。
- **アラーム通知**: アラーム鳴動時にBluetooth Smart機器に通知するか設定します。
- **スケジュール通知**: カレンダーのスケジュール通知をBluetooth Smart機器に通知するか設定します。
- **時刻変更通知**: Bluetooth Smart機器の時刻を本端末と同期させるか設定します。
- **リンクロス時の通知**: Bluetooth接続が一時的に切断された場合の通知について設定します。

パソコンとの接続

端末とパソコンの接続方法

1 市販のmicroUSB接続ケーブルのmicroUSBプラグを、端末の外部接続端子に水平に差し込む

- microUSBプラグの向き(表裏)をよく確かめ、水平に差し込んでください。

2 microUSB接続ケーブルのUSBプラグをパソコンのUSBコネクタに水平に差し込む

- USB接続のモードについてはP.51「USB接続」

- USBケーブルはmicroUSB接続ケーブルをご利用ください。パソコン用のUSBケーブルはプラグ部の形状が異なるため使用できません。
- USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。
- パソコンとデータのやりとりをしているときは、microUSB接続ケーブルを取り外さないでください。データが壊れることがあります。
- 接続可能なパソコンのOSは、Windows Vista、Windows 7、Windows 8、Windows 8.1(いずれも日本語版)です。

microSDリーダーライター

microSDカードを、パソコンの外部メモリとして使用できます。

- あらかじめmicroSDカードを挿入し、USB接続のモードを[カードリーダーモード]に設定しておいてください(P.51「USB接続」)。

1 端末をmicroUSB接続ケーブルでパソコンに接続する

- USBマスタートレージ画面が表示されます。表示されない場合は、ステータスバーを下にドラッグして[USB接続]を選択してください。

2 [USBストレージをONにする]

- 確認画面が表示された場合は内容を確認し、[OK]を選択してください。

3 microSDリーダーライターとして利用する

4 利用が終わったら、パソコンでハードウェアの安全な取り外しを行う

5 [USBストレージをOFFにする]

6 microUSB接続ケーブルを端末とパソコンから取り外す

- microSDリーダーライターとして利用中は、アプリでmicroSDカードを利用できません。また、アプリでmicroSDカードを利用中は、microSDリーダーライターとして利用できない場合があります。

データ転送

パソコンから本体メモリまたはmicroSDカードにデータを転送することができます。

- あらかじめUSB接続のモードを[MTPモード]または[PTPモード]に設定しておいてください(P.51「USB接続」)。

1 端末をmicroUSB接続ケーブルでパソコンに接続する

2 データを転送する

3 利用が終わったら、microUSB接続ケーブルを端末とパソコンから取り外す

プリントアプリによる印刷

Canon製またはEPSON製のWi-Fi対応プリンターでブラウザ画面や画像を印刷することができます。

- 対応するWi-Fi対応プリンターなど詳細については、次のサイトをご覧ください。
Canon: <http://cweb.canon.jp/pixus/index.html>
EPSON: <http://www.epson.jp/products/colorio/>
- Wi-Fi対応プリンターの操作方法は、Wi-Fi対応プリンターの取扱説明書をご覧ください。
- あらかじめWi-Fiを[ON]にし、Wi-Fi対応プリンターと同じアクセスポイントに接続しておいてください(P.20「Wi-Fiの設定」)。
- 印刷できる画像のファイル形式はJPEG、BMP、PNGです。ファイル形式により、利用できるプリンターが異なります。

プリントアプリによる印刷の設定

■ Canon製Wi-Fi対応プリンターの設定

- #### 1 ブラウザ画面／アルバムの画像表示画面で[]
- ▶ [プリントアプリで印刷] ▶ [Canon製Wi-Fi対応プリンター]
 - 使用許諾についての確認画面が表示された場合は内容を確認し、[同意する]を選択してください。
 - ブラウザ画面の場合は[プリント] ▶ 印刷範囲を選択 ▶ [OK]で印刷範囲を設定してください。

2 各項目を設定

- **プリンター**: プリンターを設定します。
- **用紙設定**: 用紙の種類を設定します。
- **部数設定**: 印刷部数を設定します。

3 [プリント]

■ EPSON製Wi-Fi対応プリンターの設定

- #### 1 ブラウザ画面／アルバムの画像表示画面で[]
- ▶ [プリントアプリで印刷] ▶ [EPSON製Wi-Fi対応プリンター]
 - 使用許諾についての確認画面が表示された場合は内容を確認し、[OK]を選択してください。

2 各項目を設定

- **プリンター**: プリンターを設定します。
- **用紙サイズ**: 用紙サイズを設定します。
- **用紙種類**: 用紙の種類を設定します。
- **レイアウト**: レイアウトを設定します。
- **印刷品質**: 印刷品質を設定します。
- **印刷部数**: 印刷部数を設定します。
- **印刷範囲**: 印刷範囲を設定します。ブラウザ画面の場合のみ設定できます。
- **その他の設定**: 給紙装置やカラー、両面印刷などの設定を行います。

3 [完了]

印刷

■ Canon製Wi-Fi対応プリンターで印刷

- あらかじめCanon製Wi-Fi対応プリンターの設定を行っておいてください(☞P.63「Canon製Wi-Fi対応プリンターの設定」)。

1 ブラウザ画面／アルバムの画像表示画面で[]

- ▶ [プリントアプリで印刷] ▶ [Canon製Wi-Fi対応プリンター]

2 [プリント]

- ブラウザ画面の場合は[プリント] ▶ 印刷範囲を選択 ▶ [OK]で印刷範囲を設定してください。

■ EPSON製Wi-Fi対応プリンターで印刷

- あらかじめEPSON製Wi-Fi対応プリンターの設定を行っておいてください(☞P.63「EPSON製Wi-Fi対応プリンターの設定」)。

1 ブラウザ画面／アルバムの画像表示画面で[]

- ▶ [プリントアプリで印刷] ▶ [EPSON製Wi-Fi対応プリンター]

- 設定の変更: [] ▶ 各項目を設定 ▶ [完了]

2 [印刷]

- ブラウザ画面を印刷した場合、ブラウザの表示内容と実際の印刷内容が異なることがあります。

USBホスト機能

本端末にはUSBホスト機能が搭載されています。市販の周辺機器接続用USBケーブルを外部接続端子に接続することでマウスなどのUSB機器を利用できます。

- USBホスト機能について詳しくは、周辺機器接続用USBケーブルやUSB機器の取扱説明書をご覧ください。

- すべてのUSB機器との接続を保証するものではありません。
- 電池残量が少なくなったり、端末の温度が低下したりするとUSB機器の接続を解除します。
- USBホスト機能の利用中は端末の動作が遅くなる場合があります。
- 消費電力の大きなUSB機器を接続する場合、端末の動作状態や電池残量、周囲温度によっては自動的に端末の電源が切れることがあります。

USBメモリの取り外しについて

- USBメモリの取り外しは、USBメモリをマウント解除してから行ってください(☞P.50「ストレージ」)。データが壊れることや正常に動作しなくなることがあります。

VPN(仮想プライベートネットワーク)

VPNの追加

VPN(Virtual Private Network)とは、外出先などから自宅のパソコンや社内のネットワークに仮想的な専用回線を用意し、安全にアクセスできる接続方法です。

- 端末からVPN接続を設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を入手してください。
- あらかじめ画面のロックをパターン、ロックNo.、またはパスワードに設定しておいてください(☞P.53「ロックとセキュリティ」)。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [その他] ▶ [VPN設定] ▶ [+]

2 各項目を設定 ▶ [保存]

VPNの接続

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [その他] ▶ [VPN設定]

2 接続するVPNを選ぶ

3 VPNの接続情報を入力 ▶ [接続]

VPNの切断

1 ステータスバーを下にドラッグ ▶ VPN有効化の通知をタッチ

2 [切断]

海外でご利用になる前の確認事項

■ ご出発前の確認

海外でご利用いただく際は、日本国内で次の確認をしてください。

■ ご契約／料金について

- 通話可能なmicroSIMカードをご使用の場合に利用できます。詳細はmicroSIMカードの販売元までお問い合わせください。

海外で利用するための設定

お買い上げ時は、自動的に利用できるネットワークを検出して切り替えるように設定されています。手動でネットワークを切り替える場合は、次の操作で設定してください。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [その他] ▶ [モバイルネットワーク]

2 項目を選ぶ

- **データ通信を有効にする**: データ通信を利用するか設定します。
- **データローミング**: データローミングについてはP.65「データローミング」
- **優先ネットワークタイプ**: 優先ネットワークタイプについてはP.65「優先ネットワークタイプ」
- **アクセスポイント名**: アクセスポイントを設定します。
- **通信事業者**: 通信事業者についてはP.65「通信事業者」

データローミング

ローミング時にデータ通信を利用するか設定します。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [その他] ▶ [モバイルネットワーク] ▶ [データローミング]

- 確認画面が表示された場合は内容を確認し、[OK]を選択してください。

優先ネットワークタイプ

使用するネットワークを設定します。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [その他] ▶ [モバイルネットワーク] ▶ [優先ネットワークタイプ]

2 項目を選ぶ

- **LTE/3G**: LTE/3Gネットワークを利用します。
- **3G**: 3Gネットワークを利用します。

通信事業者

ネットワークを検索して利用する通信事業者を設定します。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [その他] ▶ [モバイルネットワーク] ▶ [通信事業者]

- データ通信の確認画面が表示された場合は内容を確認し、[OK]を選択してください。
- ネットワークの検索が行われ、通信事業者の一覧が表示されます。
- ネットワークの検索でエラーが発生する場合は、[データ通信を有効にする]を無効にし(P.65「海外で利用するための設定」)、再度操作してください。

2 通信事業者を選ぶ

- 通信事業者の再検索: [ネットワークを検索]
- 通信事業者を自動的に選択: [自動的に選択]

- 海外で通信事業者を手動で設定した場合は日本へ帰国したあと、[自動的に選択]に設定してください。

滞在先で電話をかける／受ける

滞在国外(日本を含む)に電話をかける

- 通話可能なmicroSIMカードをご使用の場合に利用できます。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [電話] ▶ [#]

2 「+」「0」をロングタッチ ▶ 国番号、地域番号(市外局番)、相手先電話番号を入力 ▶ [☎]

- 地域番号(市外局番)が「0」で始まる場合は、先頭の「0」を除いてダイヤルしてください(イタリアなど一部の国・地域では、「0」が必要な場合があります)。

- 発信者番号を通知しても、通信事業者によっては[通知不可能]や[非通知設定]など正しく番号表示されないことがあります。

滞在国内に電話をかける

滞在国内で国内電話をかけるときは、日本国内にいるときと同様の操作で電話をかけることができます。

- 通話可能なmicroSIMカードをご使用の場合に利用できます。
- 同一市内でも、必ず地域番号(市外局番)から入力してください。

海外で電話を受ける

海外でも、日本国内にいるときと同様の操作で電話を受けることができます。

- 通話可能なmicroSIMカードをご使用の場合に利用できます。

■ 相手からの電話のかけかた

日本から滞在先に電話をかけてもらうときは、日本国内にいるときと同様にお客様の電話番号を入力してもらいます。

日本以外の国から滞在先に電話をかけてもらうときは、滞在先にかかわらず日本への国際電話として、国際電話アクセス番号と日本の国番号「81」を先頭に付け、お客様の電話番号から先頭の「0」を除いた電話番号を入力してもらいます。


発信国の国際電話アクセス番号-81-90(または80,70)-XXXX-XXXX

トラブルシューティング(FAQ)

故障かな？と思ったら

- まずはじめに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください。☞P.69「ソフトウェア更新」。
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、「保証書に記載のお問い合わせ先」にご相談ください。

電源



- 本端末の電源が入らない
 - ・ 電池切れになっていませんが。☞P.14「充電」
- 画面が動かない、電源が切れない
 - ・  を8秒以上押すと、強制的に電源を切ることができます。☞P.15「強制的に電源を切る」
 - ・ 強制的に電源を切るため、データや設定した内容などが消えてしまう場合がありますのでご注意ください。

充電



- 充電ができない
 - ・ 充電イルミが点灯しない、または点滅する
 - ・ ACアダプター(別売)の電源プラグがコンセントに正しく差し込まれていますか。☞P.14「ACアダプターで充電」
 - ・ ACアダプターと本端末が正しくセットされていますか。☞P.14「ACアダプターで充電」
 - ・ ACアダプターをご使用の場合、ACアダプターのmicroUSBプラグと本端末がしっかりと接続されていますか。☞P.14「ACアダプターで充電」
 - ・ 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、本端末の温度が上昇して充電が停止することがあります。その場合は、本端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。☞P.14「充電時のご注意」

端末操作

- アプリが正しく動作しない(起動できない、エラーが頻繁に起こるなど)
 - ・ 無効化されているアプリはありませんか。無効化されているアプリを有効にしてから再度お試しください。☞P.52「アプリの有効」
- 操作中・充電中に熱くなる
 - ・ 操作中や充電中、また、充電しながらワンセグ視聴などを長時間行った場合などには、本端末や内蔵電池、ACアダプターが温かくなる場合がありますが、動作上問題ありませんので、そのままご使用ください。☞P.14「充電時のご注意」
- 電池の使用時間が短い
 - ・ 圏外の状態でも長時間放置されるようなことはありませんか。圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探するため、より多くの電力を消費しています。
 - ・ 内蔵電池の使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。☞P.70「主な仕様」
 - ・ 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、「保証書に記載のお問い合わせ先」までお問い合わせください。☞P.9「内蔵電池の交換について」
- タッチしたり、キーを押したりしても動作しない
 - ・ 端末の電源が切れていませんか。☞P.15「電源を入れる」

- タッチしたり、キーを押したりしたときの画面の反応が遅い
 - ・ 本端末に大量のデータが保存されているときや、本端末とmicroSDカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。☞P.50「ストレージ」
- microSIMカードが認識しない
 - ・ microSIMカードを正しい向きで挿入していますが。☞P.13「microSIMカード」
- 時計がずれる
 - ・ 長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。[日付と時刻の自動設定]が有効になっているかを確認し、電波の良い場所で電源を入れ直してください。☞P.56「日付と時刻」
- 端末動作が不安定
 - ・ ご購入後に端末へインストールしたアプリによる可能性があります。セーフモードで起動して症状が改善される場合には、インストールしたアプリをアンインストールすることで症状が改善される場合があります。
 - ※ セーフモードとはご購入時の状態に近い状態で起動させる機能です。
 - ・ セーフモードの起動方法
 - 電源が切れている状態から電源を入れ直し、起動中の画面でホーム画面が表示されるまで を押し続けてください。
 - ※ 電源を入れた状態で (1秒以上)▶[電源を切る]をロングタッチ▶[OK]でも、セーフモードで再起動ができます。
 - ※ セーフモードが起動すると画面左下に[セーフモード]/[Safe mode]と表示されます。
 - ※ セーフモードを終了するには、電源を入れ直してください。
 - ・ 必要なデータを事前にバックアップした上でセーフモードをご利用ください。
 - ・ お客様ご自身で作成されたウィジェットが消える場合があります。
 - ・ セーフモードは通常の起動状態ではないため、通常ご利用になる場合には、セーフモードを終了しご利用ください。

通話

- タッチしたり、キーを押したりしても発信できない
 - ・ 機内モードを設定していませんか。☞P.52「その他」
- 着信音が鳴らない
 - ・ 着信音量を「0」にしていませんか。☞P.49「サウンド・イルミ」
 - ・ マナーモード、機内モードを起動していませんか。☞P.49「マナーモード設定」,P.52「その他」
- 通話ができない(場所を移動しても の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない)
 - ・ 電源を入れ直すか、通話可能なmicroSIMカードを入れ直してください。☞P.13「microSIMカード」,P.15「電源を入れる/切る」
 - ・ 電波の性質により、「圏外ではない」「電波状態は を表示している」状態でも発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。
 - ・ 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。その場合は話中音が流れます。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。

■ 画面

- ディスプレイが暗い
 - ・ バックライト点灯時間を短く設定していませんか。☞P.50「ディスプレイ」
 - ・ 画面の明るさを変更していませんか。☞P.50「画面の明るさ」
 - ・ 画面の明るさの[明るさを自動調整]を有効にしていませんが、有効にしている場合は、周囲の明るさによって変わります。☞P.50「画面の明るさ」
 - ・ [のぞき見ブロック]を有効にしていませんか。☞P.50「のぞき見ブロック」

■ 音声

- 通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる
 - ・ 通話音量を変更していませんか。☞P.29「通話音量調節」

■ メール

- メールを自動で受信しない
 - ・ メールのアカウントの設定で同期頻度を[自動確認しない]に設定していませんか。

■ カメラ

- カメラで撮影した静止画や動画がぼやける
 - ・ 近くの被写体を撮影するときは、各種設定のフォーカス設定を[接写AF]に切り替えてください。☞P.40「撮影画面の見かた」
 - ・ カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください。☞P.40「カメラをご利用になる前に」

■ ワンセグ

- ワンセグの視聴ができない
 - ・ 地上デジタルテレビ放送サービスのエリア外か放送電波の弱い場所にはいませんか。☞P.37「放送波について」
 - ・ チャンネルリストを作成してありますか。☞P.37「チャンネルリスト作成」

■ 海外利用

- 海外で本端末が使えない(☎)が表示されている場合
 - ・ microSIMカードの販売元までお問い合わせください。
 - ・ ネットワークの設定や海外通信事業者の設定を変更してみてください。優先ネットワークタイプを[LTE/3G]に設定してください。通信事業者を[自動的に選択]に設定してください。☞P.65「優先ネットワークタイプ」、P.65「通信事業者」
 - ・ 本端末の電源を入れ直すことで回復することがあります。☞P.15「電源を入れる/切る」
- 海外でデータ通信ができない
 - ・ [データローミング]を有効にしてください。☞P.65「データローミング」
- 相手の電話番号が通知されない/相手の電話番号とは違う番号が通知される/電話帳の登録内容や発信者番号通知を利用する機能が動作しない
 - ・ 相手が発信者番号を通知して電話をかけてきても、利用しているネットワークや通信事業者から発信者番号が通知されない場合は、本端末に発信者番号は表示されません。また、利用しているネットワークや通信事業者によっては、相手の電話番号とは違う番号が通知される場合があります。

■ データ管理

- データ転送が行われない
 - ・ USB HUBを使用していませんか。USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。☞P.63「端末とパソコンの接続方法」
- microSDカードに保存したデータが表示されない
 - ・ microSDカードを取り付け直してください。☞P.58「microSDカード(外部ストレージ)」
- 画像が正しく表示されない
 - ・ 画像データが壊れている場合は黒色の画像が表示されます。

■ Bluetooth機能

- Bluetooth通信対応機器と接続ができない/検索しても見つからない
 - ・ Bluetooth通信対応機器(市販品)側を機器登録待ち受け状態にしてから、本端末側から機器登録を行う必要があります。登録済みの機器を削除して再度機器登録を行う場合には、Bluetooth通信対応機器(市販品)、本端末双方で登録した機器を削除してから機器登録を行ってください。☞P.61「Bluetooth機能の利用」
- カーナビやハンズフリー機器などの外部機器を接続した状態で本端末から発信できない
 - ・ 相手が電話に出ない、圏外などの状態で複数回発信すると、その番号へ発信できなくなる場合があります。その場合は、本端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。☞P.15「電源を入れる/切る」

エラーメッセージ

- [SIMカードを挿入/再確認してください]
 - ・ microSIMカードが正しく差し込まれているかご確認ください。☞P.13「microSIMカード」
- [空き容量低下]
 - ・ 本体メモリの空き容量が低下しています。一部の機能やアプリが正常に動作しなくなる場合があります。不要なアプリのアンインストールやファイルの移動/削除を行ってください。
- [暗証番号を入力してください]
 - ・ 端末のロック中に、制限されている機能の操作をしようとした場合に表示されます。暗証番号を入力すると、端末のロックが一時的に解除され、操作できます。
 - ・ 暗証番号の入力が必要な機能を利用しようとした場合に表示されます。
- [応答が無いため接続が中断されました]
[サーバーエラー 送信できませんでした]
[接続エラー 送信できませんでした]
[送信先サーバーが対応していません]
[通信エラー しばらくたってから送り直してください]
 - ・ メールやSMSを利用するとき、回線設備が故障、または回線が非常に混み合っている場合に表示されます。しばらくたってから送信直してください。
- [このコンテンツを再生する権限がありません]
 - ・ 有効なライセンスを保持していない場合や再生期間、再生期限が終了した著作権保護コンテンツを再生しようとした場合に表示されます。
- [しばらくお待ちください(音声サービス)]
 - ・ 音声回線ネットワークが非常に混み合っていますので、しばらくたってからかけ直してください。

- [しばらくお待ちください(データサービス)]
 - ・パケット通信ネットワークが非常に混み合っていますので、しばらくたってから、再度操作してください。
- [製造番号情報を利用します。よろしいですか?]
 - ・ワンセグ視聴中に表示されることがあります。[はい]を選択すると、端末とmicroSIMカードの製造番号が送信されます。
- [接続できません]
 - ・何らかの原因でデータ放送に接続できませんでした。もう一度接続をお試しください。
- [送信できませんでした]
 - ・SMSが正しく送信できなかった場合に表示されます。
 - ・メールを正常に送信できなかった場合に表示されます。電波の強いところでもう一度メールを送信し直してください。
- [モバイルネットワークが利用できません。]
 - ・有効な優先ネットワークタイプに設定されているかご確認ください。☑ P.65「優先ネットワークタイプ」

保証とアフターサービス

保証について

保証書は付いています。

- お買い上げ年月日、販売店名をご確認ください。
保証書の記載内容をよくお読みの上、大切に保管してください。
- 保証期間
お買い上げの日から1年間です(ただし電池、試供品、消耗部品は除きます)。
保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
- 本製品の故障、誤作動または不具合などにより、通話などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 故障または修理により、お客様が登録/設定した内容が消失・変化する場合がありますので、大切な電話帳などは控えをとっておかれることをおすすめします。なお、故障または修理の際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが消失・変化した場合の損害につきましては、責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
※ 本端末は、電話帳などのデータをmicroSDカードに保存していただくことができます。

アフターサービスについて

■ 補修用性能部品の保有期間

シャープ株式会社は、この製品の補修用性能部品を、製品の製造打ち切り後4年保有しています。

- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」をご覧ください。それでも異常があるときは、使用を止めて、「保証書に記載のお問い合わせ先」までお問い合わせください。

保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理により機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

■ お願ひ

- 本端末の改造はおやめください。
 - 火災・けが・故障の原因となります。
 - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
 - ・液晶部やキー部にシールなどを貼る
 - ・接着剤などにより本端末に装飾を施す
 - ・外装などを純正品以外のものに交換するなど
 - 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- 各種機能の設定などの情報は、本端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア(リセット)される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。
- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。
- 本端末の下記の箇所に、磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど、磁気の影響を受けやすいものを近づけずとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
 - 使用箇所: スピーカー、受話口部
- 本端末は防水性能を有しておりますが、本端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って、「保証書に記載のお問い合わせ先」までお問い合わせください。ただし、本端末の状態によって修理できないことがあります。

ソフトウェア更新

SH-M01のソフトウェア更新が必要な場合をネットワークに接続して確認し、必要に応じて更新ファイルをダウンロードして、ソフトウェアを更新する機能です。

- ソフトウェア更新が必要な場合には、シャープ株式会社のホームページにてご案内いたします。

●ソフトウェア更新は、本端末に登録した電話帳、カメラ画像、メール、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行えますが、お客様の端末の状態(故障、破損、水濡れなど)によってはデータの保護ができない場合があります。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください。

ご利用にあたって

- ソフトウェア更新を行う際は、電池をフル充電しておいてください。更新時は充電ケーブルを接続することをおすすめします。
- 次の場合はソフトウェアを更新できません。
 - 国際ローミング中
 - ソフトウェア更新に必要な電池残量がないとき
- ソフトウェア更新(ダウンロード、書き換え)には時間がかかる場合があります。
- ソフトウェア更新中は、電話の発信、着信、各種通信機能、およびその他の機能を利用できません。ただし、ダウンロード中は電話の着信は可能です。
- ソフトウェア更新は電波状態の良いところで、移動せずに実行することをおすすめします。電波状態が悪い場合には、ソフトウェア更新を中断することがあります。
- ソフトウェア更新中に送信されてきたSMSは、SMSセンターに保管されます。
- ソフトウェア更新の際、お客様のSH-M01固有の情報(機種や製造番号など)が、当社のソフトウェア更新用サーバーに送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェア更新に失敗すると、本端末が使用できなくなる場合があります。本端末が使用できなくなった場合は、「保証書に記載のお問い合わせ先」までお問い合わせください。
- PINコードが設定されているときは、書き換え処理後の再起動の途中で、PINコード入力画面が表示され、PINコードを入力する必要があります。
- ソフトウェア更新中は、他のアプリを起動しないでください。

ソフトウェアの更新

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [端末情報] ▶ [ソフトウェア更新] ▶ [ソフトウェア更新] ▶ [はい]

- ソフトウェア更新が必要な場合は、ソフトウェア更新用データをダウンロードすることができます。
- すぐに更新する場合は、[今すぐ更新]を選択し、画面の指示に従って操作してください。
- すぐに更新しない場合は、[後で更新]を選択するとアプリが終了し、ステータスバーに[○]が表示されます。ソフトウェア更新を行う場合は、ステータスバーを下にドラッグし、[ソフトウェア更新]を選択後、画面の指示に従って操作してください。
- ソフトウェア更新が完了すると再起動がわかり、ホーム画面が表示されます。

- ソフトウェア更新の必要がないときには、[現在のソフトウェアは最新です]と表示されます。
- 更新中は、すべてのキー操作が無効となります。更新を中止することもできません。
- ソフトウェア更新に失敗したときや中止されたときは、ソフトウェア更新を実行し直してください。

■ソフトウェア更新終了後の表示

ソフトウェア更新が完了すると、完了画面が表示されます。

ソフトウェアの自動問い合わせ

ソフトウェア更新用データの有無を定期的に確認するか設定します。

- お買い上げ時は、自動問い合わせの設定が[自動問い合わせする]に設定されています。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [端末情報] ▶ [ソフトウェア更新] ▶ [自動問い合わせ設定]

2 [自動問い合わせしない] / [自動問い合わせする]

- [自動問い合わせする]に設定している場合は、ソフトウェア更新が必要になるとステータスバーに[○]が表示されます。ステータスバーを下にドラッグし、[ソフトウェア更新]を選択後、画面の指示に従って操作してください。

主な仕様

■ 本体

品名	SH-M01
サイズ	高さ約128mm×幅約63mm×厚さ約9.8mm(最厚部:約9.9mm)
質量	約120g
メモリ	ROM:16G/バイト RAM:2 G/バイト
連続通話時間 ※1※2※3	3G 約700分
連続待受時間 ※2※3※4	3G 静止時:約560時間(優先ネットワークタイプ:LTE/3G) ^{※5} LTE 静止時:約450時間(優先ネットワークタイプ:LTE/3G) ^{※5}
ワンセグ視聴時間 ※3※6	約480分
充電時間	ACアダプター SHAC01:約180分
ディスプレイ	方式 TFT (IGZO) 16,777,216色 サイズ 約4.5inch 画素数 2,073,600画素(フルHD:横1080ピクセル×縦1920ピクセル)
イヤホンマイク端子	プラグの直径:3.5mmステレオミニプラグ 極数:4極
撮像素子	種類 アウトカメラ:表面照射型CMOS ^{※7} インカメラ:表面照射型CMOS ^{※7} サイズ アウトカメラ:1/3.0inch インカメラ:1/8.2inch
カメラ部	有効画素数 アウトカメラ:約1310万画素 インカメラ:約120万画素 記録画素数(最大時) アウトカメラ:約1280万画素 インカメラ:約120万画素 ズーム(デジタル) アウトカメラ:最大約16.0倍(静止画)/最大約16.0倍(動画) インカメラ:最大約16.0倍(静止画)/最大約16.0倍(動画)

記録部	静止画記録枚数 約61750枚(本体保存時) ^{※8} 約6500枚(microSDカード(1G/バイト)保存時) ^{※8} 静止画連続撮影 FullHD:12枚/HD:18枚/VGA:50枚 静止画ファイル形式 JPEG 動画録画時間 1件あたり最大約90分/合計最大約600分(本体保存時) ^{※9} 1件あたり最大約64分/合計最大約64分(microSDカード(1G/バイト)保存時) ^{※9} 動画ファイル形式 MP4
	音楽再生 連続再生時間 ^{※10} MP3(バックグラウンド再生対応):約6150分
動画再生	連続再生時間 ^{※11} MPEG-4:約500分
保存容量	約9.5G/バイト ^{※12}
無線LAN	IEEE802.11a/b/g/n(2.4GHz/5GHz)/ac準拠
言語	表示言語:日本語、英語 入力言語(文字入力):日本語、英語 入力言語(音声入力):Google音声入力による

- ※1 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。
- ※2 データ通信やマルチアクセス、カメラ機能、ワンセグ機能、Bluetooth機能などの各種機能のご利用頻度が高い場合、通話(通信)・待受時間は短くなります。実際のご利用時間は、通話(通信)と待受の組み合わせとなり通話時間が長くなると待受時間が短くなります。
- ※3 内蔵電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態(電波が届かない、または弱い)などにより、通話(通信)・待受時間が半分程度に減ったり、ワンセグ視聴時間が短くなったりする場合があります。
- ※4 連続待受時間とは、電波を正常に受信できる状態で移動したときの目安です。
- ※5 電波を正常に受信できる静止状態で平均的な利用時間です。
- ※6 ワンセグ視聴時間とは、電波を正常に受信できる状態で視聴できる時間の目安です。
- ※7 CMOS(complementary metal-oxide semiconductor: 相補型金属酸化膜半導体)とは、銀塩カメラのフィルムにあたる部分を構成する撮像素子です。
- ※8 撮影サイズ:VGA(640×480)/ファイルサイズ:約152K/バイト
- ※9 撮影サイズ:VGA(640×480)/ファイルサイズ制限:2G/バイト/種別:画像+音声
- ※10 再生アプリ:ミュージック/サウンド効果:ナチュラル
- ※11 再生アプリ:ビデオプレーヤー/サウンド効果:ナチュラル
- ※12 メモリを共有するアプリの使用状況によって、各種データの保存容量は少なくなります。

■ 内蔵電池

使用電池	リチウムイオン電池
公称電圧	DC 3.8 V
公称容量	2120 mAh

撮影／保存できる目安

撮影枚数／撮影時間は、1 GバイトのmicroSDカードに保存したときの目安です。1 GバイトのmicroSDカードに他の画像などが保存されているとき、撮影できる枚数や時間は少なくなります。また、撮影環境や被写体などの条件により、撮影できる枚数や時間が少なくなることがあります。

■ 静止画の撮影枚数

4K2K:3840×2160	約290枚
FullHD: 1920×1080	約1100枚
HD: 1280×720*	約2300枚
13M: 4128×3096	約160枚
3M: 2048×1536	約760枚
1.2M: 1280×960*	約1800枚
VGA: 640×480	約6500枚

※ インカメラのみ設定できます。

■ 動画の撮影時間

1 GバイトのmicroSDカードの1回あたりの連続撮影時間

FullHD: 1920×1080	約8分
HD: 1280×720	約21分
VGA: 640×480	約64分
QVGA: 320×240	約90分

1 GバイトのmicroSDカードの合計撮影時間

FullHD: 1920×1080	約8分
HD: 1280×720	約21分
VGA: 640×480	約64分
QVGA: 320×240	約324分

ボイスレコーダーの録音時間

保存先	保存件数	録音時間
本体メモリ(約9.5Gバイト)*	最大271件	最長約1626時間

※ 1回あたりの録音時間は約6時間までです。

携帯電話機の比吸収率(SAR)について

この機種SHM01の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準(※1)ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.637W/kg、身体に装着した場合のSARの最大値は0.491W/kg(※2)です。個々の製品によってもSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話等を行っている状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。

この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。キャリアケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から1.5cm以上離し、かつその間に金属(部分)が含まれないようにしてください。このことにより、本携帯電話機が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。世界保健機関は、「携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。」と表明しています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ

<http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>

一般社団法人電波産業会のホームページ

<http://www.arib-emf.org/index02.html>

シャープ株式会社のホームページ

<http://www.sharp.co.jp/products/shm01/spec/index.html>

※1 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。

※2 この値は同時送信の値です。

European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health.

The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2 W/kg and the highest SAR value for this device when tested at the ear is 0.567 W/kg* and when worn on the body is 0.451 W/kg*.

For body-worn operation, this mobile device has been tested and meets the RF exposure guidelines when used with an accessory containing no metal and positioning the handset a minimum of 1.5 cm from the body. Use of other accessories may not ensure compliance with RF exposure guidelines.

As SAR is measured utilizing the device's highest transmitting power the actual SAR of this device while operating is typically below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum level required to reach the network.

*The tests are carried out in accordance with international guidelines for testing.

Declaration of Conformity

CE0168

In some countries/regions including Europe, there are restrictions on the use of 5GHz WLAN that may limit the use to indoors only. If you intend to use 5GHz WLAN on the device, check the local laws and regulations beforehand.

Hereby, Sharp Telecommunications of Europe Ltd, declares that this SH-M01 is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC.

A copy of the original declaration of conformity can be found at the following Internet address:
<http://k-tai.sharp.co.jp/support/other/shm01/>

FCC Notice

- This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:
(1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

Information to User

This equipment has been tested and found to comply with the limits of a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.

However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

1. Reorient/relocate the receiving antenna.
2. Increase the separation between the equipment and receiver.
3. Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
4. Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

5 GHz WLAN Operation in USA

Within the 5.15-5.25 GHz band, UNII devices are restricted to indoor operations to reduce any potential for harmful interference to co-channel Mobile Satellite Services (MSS) operations.

FCC RF Exposure Information

Your handset is a radio transmitter and receiver.

It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.

The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg.

The tests are performed in positions and locations (e.g., at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model. The highest SAR value for this model handset when tested for use at the ear is 0.54 W/kg and when worn on the body, as described in this user guide, is 0.81 W/kg.

For body worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines. Please use an accessory designated for this product or an accessory which contains no metal and which positions the handset a minimum of 1.5 cm from the body.

The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of <http://transition.fcc.gov/oet/ea/fccid/> after searching on FCC ID APYHRO00202.

Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the FCC website at <http://www.fcc.gov/encyclopedia/radio-frequency-safety>.

FCC ID Location

The FCC ID for this device can be found under the back cover. Please remove the back cover when you want to see the FCC ID.

CAUTION

Do not throw the handset into a fire.

The internal battery may leak, explode, catch fire, etc.

Do not dispose of the unnecessary handset in ordinary garbage.

Since the battery is built into the handset, contact the "company or outlet listed on the warranty card", where the handset will be properly disposed of.



To prevent possible hearing damage, do not listen at high volume levels for long periods.

Earphone Signal Level

The maximum output voltage for the music player function, measured in accordance with EN 50332-2, is 117.0 mV.

Avoid using or storing the handset in locations subject to extremely high or low temperatures or under direct sunlight.

Charge battery in areas where ambient temperature is between 5°C and 35°C.

Do not point the illuminated light directly at someone's eyes.

Do not use Mobile light near people's faces. Eyesight may be temporarily affected leading to accidents.

Bluetooth function

- Bluetooth is a registered Trademark of Bluetooth SIG, Inc.

輸出管理規制

本機を他人に使わせたり譲渡する目的で海外へ持ち出す場合は、輸出許可が必要になることがあります。旅行や出張時に本人が使用する目的で日本から持ち出し持ち帰る場合には許可は不要です。米国輸出規制により本機をキューバ、イラン、朝鮮民主主義人民共和国、スーダン、シリアへ持ち込むためには米国政府の輸出許可が必要です。

知的財産権について

著作権・肖像権について

- お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードやテレビ、ビデオなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。

実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますので、ご注意ください。また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害する恐れがありますのでお控えください。

商標について

- Microsoft®、Windows®、Windows Media®、Windows Vista®、Exchange®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- OracleとJavaは、Oracle Corporation及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- microSDHCロゴはSD-3C、LLCの商標です。



- この製品では、シャープ株式会社が液晶画面で見やすく、読みやすくなるよう設計したLCフォントが搭載されています。LCフォント/LCFONTおよびLC®は、シャープ株式会社の登録商標です。
- OBEX™は、Infrared Data Association®の商標です。
- For DTS patents, see <http://patents.dts.com>. Manufactured under license from DTS Licensing Limited. DTS, the Symbol, & DTS and the Symbol together are registered trademarks, and DTS Sound is a trademark of DTS, Inc. © DTS, Inc. All Rights Reserved.



- PhotoScouter®は株式会社モルフォの登録商標です。
- A OSS™ 及び、AOSS™は株式会社パツファローの商標です。
- Wi-Fi®はWi-Fi Alliance®の登録商標です。
- Wi-Fi Direct™、Wi-Fi Protected Setup™およびWi-Fi Protected SetupロゴはWi-Fi Alliance®の商標です。The Wi-Fi Protected Setup Mark is a mark of the Wi-Fi Alliance.
- This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)この製品には OpenSSL Toolkit における使用のために OpenSSL プロジェクトによって開発されたソフトウェアが含まれています。
- This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)この製品には Eric Young によって作成された暗号化ソフトウェアが含まれています。
- 文字変換は、オムロンソフトウェア株式会社のiWnnを使用しています。iWnn © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2014 All Rights Reserved. iWnn IME © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2009-2014 All Rights Reserved.
- 本製品には株式会社モリサワの書体、新ゴMを搭載しています。*新ゴは株式会社モリサワの登録商標です。
- aptXはCSR plc.の登録商標です。
- PORON®は株式会社ロジャースイノアックの登録商標です。
- 「AQUOS」、「FIGZO」、「Feel UX」、「WELカムシート/Welcome Sheet」、「Bright Keep」、「Sweep ON」、「Shake OFF」、「アナザービュー/Another View」、「書」メモ、「AQUOS」ロゴ、「エコ技」マークはシャープ株式会社の商標または登録商標です。
- その他の社名および商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

その他

- 本製品はMPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づき、下記に該当するお客様による個人的で且つ非営利目的に基づく使用がライセンス許諾されています。これ以外の使用については、ライセンス許諾されていません。
 - MPEG-4ビデオ規格準拠のビデオ（以下「MPEG-4ビデオ」と記載します）を符号化すること。
 - 個人的で且つ営利活動に従事していないお客様が符号化したMPEG-4ビデオを復号すること。
 - ライセンス許諾を受けているプロバイダから取得したMPEG-4ビデオを復号すること。その他の用途で使用する場合など詳細については、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
- 本製品はMPEG-4 Systems Patent Portfolio Licenseに基づき、MPEG-4システム規格準拠の符号化についてライセンス許諾されています。ただし、下記に該当する場合は追加のライセンスの取得およびロイヤリティの支払いが必要となります。
 - タイトルベースで課金する物理媒体に符号化データを記録または複製すること。
 - 永久記録および/または使用のために、符号化データにタイトルベースで課金してエンドユーザに配信すること。追加のライセンスについては、米国法人MPEG LA, LLCより許諾を受けることができます。詳細については、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
- 本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために (i) AVC規格準拠のビデオ（以下「AVCビデオ」と記載します）を符号化するライセンス、および/または (ii) AVCビデオ（個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、および/またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限ります）を復号するライセンスが許諾されています。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされていません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。
<http://www.mpegla.com>をご参照ください。
- 本製品は、VC-1 Patent Portfolio Licenseに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために (i) VC-1規格準拠のビデオ（以下「VC-1ビデオ」と記載します）を符号化するライセンス、および/または (ii) VC-1ビデオ（個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたVC-1ビデオ、および/またはVC-1ビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したVC-1ビデオに限ります）を復号するライセンスが許諾されています。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされていません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。
<http://www.mpegla.com>をご参照ください。

- 本書では各OS(日本語版)を次のように略して表記しています。
 - Windows 8.1は、Microsoft® Windows® 8.1、Microsoft® Windows® 8.1 Pro、Microsoft® Windows® 8.1 Enterpriseの略です。
 - Windows 8は、Microsoft® Windows® 8、Microsoft® Windows® 8 Pro、Microsoft® Windows® 8 Enterpriseの略です。
 - Windows 7は、Microsoft® Windows® 7 (Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate)の略です。
 - Windows Vistaは、Windows Vista® (Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate)の略です。
- Bluetoothは、米国Bluetooth SIG, Inc.の登録商標です。
- Google、Google ロゴ、Android、Google Play、Google Play ロゴ、Google+、Google+ ロゴ、Google 設定、Google 設定 ロゴ、Gmail、Gmail ロゴ、Google カレンダー™、Google カレンダー ロゴ、Google マップ™、Google マップ ロゴ、Google Chrome™、Google Chrome ロゴ、Google 音声検索™、Google 音声検索 ロゴ、YouTube、YouTube ロゴ、Google ドライブ、Google ドライブ ロゴ、Google™ 検索、Google 検索 ロゴ、Google Nowは、Google Inc.の商標です。

オープンソースソフトウェアについて

- 本製品には、GNU General Public License (GPL)、GNU Lesser General Public License (LGPL)、その他のライセンスに基づくソフトウェアが含まれています。当該ソフトウェアのライセンスに関する詳細は、ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [端末情報] ▶ [法的情報] ▶ [オープンソースライセンス]をご参照ください。
- GPL、LGPL、Mozilla Public License (MPL) に基づくソフトウェアのソースコードは、下記サイトで無償で開示しています。詳細は下記サイトをご参照ください。
<https://sh-dev.sharp.co.jp/android/modules/oss/>

あ

アイコンの見かた	22
アカウント	29
アカウントとプライバシー	17
明るさを自動調整	50
アクセスポイントの初期化	20
アクセスポイントの設定	20
アクセスポイント名	65
アプリ	52
アプリ一覧	25
アプリケーションロック	54
アプリ情報	24
アプリ使用履歴	27
アプリ使用履歴キー	51
アプリ・ショートカット選択	27
アプリの購入	37
アプリ非表示	24
アプリを確認する	53
アプリを削除	24
アラーム	44
アラーム設定	39
アラーム通知	62
アルバム	41
暗証番号	54
安全上のご注意	3
安全な認証情報の使用	53
位置情報	53
イルミネーション	49
印刷	
設定	57
プリントアプリによる印刷	64
印刷範囲	64
印刷品質	64
印刷部数	64
インターネット通話を使用	29
インフォエリア	15
ウィジェットの有効化	53
上方向スライド	18
ウェルカムシート 壁紙	15
ウェルカムシート 点灯時間	15
ウェルカムシート (ロック画面)	50
ウェルカムシート (ロック画面)の操作	15
受取確認通知	32
絵・記・顔の連続入力	18
Eコバックライトコントロール	50
Eコ投設定	51
絵文字・記号リスト列数	18
大きい文字サイズ	57
オールリセット	55
お気に入り	26
押し続ける時間	57
お知らせ	49
オフタイマー設定	39
お店情報リーダー	47
主な仕様	70
音声	17
音声切替	39
音声/字幕の設定	39
音声多重切替	39
音声入力の設定	55
音量	49

か

カードリーダーモード	51
------------	----

カーネルバージョン	57
海外でご利用になる前の確認事項	65
海外で電話を受ける	65
海外で利用するための設定	65
ガイドタブ表示設定	24
ガイドの表示速度	18
外部変換エンジン	18
顔文字リセット	19
学習辞書リセット	19
拡大操作	57
各部の名称と機能	12
画質モード	50
壁紙	50
カメラ	41
カメラをご利用になる前に	40
画面の明るさ	50
画面の自動回転	
ディスプレイ	50
ユーザー補助	57
画面の縁の効果	50
画面のロック	53
画面ロックの音	49
カレンダー	45
カレンダーについて	45
カレンダーの設定	45
キー操作音	18
キー操作パイプ	18
キー入力ガイド表示	18
キーボード調整	18
キーボードの見かた	17
機内モード	52
機能紹介	
データ引継	56
ホーム画面の設定	24
機能利用中の操作	16
緊急通報	28
クイック操作・Labs	36
クイック返信	29
クイックランチャー	26
グループの利用	31
携帯電話機の比較吸収率 (SAR)	71
結果画面閲覧	56
言語と文字入力	55
言語 (Language) を選択	55
現在選択中のキーボード	55
高度な設定	36
購入時に戻す	27
コンテンツマネージャー	59
コントローラー表示位置	39

さ

サイズ変更	24
サイトの表示	35
サイレントマナー	49
サウンド・イルミ	49
サウンド設定	39
シークレット設定	54
シークレットモード一時解除の設定	54
時刻設定	56
時刻変更通知	62
辞書	48
下方向スライド	18
自動大文字変換	18
自動カーソル移動	18
自動スペース入力	18
自動復元	55

字幕	57	地域を選んで作成	38
字幕切替	39	知的財産権について	73
充電	14	着信音	
充電開始音	49	通話設定	29
受信済みファイルを表示	61	メッセージの設定	32
省エネ待受設定	51	着信時のバイブレーション	29
省エネ&バッテリー	51	着信/充電イルミ	22
証明書のインストール	21	チャンネルリスト作成	37
証明書をインストール	53	チャンネルを探して作成	38
ショートカット	15	通常マナー	49
ショートカットを貼付け	24	通信事業者	65
初期設定		通知	20
所有者情報	53	通話設定	29
新規フォルダに入れる	24	通話中の操作	29
スキャンを常に実行する	21	通話履歴	29
スクリーンショットの撮影	16	通話履歴の削除	29
スクリーンセーバー	50	使い方ガイド	54
スケジュール通知	62	つながり予測	18
スケジュールの削除	45	提供元不明のアプリ	53
スケジュールの作成	45	ディスプレイ	50
ステータスパネルの利用	23	データ使用量	52
ストップウォッチ	44	データ通信を有効にする	65
ストレージ	50	データ転送	63
ストレージのタイプ	53	データ取り込み	56
スペルチェッカー	55	データの同期	52
スレッドの削除		データのバックアップ	55
Gmail	35	データの振り分け	42
SMS	32	データ引継	55
製品情報	39	データ放送設定	39
世界時計	44	データローミング	65
セキュリティキー変更	54	テーマ設定	24
接続不良のとき無効にする	21	テキストメッセージの制限件数	32
設定メニュー	49	テキスト読み上げの出力	
設定リセット	19	言語と文字入力	55
セルフチェック	52	ユーザー補助	57
センサー感度補正	57	テキストリーダー	48
全体設定	36	テザリング	21
全般設定		デバイス管理機能	53
カレンダーの設定	45	デフォルトのSMSアプリ	52
メールの設定	34	テレビ視聴	38
Gmailの設定	35	テレピンク	39
送信時文字コード設定	55	テレビ(ワンセグ)	37
その他	52	電源キーで通話を終了	57
その他の設定	64	電源を入れる/切る	15
ソフトウェア更新	69	電卓	46
ソフトウェア表示	18	電池	51
た		電池残量%表示	50
帯域幅の管理	36	電話着信	49
滞在国外(日本を含む)に電話をかける	65	電話着信通知	62
滞在国内に電話をかける	65	電話帳アクセスモニター	53
タイマー	45	電話帳画像バックアップ	56
タイムゾーンの自動設定	56	電話帳名前データと連携	18
タイムゾーンの選択	56	電話帳のインポート/エクスポート	22
ダイヤルパッド操作音	49	電話帳の確認/利用	30
ダウンロード辞書	18	電話帳の削除	30
タッチ操作音	49	電話帳の登録	30
タッチ操作バイブ	49	電話帳の編集	31
タッチパネルの操作	15	電話を受ける	28
タッチパネル補正	57	電話をかける	28
端末情報	57	トルグ入力	18
端末とパソコンの接続方法	63	ドック表示設定	24
端末内検索	17	トラブルシューティング(FAQ)	66
端末内やサイトの情報の検索	17	取り扱い上のご注意	7
端末の暗号化	55	な	
端末の状態	57	内蔵電池の交換	9
端末の名前を変更	61	名前を変更	27
地域おすすすめ辞書	18	入力時バイブ	54

入力ミス補正	18
認証	57
認証ストレージの消去	53
ネットワークの通知	21
のぞき見ブロック	
ディスプレイ	50
のぞき見ブロック	50

は

バーコードリーダー	47
バイプレション	32
はがす	
アプリ/ウィジェット/ショートカット/フォルダの管理	24
アプリやショートカットの管理	27
ミニアプリ/ウィジェットの管理	27
パスワード	54
パスワードの音声出力	57
パスワードを表示	53
パターンを表示する	54
バックアップアカウント	55
バックアップとリセット	55
バックアップファイルの整理	56
バックライト点灯時間	50
左方向スライド	18
日付形式の選択	56
日付設定	56
日付と時刻	56
日付と時刻の自動設定	56
ビデオカメラ	41
表示のタイムアウト	61
表示パターン	50
ビルド番号	57
ファイル管理	50
部数設定	63
ブックマーク	36
ブッシュ信号の入力	28
プライバシーとセキュリティ	36
ブラウザの設定	36
フリック感度	18
プリンター	
Canon製Wi-Fi対応プリンターの設定	63
EPSON製Wi-Fi対応プリンターの設定	64
プリントアプリによる印刷	63
プリントアプリによる印刷の設定	63
古いメッセージを削除	32
プレイリスト管理	43
プロフィール	
設定	49
電話帳	31
ベースバンドバージョン	57
変換辞書の更新	18
便利機能	51
ボイスレコーダー	46
ポインタの速度	55
防水性能	10
法的情報	57
ホーム画面の管理	24
ホーム画面の見かた	24
ホーム切替	27
ホームポジション設定	24
保証とアフターサービス	68
歩数計	46
歩数計リセット時刻設定	46
歩数計ON	46
本体メモリ(内部ストレージ)	58
本端末で利用する暗証番号	54
本端末のご利用について	2

ま

マップ	43
マナーモード設定	
サウンド・イルミ	49
OFF	49
右方向スライド	18
ミニアプリ/ウィジェット	26
見栄え補正	50
ミュージック	42
名刺リーダー	47
メールいきなり予測	18
メール着信通知	62
メールのアカウントの設定	21
メールの削除	34
メールの設定	34
メールの表示	
Eメール	33
Gmail	34
メールの返信/転送	
Eメール	33
Gmail	35
メール/ブラウザ	32
メッセージの削除	32
メッセージの設定	32
メッセージの転送	32
メッセージの表示	32
メッセージの返信	32
メモ帳	46
モーションによる画面ON/OFF	50
モーションによる切替え	50
モード	53
目次	1
文字削除キー動作	18
文字入力のみかた	19
文字入力の設定	18
文字フォント設定	50
モデル番号	57
モバイルネットワーク	52

や

ユーザー辞書	
言語と文字入力	55
辞書	18
ユーザー情報	46
ユーザー補助	
設定	57
ブラウザの設定	36
ユーザー補助のショートカット	57
優先ネットワークタイプ	65
輸出管理規制	73
指リスト	54
用紙サイズ	64
用紙種類	64
用紙設定	63
予測変換	18

ら

リアカバー	12
リサイクル	9
履歴	
クイックランチャー	26
ブラウザ	36
リンクロス時の通知	62
レイアウト	64
レイアウト設定	24
連絡先シークレット設定	54

ローマ字キーボード補助	18
録画	38
録画再生	38
録画／視聴予約	39
ロックとセキュリティ	53

WiFiのスリープ設定	21
WiFiの設定	20
YouTube	44

わ

ワイルドカード予測	18
ワンセグの設定	39

英数字

24時間表示	56
3G	65
ACアダプターで充電	14
Androidバージョン	57
aptX	61
Bluetooth機能	60
Bluetooth機能の利用	61
Bluetooth通信送受信	61
Bluetoothテザリング	21
Bluetooth Smart機器との接続	62
BT Smart設定の無効化	61
Eメール	33
Gmail	34
Gmailについて	35
Gmailの設定	35
Google音声入力	55
Googleキーボード	55
Google現在地送信機能	53
Googleなどのアカウントの設定	21
GPS機能の利用	43
IPアドレス	21
iWnn IME - SH edition	55
LTE／3G	65
MACアドレス	21
microSDカード(外部ストレージ)	58
microSD内データを消去	50
microSDにデータ保存	56
microSDのマウント解除	50
microSDリーダーライター	63
microSDをマウント	50
microSIMカード	13
microUSB接続ケーブルで充電	14
MTPモード	51
PINロックの解除	54
Playストア	37
PTPモード	51
SHツール	46
SIMカードのメッセージ	32
SIMカードロック設定	54
SIMカードをロック	54
SIM PINの変更	54
SMS	32
SMSの有効化	32
Sweep ON／Shake OFF	17
USB接続	51
USBテザリング	21
USBホスト機能	64
USBメモリのマウント解除	50
VPN設定	52
VPNの接続	64
VPNの切断	64
VPNの追加	64
Webブラウザ設定	39
WiFi周波数帯域	21
WiFiテザリング	21
WiFiテザリングを設定	21

製造元：シャープ株式会社



'14.12(1.2版)
14M Y18 T①